

リアホナ



神権に関する
4つの質問への答え,
18ページ

時間を費やす価値のある
娯楽を選ぶ, 14ページ

自分のいる場所に
シオンを確立する, 30ページ



「父親は子供を教え、
福音の儀式と
家族に必要な
他のあらゆる
神権の守りを施す
権能と責任を
持っています。
子供たちが
はっきりと分かるように、
母親に対し、
愛と貞潔、
そして敬意を
示さなければ
なりません。」

ボイド・K・バッカー会長
十二使徒定員会会長
「わたしの知っていること」
「リアホナ」2013年5月号、7



メッセージ

- 4 大管長会メッセージ——
業を速める
トーマス・S・モンソン大管長
- 7 家庭訪問メッセージ——
イエス・キリストの神聖な使命
—— 仕え、教え、導く者

特集

- 14 価値あるメディア
キャサリン・ネルソン
娯楽とわたしたちとの関わり方は、
目的のある、神聖な選択とすることが
できます。
- 17 電源を切り、親の務めを果たす
ジャン・ピンボロー
救い主に従って子供たちに心を向ける
なら、わたしたちはスイッチや電源
を切り、妨げとなるものから離れる
ことでしよう。
- 18 神権の力——
全ての人々が享受できる
リンダ・K・パートン
神権は、老若男女を祝福し、家族と
して永遠に神とともに住むことが
できるようにするために与えられた
神聖な義務です。
- 24 世界各地の開拓者たち——
イタリアの末日聖徒——
信仰の遺産
リア・マクラナハン
イタリアにおける神殿建設の背景に
は、忠実な聖徒たちの長い歴史が
あります。

30 キリストに似た者となるという召し
ジェフリー・R・ホランド長老
今はわたしたちにとって、自分のいる
場所にシオンを確立する時です。
たとえわたしたちがバビロンのただ
中にいるとしてもです。

シリーズ

- 8 キリストについて語る——
主イエスの愛にただ驚く
セサル・リマ・エスカランテ
- 10 わたしたちの家庭、わたしたちの家族
—— 困難は祝福です
レイチェル・ハリソン
- 12 旧約聖書の預言者たち——
サムエル
- 13 『若人の強さのために』の教え——
什分の一と献金
- 38 末日聖徒の声
- 80 また会う日まで——
「……とき」の力
ケリー・ルイス・ウラリー
わずか1日のうちに、夫は重病になりま
した。しかし、ある一言がわたしたち
を前向きな気持ちにさせてくれました。

表紙

表紙—— フォトイラストレーション/
ジェリー・ガーンズ
表紙裏—— フォトイラストレーション/
ブラッドリー・スレード



42

42 幸福の道を歩みましょう

ジェラルド・コセービショップ

これらの3つの原則は、あなたが自分自身の幸福の設計士となるうえで助けとなります。

47 インターネットで福音を分かち合う

マリア・マホンリー・イグラジル・アルデュオ・アンダカ

わたしは自分の信仰について話すことをいつも恥ずかしく思っていました。でも、新しいテクノロジーのおかげで積極的になれました。



こんげつごう なか
今月号の中に
かく
隠れている
リアホナを
さが
捜しましょう。

ヒント——
あみ なか
網の中に
あるものは？



57

48 選択の自由と答え——
啓示を認識する

リチャード・G・スコット長老

成長するためには、正しい選択をする自分の能力を信頼するようにならないけません。

52 胸の内に燃えるものを感じないとき、
どうすればよいでしょうか？

レイチェル・ニールセン

わたしは一度も胸の内に燃えるものを感じたことはありません。それは、聖霊がわたしに話しかけておられないという意味でしょうか。

56 小さな促しに従う

小さな促しからいつ大きな効果が生まれるかは、決して分かりません。

57 わたしの弟に授けられた祝福

ジェシー・ジョーンズ

弟がバイク事故を起こし、病院に運ばれました。わたしは心配で吐き気を感じました。

58 質疑応答

聖餐の間、どのようなことを考えるべきですか。

60 若人の強さのために——

自分の強さを与える

アンソニー・D・パーキンス長老

自分の強さを納めることは、主が御自分の全ての約束を守られることを知る助けになります。

62 教会へ戻る道

ダグ・ボヤック

自分には教会は必要ないと思っていましたが、旅と自分の一がそうではないと教えてくれました。

63 ポスター—— 打ち砕けないもの



66

64 お母さんが受けた祝福

スーザン・パレット

お母さんは背中をいたがっていました。ルーベンはどうやって助けられるのでしょうか。

66 特別な証人——

わたしは、どうしたら今から宣教師のようになれるのでしょうか？
ニール・L・アンダーセン長老

67 けいけんな子羊

スコット・D・ホワイティング長老

わたしはシールがほしくてけいけんにしたいと思いました。でも、もっとすてきなことが起こりました。

68 せかいの 友だち——

わたしは イタリアの ロレダナです
エイミー・ジェーン・レビット

70 人形を使った活動——

イタリアの マッシモ

71 イエスに したがう——

人を たすける

72 ウガンダで音楽を作る

デビッド・ディクソン

みんなの前で、音楽の指揮をすることは、きんちょうするかもしれません。でもジョージならできます！

74 初等協会を かていでも——

しんけんの ぎしきと
しんでのん わざは、わたしの
かぞくを しゆくふくします
ジェニファー・マディー

76 わたしたちの ページ

78 小さな みんなのために

81 よげんしゃの ポートレート——
ゴードン・B・ヒンクレー

末日聖徒イエス・キリスト教会国際機関誌(日本語版)

大管長会: トーマス・S・モンソン、ヘンリー・B・アイリング、ティーター・F・ウーグトルフ

十二使徒定員会: ボイド・K・バックナー、L・トム・ベリー、ラッセル・M・ネelson、ダリン・H・オークス、M・ラッセル・バラード、リチャード・G・スコット、ロバート・D・ヘイルズ、ジェフリー・R・ホランド、デビッド・A・ペドナー、クエンティン・L・クック、D・トッド・クリストファーソン、ニール・L・アンダーセン

編集長: クレグ・A・カードン

顧問: ホセ・L・アロンソ、マービン・B・アーノルド、シェーン・M・ボーエン、スタンリー・G・エリス、クリストフェル・コールデン

実務運営ディレクター: デビッド・T・ワーナー

業務ディレクター: ピンセント・A・ボーン

教会機関誌ディレクター: アラン・R・ロイボーク

ビジネスマネージャー: ガープ・キャン

編集主幹: R・バル・ジョンソン

編集主幹補佐: ライアン・カー

執筆・編集: ブリッタニー・ピーティ、デビッド・ディクソン、デビッド・A・エドワーズ、マシュー・D・フリット、ミンディ・ライ・フリードマン、ローリー・フラ、ギャレット・H・ガープ、マリオン・ポーター、ガント、ジェニファー・グレース・ジョーンズ、マイケル・R・モリス、サリー・ジョンソン、オデカーク、ジョシュア・J・パーキー、ジャン・ピンボロー、リチャード・M・ロムニー、ポール・バンデンバーク、マリッサ・ウィティソン

実務運営アートディレクター: J・スコット・クヌーセン

アートディレクター: タッド・R・ピーターソン

デザイン: ジャネット・アンドリュース、フェイ・P・アンドラス、マンディー・M・ベントレー、C・キンボール・ポット、トーマス・チャイルド、ネット・ギネス、コリン・ヒンクレイ、エリック・P・ジョンソン、スーザン・ロフレン、スコット・M・ムーイ、マーク・W・ロビンソン、ブラッド・テアー、K・ニコル・ウォーケンホスト

版権および許諾コーディネーター: コレット・ネバカー・オーヌ

制作主幹: ジェーン・アン・ピーターズ

制作: ケビン・C・パンクス、コニー・パウソフ・ブリッジ、ジュリー・バーデット、ブライアン・W・ギューキ、デニス・カービー、ギニー・J・ニルソン、ゲイル・テート・ラファティ

製版: ジェフ・L・マーティン

印刷ディレクター: クレグ・K・セドウィック

配送ディレクター: スティーブン・R・クリスチャンセン

日本語版翻訳課長: 森田康貴

●定期購読は、「リアホナ」注文用紙」でお申し込みになるか、郵便振替(口座名/末日聖徒イエス・キリスト教会 振込口座番号/00100-6-41512)にて教会管理本部配送センターへご送金いただければ、直接郵送いたします。●「リアホナ」のお申し込み・配送についてのお問い合わせ……〒133-0057 東京都江戸川区西小岩5-8-6/末日聖徒イエス・キリスト教会 管理本部配送センター 電話: 03-5668-3391

発行所 末日聖徒イエス・キリスト教会
〒106-0047 東京都港区南麻布5-10-30
電話 03-3440-2351

定 価 年間予約/海外予約 950円(送料共)
普通号/大会号 100円

「リアホナ」へのご投稿およびご質問は、英語版ホームページ iahona.lds.org からお送りください。電子メールの場合は iahona@ldschurch.org へお送りください。また、下記の連絡先でも受け付けています。
Liahona, Rm. 2420, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150-0024, USA

「リアホナ」(モルモン書に出てくる言葉。「羅針盤」または「指示器」の意)は、以下の言語で出版されています。
アルバーニア語、アルメニア語、ヒスパラマ語、ブルガリア語、カンボジア語、セブアン語、中国語、中国語(簡体字)、クワアチア語、チェコ語、デンマーク語、オランダ語、英語、エストニア語、フィジー語、フィンランド語、フランス語、ドイツ語、ギリシャ語、ハンガリー語、アイスランド語、インドネシア語、イタリア語、日本語、キリバス語、韓国語、ラトビア語、リトニア語、マダガスカル語、マーシャル語、モンゴル語、ノルウェー語、ポーランド語、ポルトガル語、ルーマニア語、ロシア語、サモア語、スロベニア語、スペイン語、スワヒリ語、スウェーデン語、タガログ語、タヒチ語、タイ語、トンガ語、ウクライナ語、ウルドゥー語、ベトナム語(発行頻度は言語により異なります。)

©2014 Intellectual Reserve, Inc. All rights reserved. 印刷: 日本

「リアホナ」に掲載されている文章や視覚資料は、教会や家庭において一時的に、また非営利目的に使用される場合は複製することができます。視覚資料に関しては、作品の著作権表示に制限が記されている場合に複製できないことがあります。著作権に関するご質問は、Intellectual Property Office, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150, USA に郵送するか、電子メール——cor-intellectualproperty@ldschurch.org にご連絡ください。

For Readers in the United States and Canada:
June 2014 Vol. 38 No. 6. LIAHONA (USPS 311-480) English (ISSN 1080-9554) is published monthly by The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150. USA subscription price is \$10.00 per year; Canada, \$12.00 plus applicable taxes. Periodicals Postage Paid at Salt Lake City, Utah. Sixty days' notice required for change of address. Include address label from a recent issue; old and new address must be included. Send USA and Canadian subscriptions to Salt Lake Distribution Center at address below. Subscription help line: 1-800-537-5971. Credit card orders (American Express, Discover, MasterCard, Visa) may be taken by phone or at store.lds.org. (Canada Post Information: Publication Agreement #40017431)
POSTMASTER: Send all UAA to CFS (see DMM 707.4.12.5).
NONPOSTAL AND MILITARY FACILITIES: Send address changes to Distribution Services, Church Magazines, P.O. Box 26368, Salt Lake City, UT 84126-0368, USA.

家庭の夕べのためのアイデア

今月号には、家庭の夕べで活用できる記事や活動が載っています。以下に二つの例を挙げます。



「神権の力——全ての人々が享受できる」

18 ページ——家庭の夕べの前に、この記事の中でバートン姉妹が尋ねている4つの質問を読んでおきます。小さな電気スタンドを用意します(必ずコンセントからプラグを抜いておいてください)。家族の何人かにスイッチを入れてもらいます。電気スタンドを作動させるのに必要な電気を神権の力にたとえます。コンセントにプラグを差し込んでからスイッチを入れます。そして、わたしたち皆が電気スタンドの明かり、つまり神権の力からどのような恩恵を受けられるかについて話し合います。神権によってどのように祝福されたことがあるか、家族に考えてもらいます。バートン姉妹が暗記するように勧めている、教義と聖約第84章の聖句を暗記し始めてもよいでしょう。

「ウィルのすてきなアイデア」78 ページ——

「神殿に行きたいな」(『子供の歌集』99)のような、神殿についての歌を歌って始めてもよいでしょう。家族と一緒にこの記事を読み、なぜ神殿が大切なのかについて話し合います。家族一人一人に神殿の絵を描いてもらいます。住んでいる所から一番近い神殿がよいかも知れません。家族が描いた絵と79ページに掲載されている写真を、家の中で毎日目にするような場所に貼ってみてはどうでしょう。神殿の写真や絵を見ると、神殿に入るふさわしさを保てるような決断をしようと思うものです。どうしてそのような気持ちになるか、話し合ってください。

あなたの言語で

languages.lds.org で、「リアホナ」や、教会のその他の資料を多くの言語で入手できます。

今月号に採り上げられているテーマ

数字は記事の最初のページを表します。

- | | | |
|----------------|------------------------|----------------------|
| イエス・キリスト, 7, 8 | 啓示, 18, 41, 48, 52, 56 | 聖霊, 48, 52, 56, 67 |
| 祈り, 48 | 結婚, 10 | 選択の自由, 14, 48 |
| 戒め, 30 | 幸福, 42 | 断食献金, 13, 60 |
| うつ病, 39 | 個人の価値, 42 | 知恵の言葉, 40 |
| 音楽, 72 | シオン, 30 | 伝道活動, 24, 30, 47, 66 |
| 改心, 24, 62 | 従順, 18, 56 | ヒンクレイ、ゴードン・B, 81 |
| 開拓者, 24 | 什分の一, 13, 60, 62 | 奉獻, 14 |
| 家族, 10, 17 | 贖罪, 8, 58 | 奉仕, 71, 72 |
| 家族歴史, 4, 6, 38 | 神権, 18, 64, 74 | 召し, 72 |
| 希望, 80 | 信仰, 80 | メディア, 14, 17, 47 |
| 旧約聖書, 12 | 神殿, 10, 24, 74, 78 | 預言者, 12, 41, 81 |
| 敬虔, 67 | 聖餐, 8, 58 | |



トーマス・S・
モンソン大管長

業を速める

ステークの数が100に達したとき、回復された教会は設立から98年がたったことを御存じでしょうか。しかしその後30年もたないうちに、教会はさらに100のステークを組織しました。そしてそのわずか8年後に、ステークの数は300以上になりました。今では3,000以上のステークがあります。

こうした加速度的な発展を遂げているのはなぜでしょうか。わたしたちのことがもっとよく知られるようになったからでしょうか。美しい集会所があるからでしょうか。

これらのことは重要ですが、今日^{こんにち}教会が発展を遂げている理由は、主がそのようになると述べられたからです。教義と聖約の中で、主は次のように言っておられます。「見よ、わたしは、時が来ればわたしの業を速やかに行う。」¹

わたしたちは天の御父の霊の子供として、この大いなる業を速めるために働けるよう、今の時代に地上に送られてきました。

わたしの知る限り、御自分の業は現世に限ったものであると主が述べられたことは一度もありません。むしろ、主の業は永遠にわたっています。わたしは主が霊界で御自分の業を速めておられると信じています。また、霊界にいる御自分の僕たちを通して、福音を受け入れるように多くの霊を備えておられると信じています。わたしたちの仕事は、死者を探し出し、次に神殿に行って神聖な儀式を執り行い、それによって幕のかなたにいる人々にわたしたちが受けているのと同じ機会をもたらすことです。

霊界にいる善良な末日聖徒は皆、多忙であると、ブリガム・

ヤング大管長（1801 - 1877年）は言っています。「彼らは霊界で何をしているのでしょうか。彼らは伝道しています。四六時中^の宣べ伝えています。そしてわたしたちがこの地をはじめとする様々な地で神殿を建設する働きを速めるために道を備えています。」²

さて、家族歴史活動は容易ではありません。わたしもスカンジナビア出身の方々と同じ厄介な問題を抱えています。例えば、わたしのスウェーデンの家系では、祖父の名前はネルス・モンソンですが、その父親の名前はモンズ・オークソンで、モンソンではありません。モンズの父親の名前はオーク・ペダーソンで、その父親の名前はピーター・モンソンと、再びモンソンに戻ります。

主は皆さんにもわたしにも、家族歴史活動をしっかり行うように期待しておられます。もしわたしたちの業をしっかりと行おうとするのであれば、最初に行わなければならないのは、天の御父の御霊^{みたま}を受けることだと思います。自分の知っている限りの義にかなった生き方をするとき、主はわたしたちが真剣かつ熱心に求める祝福が成就するように道を開いてくださることでしょう。

間違えることもあるでしょうが、誰でもまず初心者の時期を通らなければ家族歴史活動の専門家になることはできません。ですから、わたしたちはためらわずにこの業に取りかからなければならず、困難という多少の上り坂に備えておく必要があります。容易な務めではありませんが、主はこの務めを皆さんに委ねておられ、わたしに委ねておられるのです。

家族歴史活動を続けていくと、やがて障害物に行き当た



るでしょう。「もう自分にできることはない」と心の中で考えるでしょう。そのような地点に来たら、ひざまずいて、道を開いてくださるように主に求めてください。そうすれば、主は皆さんのために道を開いてくださいます。わたしはこのことが真実であると証^{あかし}します。

天の御父は皆さんやわたしを愛しておられるのと同じように、霊界にいる御自分の子供たちを愛しておられます。死者を救う業について、預言者ジョセフ・スミスは次のように述べています。「さて、神の偉大な目的が速やかに成し遂げられようとしており、預言者の書に語られている事柄が成就

しつつあります。神の王国が地上に確立され、いにしへの秩序が回復されている現在、主はわたしたちにこの義務と特権を明らかにし〔ておられます。〕³

福音を知らずに亡くなった先祖について、ジョセフ・F・スミス大管長（1838 - 1918 年）は次のように宣言しています。「死者のために払うわたしたちの努力によって、彼らを縛っている鎖は断ち切れ、取り巻く闇が一掃され、そして彼らのうえに光が輝くことでしょう。霊界にいる彼らは、子孫によって自分たちの儀式が執行されたことを聞き、これらの義務を果たした子孫とともに喜びの声を上げることでしょう。」⁴

キリストの名を一度も聞くことなく亡くなって霊界に行った、天の御父の霊の子供たちが無数にいます。しかし今、彼らは福音を教えられており、皆さんやわたしが彼らに道を開くために必要な探究をする日を待ち望んでいます。わたしたちが主の宮に行き、彼ら自身には行えない業を彼らに代わって行えるように家族歴史を調べるのを待っているのです。

兄弟姉妹の皆さん、わたしたちがこのチャレンジを受け入れ、それに応えるときに、主がわたしたちを祝福してくださることを証します。■

このメッセージから教える

自分の家族歴史の中から好きな話を一つ思い出し、訪問先の人たちに紹介してください。訪問先の人たちに彼ら自身の話を紹介してもらうために、大管長会メッセージの子供向けの記事（6 ページ）にある質問を用いるとよいでしょう。教義と聖約 128：15 を読み、先祖のために神殿の儀式を執行することの大切さについて話し合うとよいでしょう。

注

1. 教義と聖約 88：73
2. 『歴代大管長の教え——ブリガム・ヤング』306 参照
3. 『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』409 参照
4. 『歴代大管長の教え——ジョセフ・F・スミス』247

索引作成を楽しめるでしょうか

エマ・アブリル・トレド・シスネロス

ス テークで5万人の名前を索引化する目標が立てられて、わたしも参加しました。最初は大変でした。ときどき、ダウンロードしたバッチに読みづらい字で書かれているものがあって、返却して別のバッチ（訳注——作業用データ）をダウンロードしたいと思うこともありました。でも、もしみんながそのように思ったら、そのバッチが最後まで残ってしまうことに気づきました。霊界で人々が幾つもの列を作って待っている様子が思い浮かび、書かれている名前を間違えずに読んで写せるように続けて頑張ろうと決意しました。

やがてそれらの人々に対して愛を抱くようになりました。彼らは

確かに助けを必要としていて、わたしたちも彼らの助けを必要としているということが分かりました。天の御父の完全な計画は全ての人を考慮したものであることが、もっとよく理解できるようになりました。主の選ばれた指導者の靈感と教えに従うとき、わたしたちは主の憐れみと無限の愛を目にすることになります。

索引作成はわたしにとってすばらしい経験となっています。家族歴史に関する様々なことを大切に思うようになり、大好きになりました。また、索引作成に参加するという簡単なことに従うことによって、主から大きな価値のある贈り物を頂きました。

筆者はメキシコ、ベラクルス在住です。

こども

かぞくのれきしを まな 学びましょう

あ あなたのりょうしん
や、おじいさんやおばあさんは、いろいろなことをけいけんしています。あなたの知らないこともあります。わらってしまうような話もあるでしょう。かれらの話は、あなたが天のお父さまをしんじるしんこうをもつためのたすけとなるでしょう。でも、大人もはずかしがってしまうときがあります。つぎのようなしつもんをしてだいすきな話を思い出してもらい、聞いた話をメモしたり、絵にかいたりしましょう。



祈りをもってこの資料を学び、訪問先の姉妹に何を伝えるべきか分かるよう祈り求めてください。救い主の生涯と使命が理解できるようになると、救い主を信じるあなたの信仰はどれほど増し、家庭訪問を通してあなたが見守っている姉妹にどれほど祝福が注がれるでしょうか。詳しくは reliefsociety.lds.org [英語] をご覧ください。

イエス・キリストの 神聖な使命—— 仕え、教え、導く者

本記事は、救い主の様々な使命に焦点を当てた家庭訪問メッセージシリーズの一環です。

人に仕え、教え、導くとき、わたしたちはイエス・キリストに真に従う者となります。主はわたしたちのために模範を示してくださいました。トーマス・S・モンソン大管長は次のように言っています。「わたしたちの周りには〔助け〕を必要としている人が大勢います。わたしたちは地上で主の御手に使われる器であり、わたしたちには御父の子供たちに仕え、彼らを高める責務があります。」¹

中央扶助協会会長のリンダ・K・バートン姉妹は次のように教えています。「実践することで、わたしたち一人一人は神の子供たちに仕えるときに、より救い主のようになることができるのです。互いにもっと〔仕え、教え、導き〕合えるように、次の言葉を覚えておくよう提案します。『まず気づき、それから仕える。』……そうするときに聖約を守っていることになり、わたしたちの奉仕は、モンソン大管長がそうであるように、わたしたちがキリストの弟子であることを証明してくれるでしょう。」²

毎朝、仕える機会に気づけるように



祈ることができます。中央若い男性会長のデビッド・L・ベック兄弟は次のように述べています。「天の御父……は皆さんを導いてくださり、天使が助けてくれます。皆さんは人々を祝福し魂を救う力を与えられるでしょう。」³

聖文から

マタイ 20 : 25 - 28 ; 1 ニーファイ 11 : 27 - 28 ; 3 ニーファイ 28 : 18

注

1. トーマス・S・モンソン「今日われ善きことせしか」『リアホナ』2009年11月号、85
2. リンダ・K・バートン「まず気づき、それから仕える」『リアホナ』2012年11月号、78、80
3. デビッド・L・ベック「仕え、教え導く神聖な務め」『リアホナ』2013年5月号、56
4. ルーシー・メザーブ・スミス、『わたしの王国の娘——扶助協会の歴史と業』36、37で引用
5. ジョージ・アルバート・スミス、『わたしの王国の娘』77で引用



信仰・家族・扶助

わたしたちの歴史から

1856年10月の総大会で、ブリガム・ヤング大管長(1801 - 1877年)は手車隊の開拓者たちがまだ平原を横断していることを告げ、直ちに全員で協力して彼らのために物資を集めるように言いました。ルーシー・メザーブ・スミスは次のように書いています。「〔女性たちは〕ペチコート〔大きなアンダースカート〕、ストッキング、そして与えることができるものは何でも、まさしくそのタバナクルの中で脱ぎ捨て、幌馬車の中に積み込〔んだ。〕」

救助された開拓者たちがソルトレーク・シティーに到着し始めたときのことを、ルーシーは次のように書いています。「かつていかなる労働に従事したときも、……これほどの喜び……を感じたことはなかった。一致の精神がみなぎっていた。店の中に入り、何が欲しいのか伝えるだけでよかった。例えば、衣類の生地が必要だと言うと、無料で生地を測って切ってくれた。」⁴

ジョージ・アルバート・スミス大管長(1870 - 1951年)は、仕え、教え、導くことについて次のように言っています。「わたしたちの永遠の幸福は、ほかの人をどれほど献身的に助けるかにかかっています。」⁵

何ができるでしょうか？

1. 祈ることを通して、どのように主の手に使われる者となることができるでしょうか。

2. 仕え、教え、導くことは、わたしたちが聖約を守るうえでどのような助けとなるでしょうか。

主イエスの愛に ただ驚く

セサル・リマ・エスカランテ

ある日曜日、^{せいさん}聖餐会の前にビショップ
あ プが寄って来て言いました。
「聖餐の祝福を手伝ってもらえるかな。」
「もちろんです」とわたしは答え
ました。

自分の賛美歌集を取りに行き、それ
から手を洗って、聖餐のテーブルに着
きました。賛美歌集を開くと、最初に
目に入ってきた賛美歌が「主イエスの
愛に」でした（『賛美歌』109番）。まだ
集会は始まっていなかったので、最初
の行を読み始めました。「主イエスの
愛にただ驚く。」すると突然、深い愛
で心が満たされました。

前の晩、聖書でイエス・キリストの
生涯の最後の場面を読んでいました。
最後の晩餐、^{ばんさん}ゲツセマネの園、そして
主の死と復活についての箇所です。
イエスが刑の執行者たちに苦しめられ、
打たれ、あざけりを受けておられる
様子を思い浮かべました。また、ゲツ
セマネの園で、弟子たちが眠っている
間に^{あがな}贖いの犠牲をささげておられる
間、^{みすがた}御姿を想像しました。

わたしは自分が救い主の体と血を
表すパンと水を祝福しようとしている
ことに気づきました。聖餐によって、
わたしたちはバプテスマのときに交わ
した聖約を更新することができます。

いつも主を覚え、主の戒めを守り、主
の名を受けるといふ聖約です。

聖餐会が始まったとき、こうした考
えの全てが頭の中を巡っていました。
イエスはわたしたちには理解できない
ほどの途方もなく激しい苦痛を受け
られたのだと心に深く感じました。
主がその苦しみを堪え忍ばれたのは、
わたしたちを、そしてわたしを愛してお
られるからなのだ、という考えが浮か
びました。

主に愛されていると強く感じ、涙を抑
えることができませんでした。自分は
救い主がわたしのためにしてくださ
ったことに値する者ではないように感じ
ました。しかし同時に、主が完全な愛
をもってわたしを愛してくださっている
ことも感じました。友はその友のため
に自分の命を捨てます（ヨハネ15：
13参照）。聖餐の賛美歌が始まり、
わたしは儀式を始めるためにもう一人
の兄弟と一緒に立ち上がりました。



霊的に清める機会

「聖餐を毎週霊的に清める機会とするには、聖餐会に出席する
前に備える必要があります。日常の仕事や娯楽を意識して離れ、
この世的な思いや関心を捨てて、思いと心に聖霊を受けるゆとり
を作るのです。……

聖餐の賛美歌を歌い、聖餐の祈りに参加して、主の肉と血の
記念を受ける間、自分の罪や欠点について祈りの気持ちで赦しを
求めます。前の週に交わし、そして守ってきた約束を思い起こし、次の週も救い主に
従うために明確で個人的な決意をするのです。」

十二使徒定員会 ロバート・D・ヘイルズ長老

「本心に立ち返る——聖餐、神殿、奉仕による犠牲」『リアホナ』2012年5月号、34



わたしたちはパンを覆っている美しい白いテーブルクロスを折り返しました。パンを手を取ったとき、自分には儀式の一部としてそれを裂く責任があることは分かっていたのですが、躊躇しました。パンはキリストの体を表しています。主を傷つけた兵士たちのことが思い浮かび、パンを裂きたくありませんでした。最初の一切れを裂いたとき、イエスが亡くなる前にいばらの冠、鞭打ち、苦難という痛ましく屈辱的な扱いを受けられたことを思い出しました。パンを準備しながら、涙が頬を伝い続けました。

そのときです。これらの痛ましく屈辱的な出来事は必要なものだったのだ、という考えが浮かびました。これらのことはイエス・キリストの贖いの犠牲の一部であって、主はわたしを愛し、わたしたち一人一人を愛しておられるがゆえにその犠牲を払われたのです。

わたしは深い安らぎを覚え、喜びが湧いてきました。パンを一切れ一切れ丁寧に、ゆっくりと裂きました。自分が手に持っているものが特別な目的のために祝福され、聖められようとしていること、そして非常に貴く、麗しく、類い

まれなものを表していることを実感していたからです。集会に出席している人たちが主との聖約を更新し、贖罪の祝福を受けることができるようにこの儀式を行っていることに大きな責任を感じました。

準備を終えて、わたしは裂かれたパンでいっぱいのお皿を見ました。驚くべき崇高な眺めでした。同僚の兄弟が祈りをささげました。「御子の体の記念にこれを頂けるように」という言葉の意味が、かつてないほどはっきりと理解できました(教義と聖約 20:77)。

パンを取って食べたとき、再び救い主の愛を感じました。守られていると感じ、へりくだり、正しいことを行おうと決意しました。自分の生活を振り返り、すべての間違いを悔い改めたいと思いました。

わたしを愛してくださっているイエス・キリストに感謝します。主の贖罪がもたらす祝福を受けられること、すなわち、罪の赦しを受けて天の御父のもとに帰るチャンスがあることに感謝します。■

筆者はメキシコ、メキシコシティ在住です。

考えるための質問

聖餐を受ける備えをよりしっかりと行うために、その週の間、どのようなことができるでしょうか。聖餐の間、どのようなことについて考えていますか。聖餐を受けるとき、赦しを感じ、靈感を受けているでしょうか。

困難は祝福です

レイチェル・ハリソン

神殿結婚には普通より困難な問題があると思っていました。ところが、困難だと思っていたことがすばらしい祝福になりました。

神殿で結婚することによって受ける祝福について、親しい友人と話していたときのことです。わたしは冗談でこう言いました。思いつく祝福はほんのわずかしかないけど、困難はたくさんあるわ。すると友人は次のように言ったのです。「でもね。困難は祝福だと言えるのではないかしら。」

友人の言うことは正しいと分かっていました。

わたしは神殿で結び固められることにより、結婚と家族について永遠の観点に立つという祝福を受けてきました。わたしたち夫婦がまだ若く、結婚したばかりのころから、神殿の聖約

が「鏡」となり、選ぶべき道をいつも映し出してくれたのです。

永遠の観点

わたしたち夫婦は永遠の観点に立って結婚生活を始めました。つまり、わたしたちの家族に生まれてくるのを待っている子供たちをいつまでも待たせたり、子供の数を制限したりしてはいけなかったのです。家族が増えていく間も、夫は大学の勉強を続けていました。フルタイムの仕事に就く頃には、子供は5人になっていました。わたしは家で子供の世話ができるように、パートタイム学生として勉強を続けました。若かったあの頃のことを懐かしく思い出します。本当に大変な、でも楽しい生活でした。小さなアパート暮らしで、まだ1歳半にもならない子供が2人いて、わずかなアルバイト収入で生活し、ひき肉、つまりハンバーグばかり食べていました。

あの頃の生活は、いわばわたしたちの開拓時代だと思えます。大学の勉強を続けながら、子育てを始め、乏しい経済力で生活するという「大平原」を横断していたのです。マーティン手車隊の生存者の一人が彼らの旅についてこう述べています。「わたしたちは皆、神が生きておられるという強い確信をもって苦難を切り抜けました。窮地であって神を知ったからです。」¹ その言葉が語る経験にはとうてい及びませんが、その一端を垣間見たような気持ちです。

結婚当初わたしたちが選択した行いは、世の中の人にとっては理解できないことでした。子育てのために卒業を先に延ばし、共働きをせずに生計を立て、ぜいたくを諦めることは、愚かなことに見えたでしょう。でも、主はイザヤにこう言われました。

「わが思いは、あなたがたの思いとは異なり、わが道は、あなたがたの道とは異なっていると主は言われる。

天が地よりも高いように、わが道は、あなたがたの道よりも高く、わが思いは、あなたがたの思いよりも高い。」(イザヤ 55:8-9)

わたしたちの家族に対する天の御父の御心^{みこころ}に従うために、世の人々が目指すものを捨てることにより、わたしたちの人生は謙虚さという祝福を受けてきました。

力を合わせて困難に立ち向かう

教義と聖約にはこのように書かれています。「犠牲を払って……自分の聖約を進んで守ろうとするすべての者は、〔主〕に受け入れられる。

主なるわたしは、良い土地で清らかな流れのほとりに植えられた、多くの貴い実を結ぶ実り豊かな木のように、彼らに実を結ばせるからである。」(教義と聖約 97:8-9) わたしたちの5人の子供はわたしたちの貴い実であり、まさしく最上の祝福です。

年がたつにつれて、夫とわたしは結婚生活で多くの困難に直面してきました。でも振り返ってみると、今はそう

人は結婚生活を通して人生で最も大切な務めを果たし、最も喜びに満ちた時を過ごすことができます。皆さんが結婚生活で経験した喜びに満ちた折々の出来事についてお話を伺いたいと思います。投稿して下さる方は、liahona.lds.org にアクセスして“Submit Your Work”をクリックするか、liahona@ldschurch.org へメールを送信してください。



した困難に感謝していると心から言うことができます。主は試練によってわたしたちを祝福しておられるのです。個人として精錬され、主と伴侶に心を開けるようになるためです。

神殿結婚は昇栄を受けるための至高の聖約です。この聖約を守るとき、永遠の命にあずかり、日の栄えの王国の最高の階級を得る、つまり永遠に増えることができるのです（教義と聖約 131:1-4 参照）。このすばらしい報いが待ち受けているからこそ、わたしたちは神殿結婚を通して成長し、生まれながらの性質を変えるように努めるべきなのです。

七十人名誉会員のブルース・C・ヘーフェン長老はこのように述べています。「わたしたちは心地よさを求めて結婚生活を始めるかもしれません。しかし、そのうち問題が起きようになります。問題を解決するために真剣に努力すると、常に心地よいとは限りません。でも成長します。そしてつい

には結婚生活に、ただ心地よさだけではなく、喜びを求めようになります。」² 二人で一緒に問題を解決することは、常に心地よいこととは限りませんが、確かに喜びをもたらしてくれるのです。

重労働と喜び

母親であることは、わたしがこれまでに取り組んできた最も難しい仕事です。子育てをする前は、母親であることは、常にではなくても大部分は喜びに満ちたものであり、時折、大変な仕事になると思っていました。ところが、それはまったく逆であると分かるようになりました。永遠の伴侶として夫と結婚したため、親として、また夫婦としての務めを果たす生活は、天の御父ようになるための演習所のようにになりました。現世で担う親の務めは、「人の不死不滅と永遠の命をもたらす」という天の御父の業と目的に似ています（モーセ 1:39）。妻であり

母親であるためには、人の限界を超えた忍耐力、強さ、愛が求められます。母親であることは、性質や願望、可能性においてもっと神のようになる助けとなっています。

わたしは神殿で結び固められることによって、予想もしなかった方法で祝福されてきました。神殿結婚は自分にとっては強さ、子供たちにとっては安定感を得る源になっています。代々にわたり先祖と結ばれ、神殿の業を行うときに先祖に祝福をもたらしています。神殿結婚はあらゆる犠牲を払う価値のあるものです。すばらしい祝福をもたらすことをわたしは知っています。■

筆者はニュージーランド在住です。

注

1. フランシス・ウェブスターの言葉。ウィリアム・R・パーマー, "Pioneers of Southern Utah" *The Instructor*, 1944年5月号, 217-218で引用
2. ブルース・C・ヘーフェン, *Covenant Hearts: Marriage and the Joy of Human Love* (2005年) 13

サムエル

「少年サムエルが主の召しに応えたときの経験は、いつもわたしを鼓舞してくれます。」¹

—トーマス・S・モンソン大管長

わたしの母ハンナは、なかなか子供を授かりませんでした。そこで、息子を授けてくださるよう神殿で祈り求め、息子を授かったら主にささげると誓いました。神はその祈りにお応えになり、わたしが生まれたのです。わたしがまだ幼いときに、母は主に仕えさせるためにわたしを神殿に連れて行きました。神殿では祭司エリがわたしを養育し、教えてくれました。²

子供の頃のある晩、わたしの名前を呼ぶ声が聞こえました。3度、エリのところへ行きましたが、わたしを呼んだのはエリではありませんでした。主がお呼びになったのだ、とエリが言いました。わたしはエリの勧めに従い、4度目に呼ばれたとき、こう答えました。「しもべは聞きます。お話ください。」³ 主はわたしに語られました。そして、わたしが成長する間、いつもともにいてくださいました。主はわたしを主の預言者にお召しになりました。

わたしは年老いると、息子たちをイス

ラエルのさばきづかさ任命しました。ところが、息子たちは義になつた道を歩まなかつたため、イスラエルの長老たちは王を立てるよう願ひ求めました。わたしは王を持つことの危険性を民に警告しましたが、民はしつこく請願を続けました。主は、「彼らの声に聞き従い」なさいとお命じになりました。⁴

主が「若くて麗し〔い〕」サウルを遣わして下さったので、⁵ わたしはサウルを「民イスラエルの君」として聖別しました。⁶ こうしてサウルは民の王になりました。しかし、アマレク人とその所有物を滅ぼし尽くすよう主から命じられたとき、サウルは従いませんでした。アマレク人の家畜を取つておいて、犠牲としてささげたのです。わたしはサウルにこう教えました。「従うことは犠牲にまさり、聞くことは雄羊の脂肪にまさる。」⁷

サウルが不従順であつたため、主はわたしにエッサイの息子たちの中から新しい王を選んで聖別するようお命じ

になりました。エッサイはわたしに長子から順に7人の息子を差し出しましたが、主はいずれもお選びになりませんでした。⁸ そして、末の息子のダビデが王になるべき人であるという啓示をわたしにお与えになりました。容貌や体格ではダビデの兄たちの方が王座にふさわしい人のように見えたことでしょう。しかし、主の民を導く者として主はこの若い羊飼いをお選びになったのです。この経験からわたしは次のことを学びました。「〔主〕が見るところは人とは異なる。人は外の顔かたちを見、主は心を見る。」⁹ ■

注

1. トーマス・S・モンソン「行動する神権者」『聖徒の道』1993年1月号、54参照
2. サムエル上1-2章参照
3. サムエル上3:10
4. サムエル上8:22
5. サムエル上9:2
6. サムエル上9:16
7. サムエル上15:22
8. サムエル上16:10参照
9. サムエル上16:7



じゅうぶん 什分の一と献金

什分の一と献金を納めることにより、子供たちは、主の約束は守られるということを学べます。

本号の60ページから61ページに掲載された記事の中で七十人のアンソニー・D・パーキンズ長老は、若い頃、稼いだお金を使う前に什分の一を納めることにより、欲しい物と必要な物を区別することを学んだと語っています。

パーキンズ長老はこう述べています。この戒めを守ったとき、「わたしの信仰は強まり、主が与えられた他の戒めも守りたいという思いが強くなりました。」長老は『若人の強さのために』で教えられている次の原則を実行しました。「什分の一を納めるときにはあなたの態度が大切です。……自分から進んで、感謝の気持ちを込めて納めてください。」(38ページ)

青少年に教えるための提案

- 青少年は他の人の模範からしばしば学ぶことができます。「什分の一の祝福」(『リアホナ』2013年3月号、26)の記事を参照し、什分の一を納めたおかげで祝福された5人の話を読みましよう。什分の一が自分の家族に

もたらした祝福について話し合ってください。また、什分の一と献金は全ての教会員にどのような祝福をもたらすかについて話すのもよいでしょう。

- 『若人の強さのために』の「什分の一と献金」の項(38-39ページ)と一緒に読んでみてはどうでしょうか。断食と断食献金の関係や、断食献金を家族がどのように納めるかについて話し合ってもよいでしょう。

子供に教えるための提案

- 下記のように実物を使って説明してみたらどうでしょうか。テーブルの上に10枚のコインを置きます。次のように言われたらどんな気持ちができるか、家族に尋ねます。「9枚のコインをあげますが、主の王国を築くために1枚だけ取っておきましょうね。」そのような提案を家族は進んで受けようとするでしょうか。次に、この状況と什分の一の律法との類似点を説明するとよいでしょう。
- 『リアホナ』2011年8月号の「ちいさなおともだちへ」の記事(70-72ページ)を使っても

このテーマに関する聖句

レビ 27 : 30, 32

申命 26 : 12

ネヘミヤ 10 : 38

マラキ 3 : 8, 10。3ニーファイ

24 : 8, 10も参照

ルカ 18 : 12

アルマ 13 : 15

教義と聖約 64 : 23 ; 97 : 10

- 12 ; 119 : 3

よいでしょう。ある少年の体験談が載っています。彼は、自分が納めたお金がたとえたったコイン1枚でも、什分の一を納めることは良い選択だということを知りました。また、記載された活動を子供と一緒にするのもよいでしょう。■

過去の『リアホナ』は lds.org/languages/jpn?lang=jpn からオンラインで見られます。



ダニエル、シャデラク、メシャク、アベデネゴはネブカデネザル王の宮廷に連れて来られたとき、王の食物（訳注——肉中心の食事）を食べ、王の飲む酒を飲むように命じられました。しかし、彼らはそれよりも、野菜（穀物系の食物）を食べ、水を飲もうと決心しました。10日後、「彼らの顔色は王の食物を食べたすべての若者よりも美しく、また肉も肥え太っていた。……〔そして〕この四人の者には、神は知識を与え、すべての文学と知恵にさとい者とされた。ダニエルはまたすべての幻と夢とを理解した。」（ダニエル 1：15, 17）

この物語は、知恵の言葉やわたしたちが実際に取り入れる食物に関する重要な原則について説明するために使われることがよくあるのですが、わたしたちが**比喩的**に取り入れるものに関する別の原則についても教えてくれます。比喩的に取り入れるものには、娯楽用のメディア、すなわち芸術作品、書籍、ダンス、音楽から、デジタルメディア、ソーシャルメディアまで、あらゆるものが含まれます。ダニエルとその友人は、よく考えたうえで決断を下し、自分たちが必要としている栄養が取れないような、また王の宮廷における訓練に集中できないようなぜいたくで消化の悪い食物を避けました。それとまったく同じように、わたしたちもよく見極めたうえで、健全な娯楽を選ばなければなりません（教義と聖約 25：10 参照）。

以下の提案は、この試しの世で、わたしたちの貴重な時間にふさわしい娯楽を選ぶのに役立つでしょう。



軽薄なことを避ける

わたしたちは日々の煩いからの解放を娯楽に求めます。それはくつろいだり、家族や友人とともに笑ったり、楽しく会話をしたりするための時間となります。¹ これらの活動から得られる爽快感は聖霊の影響によりもたらされ、その実は、「愛、喜び、平和、寛容、慈愛、善意、忠実、柔和、自制」です（ガラテヤ 5：22 - 23）。レクリエーションの後ですっきりした気持ちを感じるためには、聖霊の促しと癒しの力がいつでも受けられる娯楽を選ばなければなりません。

聖霊の導きを失い、霊に害を及ぼすのを避けるために、わたしたちは「いかなる形であれ、下品で、不道徳で、暴力的な

娯楽、またわいせつな娯楽に心や目を向けたり、加わったり」²しないように勧められています。しかし、不道徳な内容がまったくないように見えるメディアであっても、わたしたちを人生の目的からそらさせるような害を与えることがときどきあるのです。

健全な娯楽はわたしたちの心を軽快にするのに役立ちますが、わたしたちを軽薄な状態にしかねない別の形の娯楽もあります。教義と聖約で、主は「あなたがたのすべての軽々しい話、すべての高笑い、すべてのみだらな欲望、〔また〕すべての高慢と軽薄……をやめ〔る〕」ように命じておられます

（88：121）。娯楽の中には、わたしたちを救いの計画の目的からそらすものがあります。それは、十二使徒定員会会員のダリン・H・オクス長老が述べている怠惰な思いやつまらない事柄でわたしたちの心を満たすような娯楽です。³ そのような軽薄な娯楽は、すぐにわたしたちを惑わし、「神聖なものを粗末に扱う意図的な神への不敬をもたらし、最悪の場合には、神を冒瀆するに至る」のです。⁴

価値ある メディア



積極的に作用する者となる

わたしたちが聞いたり、見たり、読んだりする娯楽が、わたしたちの心と思いに何の制限もなく入って来るのを受動的に受け入れるのは簡単ですが、人生で非常に大切なことは、わたしたちが作用する者となる方法を知り、「〔自ら〕思いのままに行動することができ、強いられること〔の〕ない」存在となることです（2 ニーファイ 2：26）。真の意味で作用する者になるというのは、自分が楽しむ娯楽について思慮分別を用いるということです。

娯楽のためにメディアをよく考えずに取り入れるのではなく、その娯楽にどれくらいの時間を費やすのか、また公然とであるか、あるいは暗示的であるかにかかわらず、その娯楽がどのようなメッセージを伝えているのかを知らなければなりません。ブリガム・ヤング大学のデジタル・メディア・グループディレクターであるライアン・ホームズは、「テクノロジーはよく考えたうえで利用」し、「それに伴うすべての結果」について注意深く検討しなければならないと語っています。⁵ ブリガム・ヤング大学のシアター・アンド・メディア・アーツ学部長のエイミー・ピーターセン・ジェンセンは、「積極的にメディア

を通じて対話を行い、受動的にメディアを取り入れないようにする」ことが大切であると述べています。⁶



時間を賢明に使う

もっと積極的に作用する者となるためには、娯楽にどれだけ多くの時間を費やしているかに気づくことが必要です。選択肢があまりにも多いため、「携帯メール、電子メール、自動ニュース配信、オンラインビデオ、お知らせなどから手に入るものは何でも」夢中になって取り入れるようになるのは簡単なことです。⁷しかし、そうしていると、もっと力強く、もっと賢く、もっと慈愛にあふれたイエス・キリストの代表者となるために役に立たない、時間を浪費する活動で「[自分たちの]試しの生涯」を無駄に過ごすこととなります(2ネーファイ9:27)。

最新の人気オンラインビデオ、人気のテレビ新番組、あるいはソーシャルメディアの更新で、夜のすべての時間を無駄にする代わりに、意識的に時間を調整し、わたしたちを強め、爽やかな気分にしてくれる有意義な娯楽を楽しむことができます。ホームズ兄弟はこう語っています。「意識的に選ぶことです。デジタルメディアを使って、何を、いつ、どのように対話するのかを自分で決めるのです。」⁸



教化をもたらすメディアを選ぶ

娯楽を慎重に選ぶときに大切なもう一つの要素は、そのメディアがどのようなメッセージを伝えているかに気を配ることです。

どのような形態の娯楽も、意図的であるかどうかにかかわらず、何らかのメッセージを伝えます。例えば、映画や本を楽しんでいるとき、この娯楽は、そこで用いられている象徴、文字、歌詞、映像を通して、どのようなメッセージを伝えているのだろうかと自問してください。どのような価値観が含まれているのでしょうか。どのような行動を支持しているのでしょうか。最も大切なことですが、イエス・キリストについて考え、この御方を尊ぶうえで役立つでしょうか。この御方が神であられることを理解するうえで役立つでしょうか。犠牲について何かを教えられるのでしょうか。愛については、あるいは自分を捨てることについてはどうでしょうか。家族の大切さや結婚の神聖さについて何かを語っているのでしょうか。もし、あなたの関わっている娯楽のメッセージから、福音に関連する何らかの真理を学ぶことができないとしたら、それは価値のない、あなたの時間を使うに値しない娯楽だということになります。

こう言いたくなる人がいるかもしれません。「学校や教会じゃなく、単なる娯楽ですよ。娯楽から何かを学ぶ必要なんてありませんよ。」しかし、意識するかしないかは別として、「どのようなものであれ、あなたが読み、聞き、目にするものは、あなたに影響を与える[のです]。」⁹

わたしたちは知性と感情を働かせて、自分が見たり、聞いたり、読んだりするメディアを評価するときに、しばらくの間、じっくり考えるのです。ジェンセン教授は、こうした瞬間を「内省」と呼んでいます。それは「内なる対話のことで、聞いたり答えたりするわたしたち自身の内なる対話を指しています。わたしたちが経験する最良の内省は、人知れず行う悔い改めの瞬間となることがよくあります。なぜなら、わたしたちが心を変え、新しい道を見だし、より善い自分になろうと決心するのは、内省しているときだからです。このような瞬間に起こる心の変化は、通常、最初は小さく、地味ですが、徐々に大きくなり、心を慰め、豊かな結果をもたらします。」¹⁰

わたしたちは「どのようなことでも、徳高いこと、好ましいこと、あるいは誉れあることや称賛に値すること」を尋ね求めます(信仰箇条1:13)。これはわたしたちが余暇を過ごすときにも言えることなのです。イエス・キリストの代表者として、わたしたちはこう主張しなければなりません。「[わたしたちが]読む[あるいは見る]ものが何であれ、それは……わたしたちに良いことを教えたり、[わたしたち自身]あるいは[わたしたちの家族]の中に良いものを築いたりします。」わたしたちの娯楽への関わりは、「天の御父のビジョンを把握し、分かち合ううえで[わたしたちの助けとなる]……有意義で聖なる行為」でなければなりません。¹¹

わたしたちは、そのような徳高く、好ましい、称賛に値する娯楽、すなわち価値あるメディアは、わたしたちを教化し、人生の試練に備え、主の弟子としての特質を高めてくれることを知っています。■

筆者はアメリカ合衆国ユタ州在住です。

注

- 1.「家族——世界への宣言」『リアホナ』2010年11月号、129参照。ここには、幸せな家族を築く原則の一つとして「健全な娯楽活動」が挙げられている。
- 2.『若人の強さのために』11
- 3.ダリン・H・オークス長老「力強い理念」『聖徒の道』1996年1月、30参照
- 4.ブラッド・ウィルコックス、「If We Can Laugh at It, We Can Live with It,」*Ensign*, 2000年3月号、29
- 5.ライアン・ホームズ、「The Truth of All Things,」(ブリガム・ヤング大学ディボーションナル, 2013年5月7日), speeches.byu.edu
- 6.エイミー・ピーターセン・ジェンセン、「Some Hopeful Words on Media and Agency,」(ブリガム・ヤング大学ディボーションナル, 2012年3月20日), speeches.byu.edu
- 7.ホームズ、「The Truth of All Things,」 speeches.byu.edu
- 8.ホームズ、「The Truth of All Things,」 speeches.byu.edu
- 9.『若人の強さのために』11
- 10.ジェンセン、「Media and Agency,」 speeches.byu.edu
- 11.ジェンセン、「Media and Agency,」 speeches.byu.edu

電源を切り、親の務めを果たす

教会機関誌

ジャン・ピンボロー

救い主が「あなたがたの幼い子供たちを見なさい」と短的に言われると、ニーファイ人は子供たちに目を向けました。その後起こったことは、あらゆる聖文の中でも最も神聖な出来事の一つです(3ニーファイ17:23-24参照)。

我が家の長女が生まれたばかりのとき、わたしは初めてこの「見る」という経験をしました。母親を求める長女の小さな泣き声で真夜中近くに起こされ、授乳の準備をしているときにそのことが起こりました。娘が目大きく開いて、ほんの数秒間でしたが、わたしの目を真っすぐ見詰めました。わたしたちが初めて本当にお互いを「見た」とき、わたしはこれから共にする永遠のきずなを実感しました。

神経生物学の研究では、親と子が「見る」ことによってお互いを認識することが極めて重要であると確認されています。神経生物学者のアラン・N・ショア博士は、「互いの目を見る」無言の会話が、幼児の脳の正しい発達に必要不可欠であると述べています。¹ 近年、このつながりは、成長期の子供たちの知性、心、精神の発達にとって極めて重要になっています。

この「見る」というのは、いいかげんに、気もそぞろに見るということではありません。それは、思いと心で人に対応する行動のことです。それは、「わたしにはあなたが見えます。あなたはわたしにとって大切な存在です」と伝えるような注意を向けることなのです。

今日の両親にとって、この種の「見る」ということをするには、時として電源を抜く自制心、すなわちデジタル機器の画面から離れたり、スイッチを切ったりする意識的な選択が必要です。それは、携帯メールをチェックしたり、ソーシャルメディアの投稿をスクロールして見たりする誘惑に打ち勝つことを意味するかもしれません。また、個人や家族でよく考えてメディアに関するルールを作り、毎日家族の中で互いに与え合う神聖な時間を守るために制限を設けることが必要かもしれません。

子供をもっとしっかり、もっと頻繁に見るように努力することにより、子供の自尊心を養い、互いとの関係を豊かにし、子供の心に触れるという神聖な瞬間を数多く味わうこと
でしょう。■

注

1. Relational trauma and the developing right brain: The neurobiology of broken attachment bonds. テレサ・パドロン編, *Relational Trauma in Infancy* (2010年), 19-47 参照。



電源を切り、愛をもって耳を傾ける

「子供の必要をどう満たすか」という祈りの答えは、電子機器を使う回数をもっと減らすことにあるかもしれませんが、何かに気をそらされていると、子供と交わり話をする貴重な機会が失われてしまいます。毎日時間を決めて電源を切り、互いが交わる時間を取り戻したらどうでしょうか。電子機器の電源をすべて切りさえすればいいのです。そうすれば、最初は家が静かになったと感じられ、何を、何を言えばいいのかさえ分からない気分になるかもしれません。子供たちに全神経を集中させているうちに、会話が始まり、互いの言葉に耳を傾けるのが楽しいと思えるようになるでしょう。」

中央初等協会会長
ローズマリー・M・ウィクソム
「わたしたちの話す言葉」
『リアホナ』2013年5月号, 82



中央扶助協会
会長
リンダ・K・バートン

神権の力



全ての人可以享受できる

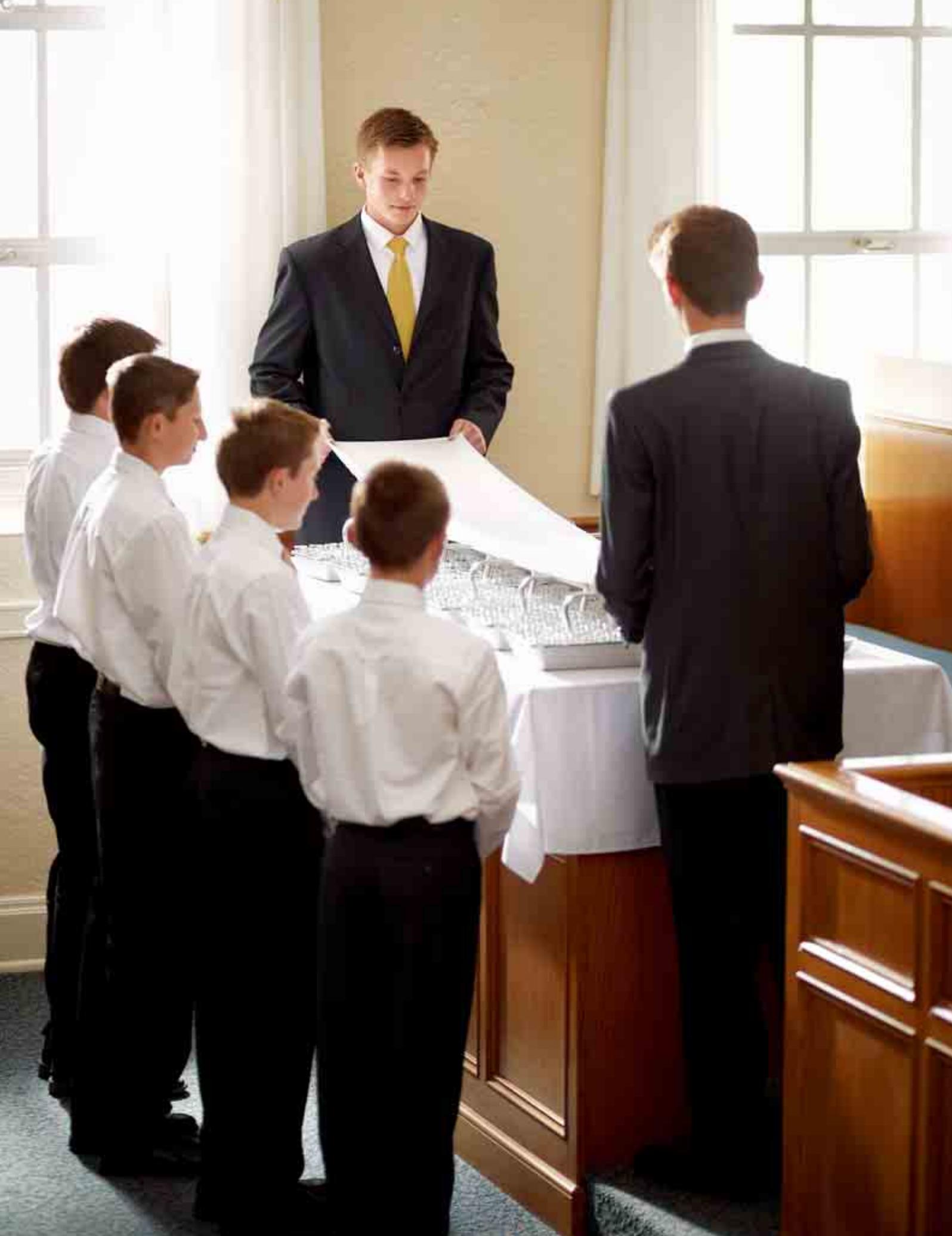
神権の権能は聖任によって授けられますが、
神権の力はすべての人可以享受できるものです。
義にかなっていることは、わたしたち一人一人が
神権の力を自らの生活に招き入れるための条件です。

わ たしたちは教会歴史の中で、神権について質問を受ける時代に生きる特権が与えられています。その権能と力について、そして神の神権に伴う祝福についてもっと深く知り、理解しようとする強い関心と望みがあります。わたし

は神権の教義が「天からの露のように〔わたしたちの心〕に滴る」ように願っています（教義と聖約 121: 45、強調付加）。わたしは主がその業を速めておられることを証します。わたしたちは、主がどのよう^{あかし}にその業を成し遂げられるのかを理解しなければ

なりません。そうすることにより、主の計画と目的に従うことからもたらされる力を受けることができるのです。

神権の力を通して、主は常に御自身の業を成し遂げてこられました。その業とは、「人の不死不滅と永遠の命をもたらす」ことです（モーセ 1: 39）。



神権の力によって、天と地が創造されました。イエス・キリストの贖いにより、神権の儀式を通して、墮落の影響に打ち勝つことができます。天の御父の子供たちに祝福をもたらす神権の力が人に与えられているので、神権の力を家庭に招き入れて、わたしたちの家族とわたしたち一人一人の生活を祝福し強めるよう、天の御父は望んでおられます。

2013年の世界指導者訓練で、十二使徒定員会会員のダリン・H・オークス長老は次のように述べています。「男性は神権ではありません。」¹ この言葉は、わたしたちすべてが神権について研究し、深く考え、よりよく理解するための勧めであると同時に警鐘であると思います。もし誰かから、例えば子供や、他の宗教を信じる友人から次のような質問を受けたら、あなたはどのように答えますか。

- 神権とは何ですか。
- 神権がそれほど大切なのはなぜですか。
- 神権の鍵とは何ですか。
- 神権の鍵は誰が持っているのですか。

神権とは何ですか

神権とは、神が持つておられる永遠の力であり、権能です。この力によって、神はその子供たちを祝福し、贖い、昇栄へと導かれます。十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老は、神権について次のように説明しています。「神権は主が人を通じて人々の魂を救う業を行われるための手段です。……神権者はこの神聖な権能を、神の聖なる思いと御心と目的に従って行使するよう期待されています。神権には自己本位なところが一つも

「神権には自己本位なところが一つもありません。神権は常にほかの人々に仕え、ほかの人々を祝福し、強めるために用いられます。」

十二使徒定員会 デビッド・A・ベドナー長老



ありません。神権は常にほかの人々に仕え、ほかの人々を祝福し、強めるために用いられます。」²

神権について研究し、深く考え、理解しようと努力したとき、もし神権がなくなればこの世界はどうなるだろうと考えることがわたしにとって助けとなりました。十二使徒定員会のロバート・D・ヘイルズ長老は、この考えを深く掘り下げて、次のように語っています。「神権がなくなれば、わたしたちの人生はいかに暗くむなしなものとなるでしょうか。神権の力がこの地上になれば、悪魔ははばかりことなく世界を席卷することになるでしょう。聖霊の賜物がわたしたちに導きと悟りを与えてくれることはありません。

主の御名により語る預言者もいません。神聖な永遠の聖約を交わす神殿もありません。祝福を受けたり、バプテスマや癒しを施したり、人に慰めを与えたりする権能もないのです。……光もなく、望みもなく、ある

のは暗闇だけです。」³

神権の力がないと考えると、心が暗くなります。わたしは、この神聖な力が、この終わりの輝かしい時満ちる神権時代に、神の預言者を通して地上に回復されたことを心の底から喜んでいます。

しかし、オークス長老は神権に関して次のような忠告を与えています。「わたしたちは神権を受けられた人を『神権者』と呼びますが、神権がその人の所有物またはその人自身だと決して考えないようにしなければなりません。男性、女性、子供のために用いるように、聖なる信任の下に託されたものなのです。」⁴

神権がそれほど大切なのはなぜですか

わたしたちは「神の幸福の計画は、家族関係が墓を超えて続くことを可能にしました。わたしたちは、聖なる神殿で受ける神聖な儀式と聖約を通して、神のみもとに帰り、また家族として永遠に一つとなることができ[る]」⁵ということを知っています。十二使徒定員会会員のラッセル・M・ネルソン長老は、次のように教えています。「神権の権能が回復されたのは、家族を永遠に結び固めるためです。」⁶

「福音の儀式を執行するには神権の権能が必要である。……それぞれの儀式は豊かな霊的祝福への扉を開く。」⁷ イエスはペテロに神聖な王国の鍵を授け、次のような責任を付与されました。「あなたが地上でつなぐことは、天でもつなぐれ、あなたが地上で解くことは天でも解かれるであろう。」(マタイ 16:19)

神権の鍵とは何ですか

神権に関する簡潔な説明が、『ニューエラ』(New Era) 2012年5月号に掲載されています。

「一組の鍵に関して、それなしではできないことがたくさんあります。例えば、建物に入る、車を運転する、トランクを開けるなどです。鍵は、基本的に権威や権利を意味します。

同じことが神権の鍵についても言えます。神権の鍵は、神権の祝福や儀式を受ける権利を管理します。……神権の鍵は、教会を管理し、指導する権利です。……鍵は、通常、ワード、ステーク、伝道部のような、地理上の区域に適用されます。また、それは通常、(例えば、バプテスマ、聖餐、^{せいさん}伝道活動、神殿活動)のような特定の

儀式や活動に対する権能が含まれます。」⁸

神権の鍵は誰が持っているのですか

「イエス・キリストは御自身の教会にかかわるすべての神権の鍵を持っておられる。主は地上における神の王国にかかわるすべての鍵を御自身の使徒一人一人に授けてこられた。生ける前任使徒、すなわち教会の大管長は、神権のすべての鍵を行使することが許されている地上で唯一の人物である(教義と聖約 107:91-92 参照)……[大管長は]、他の神権指導者がその責任範囲において管理できるように、神権の鍵を彼らに付与する。……補助組織の会長と顧問は鍵を受けない。彼らは召しにおいて職務を果たすための権能を委任される。」⁹

しかし、神権の権能と神権の力の間には違いがあります。神権の権能は聖任によって授けられますが、神権の力は全ての人がかかることのできるものです。わたしたち全てが、家族や家庭の中で神権の力を受けたいと望むなら、わたしたちはその力を生活の中に招き入れるために何をする必要があるのでしょうか。個人として義にかなった生活が神権の力を受けるために必要不可欠です。

神権の教義を理解する

第1に、聖霊の賜物にふさわしくあるように努めてください。神権の教義は啓示によって最もよく理解できるので、わたしたちの心に教義が滴って明らかになるためには、聖霊の賜物から助けを受けることが不可欠です。

第2に、聖なる神殿に参入してください。わたしたちは、神殿が「礼拝

する場所としては最も神聖な所であ[り]」、¹⁰ 啓示の御霊により神権について学ぶ理想的な場所であることを知っています。

第3に、聖文を研究してください。聖文を探求し、深く考え、研究すると、



聖霊を招き、神権に関する大切な真理がわたしたちに明らかにされます。次の聖文について注意深く、またよく祈って考えるよう皆さんに勧めます。それは教義と聖約第13章、第20章、第84章、第107章、第121章、そしてアルマ第13章です。それから教義と聖約第84章33節から44節にある神権の誓詞と誓約を覚えるように勧めます。そうするとき、神権についてより深く理解できるように聖霊が助け、驚くべき方法で靈感と励ましを与えてくださることを約束します。

また、わたしは皆さんに教義と聖約第121章34節から46節について深く考え、次のように自問するように勧めます。

- わたしはこの世のものに執着していないだろうか。
- わたしは人の誉れを得ることを望んでいないだろうか。
- わたしは自分の罪を覆い隠そうとしていないだろうか。



- わたしは高慢ではないだろうか。
- わたしは自分の子供、伴侶、あるいはその他の人々を抑えつけ、支配し、強制しようとしていないだろうか。
- わたしは説得、柔和、寛容、優しさ、温厚、偽りのない愛（真実で誠実な、あるいは心からの愛）などの義の原則を実践しようと熱心に努力しているだろうか。
- わたしは絶えず徳でわたしの思いを飾っているだろうか。
- わたしは聖霊が常にわたしの伴侶となることを切望しているだろうか。

説得、柔和、寛容、優しさ、温厚、そして偽りのない愛という言葉は、

何年も前に、父に祝福を頼んだことを思い出すと、わたしにとって新鮮で、個人的に意味深いものになりました。

わたしがヤングシングルアダルトだったとき、ある難しい決断をしようと苦闘していました。それ以前にも何度かあったように、わたしは父のところへ行き、祝福を求めました。頼めばすぐに祝福をしてくれるものと思っていたのですが、驚いたことに父から次のように言われたのです。「祝福の準備に少し時間がかかるよ。2、3日待ってもらってもいいかな。」

興味深いことに、40年たった今、父の祝福の言葉は忘れてしまいましたが、わたしの頭に手を置いて父親の祝福を宣言するための霊的な準備を父がするとき、父が聖なる神権に対して抱いていた深い敬虔の念を、わたしは決して忘れないでしょう。父は教義と聖約第121章で教えられている原則を理解し、家族を祝福する神権の力にふさわしくなるために、その原則に従った生活を送ろうと決心していたのです。

生ける預言者の言葉

ほとんど毎日のように、靈感あふれる預言者、聖見者、啓示者とともに働けることは特権であると思います。本当に神権の教義を理解したいと望むなら、信頼できる、神から与えられた生けるよりどころがあります。それは、預言者、聖見者、啓示者です。わたしは、彼らが個人的な義によって神権の力を有する神の人であることを証します。

最近の総大会で、十二使徒定員会のM・ラッセル・バラード長老が次のように教えています。「人に神権の力を与える天の御父の偉大な計画の中では、男性は神権をつかさどるたぐい

ない責任を負いますが、男性だけが神権の業に携わるわけではありません。男女には異なる役割がありますが、両方とも等しく貴重な役割です。女性は男性なくして、子供をもうけることができないように、男性は女性なくして、永遠の家族を築くために神権の力を十分に行使することはできません。つまり、永遠の観点から見ると、子供をもうける力も神権の力も夫婦が分かち合うものです。」¹¹

わたしは、女性が持つ道徳的な影響力は、神権の力に対して相互補完的な賜物であるということを知っています。教会の女性に対する話の中で、ハワード・W・ハンター大管長は次のように強く勧めています。「お願ひですが、皆さんにもその力強い影響力を発揮して善のために奉仕し、家庭と教会と地域社会を強めていただきたいのです。」¹² 最近の総大会で、十二使徒定員会のD・トッド・クリストファーソン長老は、女性に対しこう述べています。「皆さんが独身であろうと既婚であろうと、あるいは子供を産んでいてもいなくても、さらに年を取っていようが若かろうがその間であろうが、道徳に及ぼす皆さんの力はきわめて大きなもので〔す〕。」¹³

同様に、バラード長老はこう語っています。「この世には、義にかなった女性の影響力ほど個性を高め、人を育み、人生を変えるものはないのです。」¹⁴

神の聖なる神権に関連した質問を幾つか取り扱いましたが、きっとそれ以外の質問もあることでしょう。

最初に従い、その後理解する

最後に、未回答の質問に対処するうえで役立つ一つの経験をお話し

神の神権は、わたしたちが家族として神のもとへと戻り、永遠にともに生活できるよう、男性、女性、そして子供を祝福するために与えられた神聖な預かりものです。

注

1. ダリン・H・オークス長老「家庭と教会における神権の権能」『リアホナ』2005年11月号、26
2. デビッド・A・ベドナー「天の力」『リアホナ』2012年5月号、48、強調付加
3. ロバート・D・ヘイルズ「神権がもたらす祝福」『聖徒の道』1996年1月号、35
4. ダリン・H・オークス「扶助協会と教会」『聖徒の道』1992年7月号、40、強調付加

します。数年前のこと、夫とわたしは経験豊富な教会指導者が多く集まる集會に招かれました。新しい管理役員は最近召されたばかりだったのですが、集會の最後に、とても難しく議論が起りやすい質問を受けました。質問が難しいと感じた夫とわたしは、この新しい指導者のために、すぐに心から天の御父に祈りました。その管理役員は、質問に答えるために壇上にやって来ました。そのとき、わたしは彼の表情が変わり、彼が威厳をもって立つと、毅然とした態度で、主の力によって語るのを目の当たりにしました。

彼は次のように答えました。「兄弟、その質問に対する答えは知りません。でも、わたしが知っていることをお伝えします。わたしは、神がわたしたちの永遠の御父であられることを知っています。イエス・キリストが救い主であり、世の贖い主であられることを知っています。ジョセフ・スミスが父なる神とその愛する御子、イエス・キリストにまみえたこと、また神の御手に使われて、神権の力を地上に回復したことを知っています。モルモン書が真実であり、その中にイエス・キリストの完全な福音が記されていることを知っています。わたしたちに今日も生ける預言者が与えられており、その預言者がわたしたちの生活に祝福をもたらすために代わって語ることを知っています。これらのことをわたしは知っていますが、あなたの質問に対する答えは知りません。知らないことは信仰によって受け入れます。わたしは次の簡潔な信仰の言葉を実践しようと努力しています。何年も前に、ゴードン・B・ヒンクレー大管長の妻であるマージョリー・ヒンクレー姉妹



から学んだ言葉です。『最初に従い、その後理解する。』」

神の神権は、わたしたちが家族として神のもとへと戻り、永遠にともに生活できるよう、男性、女性、そして子供を祝福するために与えられた神聖な預かりものです。義にかなっていることは、わたしたち一人一人が神権の力を自らの生活に招き入れるための条件です。この教義がわたしたちの心に滴り、わたしたちがこの教会の頭であり、この神権の力と権能の源である主にさらに近づくことができますように。■

2013年5月2日にブリガム・ヤング大学において行われた女性大会の説教から。

5. 「家族——世界への宣言」『リアホナ』2010年11月号、129
6. ラッセル・M・ネルソン「結婚のきずなをはぐくむ」『リアホナ』2006年5月号、37
7. 「手引き 第2部——教会の管理運営」(2010年) 2.1.2
8. “Priesthood Keys,” *New Era*, 2012年5月号、38
9. 「手引き 第2部」2.1.1
10. 『聖句ガイド』「神殿、主の宮」の項, scriptures.lds.org
11. M・ラッセル・バラード「これがわたしの業であり、わたしの栄光である」『リアホナ』2013年5月号、19
12. 『わたしの王国の娘——扶助協会の歴史と業』157、強調付加
13. D・トッド・クリストファーソン「道徳に及ぼす女性の力」『リアホナ』2013年11月号、30
14. 『わたしの王国の娘——扶助協会の歴史と業』156、強調付加

以下のウェブサイトでは神権についての重要な見解が説かれており、家庭の夕べや日曜学校、伝道活動に活用することができます。lds.org/go/b614300



イタリア

の末日聖徒 信仰の遺産

リア・マクラナハン

イタリアにおける教会の歴史は新約聖書の時代に始まります。その当時のローマ帝国の都は、忠実なキリスト教徒グループの拠点でした。聖書には、最初に福音をローマに伝えた人物が誰であったかは記されていませんが、使徒パウロが紀元約 57 年にローマ人に手紙を送ったときには、教会の支部が「多年」にわたってそこにあったと記されています（ローマ 15：23）。

パウロは、ローマのキリスト教徒について「善意にあふれ[ている]」（ローマ 15：14）と表現しました。パウロはその人々を知っていて、彼が書き送った手紙には愛する聖徒の名前をたくさん書き連ねていました（16：1 - 15 参照）。

パウロはローマのキリスト教徒の信仰を絶賛し、彼らのために熱心に祈っていることを伝えました。パウロは彼らに会うことを熱望し、近いうちに彼らのところに行けるように神が道を開いてくださることを願っていました（ローマ 1：8 - 15 参照）。

パウロがようやくローマに着いたときは囚われの状態でした。しかし、パウロの到着に対する教会の会員たちの期待は大変なもので、パウロを出迎えようと数人の兄弟たちが 69 キロの道のりをアピオ・ポロまで旅したほどでした。パウロは彼らに会って、「神に感謝し勇み立った」のです（使徒 28：15）。

後日パウロは、キリスト教徒がネロやその他の皇帝からひどい迫害を受けた地であるローマで殉教じゆんきやうしました。その後、教会は背教に陥りますが、ローマの初期の聖徒は帝国の中心地に信仰の遺産を残し、キリスト教が全世界に広がるための足掛かりを作ったのです。

© 2014 by LDS Church, Salt Lake City, Utah. All rights reserved. 2014年6月号



ホームレスシェルターの清掃とペンキ塗りを手伝うイタリア・ローマ東ステークの青少年。

*紀元前 63 年——
エルサレムが
ローマ軍指揮官
ポンペイウスによって
征服され、
ローマ帝国の
領土となる。

紀元 45 年——
ローマ市民であった
使徒パウロが
ローマ帝国全土を巡る
最初の伝道旅行を
始める。

64 年——
キリスト教徒が
ローマの大火を
引き起こしたとされ、
ローマ政府からの
迫害が始まる。



◀ 313 年——
コンスタンティンが
最初のキリスト教徒
ローマ皇帝となり、
キリスト教の礼拝が
公認される。

380 年——
皇帝テオドシウス 1 世が
キリスト教を
ローマ帝国の国教に定め、
キリスト教が全世界に
広まる道を開く。

主により隠された民

1849 年、十二使徒定員会のロレンゾ・スノー長老 (1814 - 1901 年) は、イタリアに伝道部を開設するように召されました。どこから始めたらいいかを深く考えていたとき、スノー長老は北西イタリアのピエモンテの山々で生活する宗教共同体であるワルドー派について知りました。

ワルドー派は、その信条のために 7 世紀以上もの間激しい迫害に耐えてきました。彼らはプロテスタントの宗教改革に先立つ数百年前に、初期のキリスト教会が背教したことを説きました。彼らは自らローマカトリック教会から分かれたことで異端のらく印を押され、町を追われ、拷問にかけられ、虐殺されました。そして、彼らは自らの信仰を放棄することよりも、山の上に逃れることを選んだのでした。¹

「〔ワルドー派〕について考えていたとき、光の洪水がわたしの心に押し寄せて来たようだった」とスノー長老は記録しています。また、家族に宛てた手紙の中ではこう書いています。「主がアルプスの山々の間に一つの民を隠してこられたと確信している。」²

イタリアの他の地域では、伝道活動は法律により許されていませんでした。しかし、スノー長老が到着する 2 年前、数世紀の迫害の末にピエモンテ州のワルドー派に宗教の自由が与えられました。³ そればかりでなく、ワルドー派の数人には、宣教師のメッセージを受け入れる備えとなる、驚くべき夢と示現が与えられました。⁴

1850 年 9 月 19 日、スノー長老は二人の同僚宣教師を伴って、福音を宣べ伝える地としてイタリアを奉獻しました。スノー長老はこのように記録しています。「その日から福音のメッセージを宣べ伝える業が始まった。」⁵

それから 4 年の間、宣教師の働きは成功と抵抗の両方に遭遇しました。彼らは、2 種類の宣教師用パンフレットと、イタリア語に訳したモルモン書を発行しました。たくさんの改宗者にバプテスマを施しましたが、1854 年までに、主の業は次第に減速していきました。宣教師が他の地域に呼び集められ、最も信仰の強い改宗者はユタに移住し、迫害がますます激しくなっていました。1862 年に伝道活動がすべて中断され、1867 年には伝道部が閉鎖されました。

*初期の年号は全ておおよその数字である。

イタリアの伝道が活発に行われたのはほんの12年間だけでした。しかしその間に、12の家族と7人の個人が改宗してユタに移住しました。福音を喜んで受け入れたワルドー派の人々は、ユタの教会に強さをもたらしました。今日、末日聖徒とともにロッキー山脈に住むために先祖の国を離れた72人の忠実なワルドー派の人々を先祖に持つ教会員は、数万人に上ります。⁶

救いの業を速める

イタリア伝道部が閉鎖されてから、イタリアにおける正式な伝道活動は100年近く行われませんでした。福音の光がイタリアで再び輝き始めたのは第二次世界大戦のさなかで、

300人から5,000人に増えました。1982年までにその数は倍になりました。最近は見覚ましい発展を遂げています。2005年から2010年にかけて4つの新しいステークが組織され、ステークの数は合計7つになりました。今日、2万5,000人近くの末日聖徒がイタリアに住んでいます。

教会を確立する

七十人のクレグ・A・カードン長老は、1854年にユタ州に移住したワルドー派の改宗者であるフィリッペ・カードンに先祖に持つ、数千人の末日聖徒の一人です。カードン長老はまず、1960年代に新しく開設されたイタリア伝道部の宣教師として、そして後に1980年代にイタリア・ローマ伝道部の

▶ 1173年——
フランス、リヨンのワルドーは、キリストとその使徒が教えた福音の原点に戻る運動を始める。



1215年——
ワルドーとその信奉者、すなわちワルドー派の人々（幾人かはイタリアに住んでいた）は異端と唱えられて迫害を受ける。

1843年——
ジュセッペ（ジョセフ）・トロントがアメリカ合衆国マサチューセッツ州でバプテスマを受け、教会に加入した最初のイタリア人となる。

1848年——
ピエモンテ・サルデーニャ王国のカルロ・アルバート王がワルドー派に宗教的な自由を与える。



◀ 1850年——
ロレンツ・スノー長老は、ジョセフ・トロント長老とB・H・ステンハウス長老とともにイタリアで伝道活動を開始する。

1852年——
イタリア語のモルモン書が出版される。

アメリカから来た末日聖徒の軍人がイタリア全土の都市に駐屯したときでした。これらの会員はグループを構成して日曜日の集会を開き、戦後も、イタリア各地の軍事基地に配備された会員がいたためにグループは存在し続けました。

その後20年にわたって、主は御業を速めてくれました。近隣の諸国で宣教師と出会ったイタリア人が教会に加わり始めました。ナポリとベローナの軍人会員グループは、スイス伝道部の指示の下で支部を組織しました。伝道部はモルモン書をイタリア語に再翻訳して出版しました。イタリアに宣教師が送られる時が近づいていました。

1964年、イタリアはスイス伝道部の地方部として組織され、その後間もなくイタリア語を話す宣教師が幾つかの都市に派遣されました。1966年にイタリア伝道部が開設されたのは、最初のイタリア伝道部が閉鎖されてから99年後のことでした。十二使徒定員会のエズラ・タフト・ベンソン長老（1899 - 1994年）が、福音を宣べ伝える地としてイタリアを再奉獻する祈りをささげました。

伝道部が再開されて10年間で、イタリアの会員数は約

新しく組織されたイタリア伝道部の宣教師と会う
エズラ・タフト・ベンソン長老（中央）。





会長として、先祖の土地で主の業が広がるのを目の当たりにしました。

カードン長老が1983年に伝道部会長に召されたとき、一つを除いてローマにあった全ての教会堂は借家でした。当時、教会の建物を新築するときは、建築費の一部をその地域に住む会員からの献金で賄っていました。複数の建物を建てるための資金が必要だったため、会員がそれほど多くの献金をするのは不可能に思えました。この問題について祈りながら検討した後、イタリアの会員たちはその年のクリスマスに使う予定の

それはすばらしい経験でした。カードン長老はこう言います。「ここには神権の力、神権の鍵があります。霊の避け所として聖文で定義されるステーキが今、ローマに組織されました。」

ローマ神殿

2008年10月の総大会で、トーマス・S・モンソン大管長がローマに神殿が建てられることを発表したとき、人々がはっと息をのむ音や興奮に満ちたささやき声がカンファレンスセンター中に広がりました。イタリアで衛星放送を見ていた聖徒は歓声を上げました。一人の姉妹は

▲ イタリアの聖徒の紹介

—3人の現代のイタリア人末日聖徒の霊感あふれる物語は、この記事のインターネット版、liahona.lds.orgに掲載されています。

1854年——

迫害が強くなったために伝道活動が停滞し、伝道活動の中心がスイスに移る。ワルドー派の改宗者がユタ州ソルトレーク・シティーに移住し始める。

1862年——

イタリアにおける全ての伝道活動が中止となる。

1944年——

末日聖徒の軍人会員グループがイタリアで組織される。



◀ 1964年——

教会はモルモン書の新しいイタリア語訳を発行し、スイス伝道部がイタリア地方部を組織する。

▶ 1966年——

イタリア伝道部が組織され、エズラ・タフト・ベンソン長老が福音伝道の地としてイタリアを再奉獻する。



お金を建築基金に献金するように勧められました。家族はクリスマスツリーの下に贈り物の代わりに自分たちが払った犠牲を表すレンガを置きました。

「そのときに起きたことは奇跡でした」とカードン長老は言います。「必要な金額を超える献金が行われました。この出来事と、聖徒が忠実に什分の一じゅうぶんを納め続けたことにより、彼らが教会を確立するためにできる全てのことを喜んで行うとき、主は伝道部とその地域一帯の聖徒に豊かで霊的な祝福を注いでくださいました。聖徒たちの献身こそが、ステーキが組織され、ローマに神殿が建てられるまでに教会が発展し続けた主要因であったと確信しています。」⁷

中央幹部に召される前の2005年、カードン長老はイタリアに再び戻り、イタリア・ローマステーキが組織される瞬間に立ち会いました。

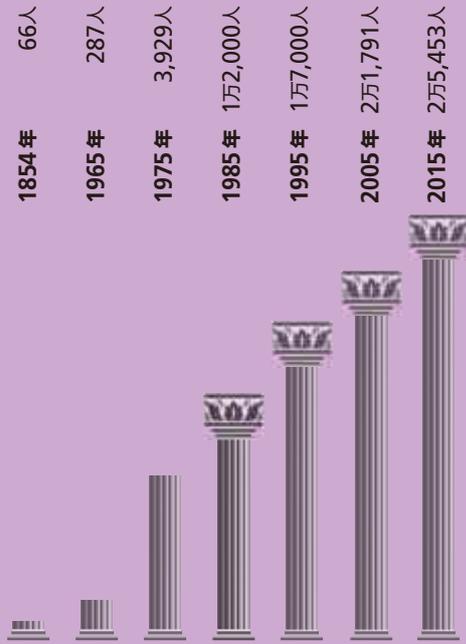


シチリア海岸沿いのカタニアワードの集会所。カタニア支部は、イタリア伝道部が組織された翌年の1967年に設立された。

当時のことをこう回想しています。「翼が生えたかのように足取り軽やかに、歓喜に満たされながら家に帰りました。」

ローマに神殿を建てることに、なぜそれほど深い意味があるのでしょうか。神殿の深遠で霊的な意義を理解することの他に、イタリアの会員たちはローマという都市が持つ歴史的な意義を感じているとカードン長老は語ります。「それはある時代においてローマが行っていた統治と持っていた力、ローマの探検家や芸術家、科学者や発明家が世界に多大な貢献をしてきたこと、そしてローマの宗教的な力が恩恵となって全世界にキリスト教を広める手助けとなってきたことなどです。それらは全て、ローマの歴史の一部です。そして現在、ローマは主の神殿によって恵みを受けているのです。」

イタリアにおける会員数



今日のイタリアに関する教会の統計*

会員総数——
2万5,453人
伝道部数——2
ステーク数——7
ワード数——46
支部数——52
地方部数——5
神殿数——1(建築中)
家族歴史センター数——49

* 2013年12月現在



1972年——
 Harold B・
リー大管長が
イタリアの
会員を訪れる。
末日における初めての
大管長の訪問となる。

1981年——
 イタリアで
最初のステーク、
イタリア・ミラノ
ステークが
組織される。

1993年——
 教会が正式に
資産を所有し、
政府が認める
結婚式を
執り行うための
法的な承認が
与えられる。



◀ 2008年——
 トーマス・S・
モンソン大管長が
イタリア・
ローマ神殿の
建設を発表する。

2012年——
 教会は、
イタリアにおいて
宗教団体が
受けることのできる
最高の法的地位を
与えられる。

2010年の^{くわい}鋳入れ式で、モンソン大管長は次のように言いました。「この地に建てられる神殿は、末日聖徒にとって非常に大きな意味を持ちます。」⁸

40年以上もの間、イタリアの会員たちは、スイスのベルン神殿まで旅をして神殿に参入しました。中には、神殿に着くまで2日かかる人もいました。前のローマステーク会長であり、現在は地域七十人であるマッシモ・デ・フェオ会長は、ローマ神殿は主が末日聖徒たちの長年の奉仕と犠牲を御覧になり、彼らが神殿を切望してきたことを認めてくださったしるしであると信じています。

神殿建設の発表があったときの会場内は、試合の最後の数秒でチームが勝利を決めたときのような歓喜で沸き立っているとデ・フェオ長老は言います。そして、それは救いの計画が発表されたときにわたしたちが前世で感じた喜びと似ているのではないかと長老は想像しています。聖徒たちは抱き合い、^{あかし}笑みをたたえ、涙を流しました。本当の幸せでした。

デ・フェオ長老は次のように証しています。「この時代に主に仕えるのはすばらしいことです。イタリアにとって、ローマ

にとって、非常に特別なことです。主が御自身の王国の一部であるこの地を豊かに祝福しておられることを知っています。」⁹ ■

筆者はアメリカ合衆国ユタ州在住です。

注

1. ロナルド・A・マラン, "Waldensian History: A Brief Sketch," Waldensian Families Research, www.waldensian.info/History.htm 参照
2. ロレンゾ・スノー, *The Italian Mission* (1851年), 10 - 11
3. ロレンゾ・スノー, *The Italian Mission*, 10 - 11
4. ダイアン・ストコー, "The Mormon Waldensians" (博士号卒業論文, プリガム・ヤング大学, 1985年), 26 - 27. 夢の一例として, エリザベス・マキ, "'Suddenly the Thought Came to Me': Child's Vision Prepares Her Family for the Gospel," 2013年6月3日, history.lds.org/article/marie-cardon-italy-conversion 参照
5. ロレンゾ・スノー, *The Italian Mission*, 15, 17
6. ストコー, "The Mormon Waldensians," 1 - 5, 71 - 84
7. クレグ・A・カードン, 2013年6月に行われた筆者とのインタビューから抜粋
8. トーマス・S・モンソンの言葉. ジェyson・スウェンソン, "Rome Italy Temple Groundbreaking," *Church News*, 2010年10月23日付, ldschurchnews.com で引用
9. "Interview with President Massimo De Feo — Italy — Episode 1," *Into All the World* (アーカイブされたラジオ番組); mormonchannel.org



十二使徒定員会
ジェフリー・R・
ホランド長老

キリストに似た者となる という召し

イ スラエルの歴史の中で、人々が悪に染まり社会が腐敗したときや、異邦人との交わりによって道徳的な標準が崩れて神の戒めが守られなくなったとき、聖約の子らは荒れ野へ逃れて一からやり直し、再びシオンを築きました。

旧約の時代、契約の父祖アブラハムは、自分の命を守るためにバビロニアのカルデヤを出て、主に仕えるために、現在「聖地」と呼ばれるカナンに逃れなければなりません（アブラハム 2:3-4 参照）。しかし、それからわずか数世代のうちに、アブラハムの子孫は自分たちのシオンを失い、遠く離れた異教の国エジプトで囚われの身になります（出エジプト 1:7-14 参照）。そしてモーセが召されて、約束の子らを再び荒れ野に導きました。

それから何世紀もたたないうちに、ひととき興味深いことが起こります。イスラエルの預言者リーハイの家族が、再び迫るバビロンの脅威から逃れるために、エルサレムから出て行くように命じられるのです（1 ニーファイ 2:2 参照）。彼らはまったく新しい大陸に行き、新しいシオンを一から築くことになりました（1 ニーファイ 18:22-24 参照）。ヤレドの民という先祖の団が既に国を離れていたことなど、知る由もありませんでした（エテル 6:5-13 参照）。

福音の回復を喜ぶ全ての人にとって興味深いのは、アメリカの最初の入植者が礼拝の自由を求めて故郷を逃れて来た人々だったということです。アメリカにおける清教徒の入植に関する著名な研究者は、アメリカの入植がキリスト教徒の「荒れ野へ入って行く任務」であったと説明しています。つまり、近代のイスラエルが不信心な旧世界を逃れて、新しい土地へ移ってもう一度、天への道を探そうとしたのです。¹

神がこの末日にイスラエルを呼んでおられ、
わたしたちがさらにキリストに似た者となり、
聖くなるように望んでおられることを知っています。
すなわち、神はわたしたちが福音に従って生き、
シオンを築く決意を今よりもさらに強めるように
望んでおられるのです。



もう一つの「逃れ」について話します。それはこの教会のことです。預言者に導かれたこの教会は、わたしたちの信仰深い先祖を導きました。ジョセフ・スミスがニューヨーク州、ペンシルベニア州、オハイオ州、ミズーリ州を追われ、イリノイ州で殺害されたことにより、安全な地を求めて逃れるイスラエルの子らの姿がこの末日に再現されたのです。アメリカのモーセとたたえられるブリガム・ヤング（1801 - 1877年）に導かれてこの盆地に到着した聖徒たちは、歩き疲れながらもこのように歌いました。

見いだせ神の国を
西へ遠く
聖徒を悩ますもの
そこにあらず²

シオン。約束の地。新エルサレム。4,000年以上の聖約の歴史を通じて、聖徒たちはいつも、逃れて探し求め、移動して定住し、バビロンから逃れ、シオンの城壁を築いてきました。

しかし、それは現代の前までの話です。

皆さんの地域にシオンを築く

この神権時代の特徴の一つは、地上に神の王国を築く方法が変わるということです。この神権時代は、大きな、めまぐるしい変化の時代です。一つ変わったことは、神の教会が二度と逃れないことです。ウルやハラン、カナン、エルサレム、イングランド、カートランド、ノーブーを去って未知の場所に行くことはもう二度とないということです。

その必要はもうないのです。教会全体についてブリガム・ヤングが語ったように、「わたしたちはフライパンから火の中に放り出され、火の中から床の真ん中に転がった末、ここに落ち着きました。そして、もうどこにも行きません。」³

当然ながら、この言葉は全世界の教会員についての言葉です。終わりの時、つまりこの神権時代に、教会は逃げる必要がなくなるほど発展してきました。教会は全ての国民、部族、国語の民、民族に永久に根を下ろし、家族を育て、基盤を作るほど成熟してきたのです。教会がある場所なら、どこにでもシオンが築かれます。この変化の結果、シオンは行き先ではなく、わたしたちの生き方になったのです。

この新しい務めについて少し説明するために、3つの出来

事を話します。

3つの出来事と3つの教訓

1. 数年前、わたしが親しくしていた若者は、帰還宣教師で、ユタ州のある大学のバスケットボールチームに所属していました。すばらしい青年で、非常に優秀な選手でしたが、チームの中で思うように力が発揮できませんでした。彼の際立った特定の才能や技術は、当時のチームが必要としていたものとは少し異なっていたのです。運動選手の世界ではよくあることです。そこで、コーチやチームメートの全面的な協力と励ましを受けて、わたしの友であるこの若者は、もっとチームに貢献できそうな別の大学に移りました。

新しい大学では物事がうまく進み、わたしの若い友人はすぐに先発メンバーになりました。そして、どうなったと思いますか。対戦日程の関係で、彼はソルトレーク・シティーの元のチームと対戦することになったのです。

その晩、観客席から非常に口汚いやじがこの若者に浴びせられました。この若い青年は結婚したばかりで、^{じゅうぶん} 什分の一を納め、長老定員会で奉仕し、地元地域の青少年のために奉仕活動をし、もうすぐ生まれる赤ちゃんを妻とともに心待ちにしていました。そんな彼と妻に浴びせられた罵声は、どのような相手にも、どこにいても、どのような状況にあっても、決して許されるものではありませんでした。何のスポーツでどこの大学であろうと、あるいは当人がそのスポーツや大学に関してどのような決断をしていても、です。

この劇的な試合の後で、
どのような状況に置かれても、
どのような誘因や問題があっても、
キリストの真の弟子は
宗教を忘れることはできません。
青年のチームを率いていた伝説的な名コーチは、彼にこう言いました。「一体どうなっているんだ。君は故郷に^{にしき}錦を飾りに来たのだろう。彼らは君の地元の人々、友のはずだ。」そして何よりも残念なことに、コーチはすっかり当惑した面持ちでこう言いました。「ほとんどは君の教会の会員ではないのか。」

2. あるステークでシングルアダルトを対象としたディボーションナルに招待されたときのことです。わたしがステークセンターに後ろのドアから入ったのと同時に30代の若い女性が建物に入って来ました。礼拝堂に向かう人で混雑し



ていても、この女性は誰の目にも留まりました。2, 3か所に入れ墨があり、様々なイヤリングとノーズリングを付け、逆立てた髪は、かき氷にシロップを全種類かけたかのようにまだらに染められていました。そしてスカートはあまりに短く、ブラウスの胸もとは大きく開きすぎていました。

疑問が幾つか心に湧いてきました。この女性は悩みを抱えていて、教会員ではありませんが、主の導きの下で福音の平安と導きを与えようとする人にこのデイポーショナルに連れて来られたか、誘われたのでしょうか。それとも、この女性は教会員であって、教会が勧める理想や基準から少し外れてはいるものの、ありがたいことにまったく教会に来なくなってしまうわけではなく、その晩のこの教会の集会に出ることにしたのでしょうか。

3. 数か月前、カンザスシティー神殿の奉獻式に出席したときに、ホランド姉妹とわたしはアイザック・フリーストーン兄弟の家に泊まりました。彼は警察官であり、ミズーリ州リバティーステークの大祭司です。彼はある経験を話してくれました。ある晩遅く、特に危険な地域の住民から苦情があり、調査するよう指示を受けました。けたたましい音楽が鳴り響き、マリファナの臭いがする部屋の奥で、女性一人と男性数人が酒をあおり悪態をついていました。そして誰一人として、5人の小さな子供のことを一切気に留めていない様子でした。子供たちは2歳から8歳くらいで、一つの部屋で身を寄せ合い、ベッドもマットレスも枕も何も

ない、汚い床の上で何とか眠ろうとしていました。

フリーストーン兄弟は台所の食器棚や冷蔵庫を開け、缶詰1個でも、何か1箱でも食べる物がないか探しましたが、何もありませんでした。裏庭でほえている犬の方がまともに食べているだろうと思ったそうです。

母親の寝室には、マットレスだけがありました。それがこの家で唯一の寝床でした。彼は家中を探してシーツらしきものを見つけ、マットレスに敷いて、急ごしらえのベッドに5人の子供を寝かせました。そしてひざまずくと、彼らを守ってくださるようにと、涙ぐみながら天の御父に祈り、別れの挨拶をしました。

立ち上がってドアに向かうと、一人の子供がベッドから飛び降りて駆け寄り、彼の手をつかみ、「お願いだからおじさんのうちの子にならせて」と懇願したのです。フリーストーン兄弟が再び涙を浮かべながらその子をベッドに連れ戻すと、うつろな目をした母親の姿が目に入りました（男たちはとうに逃げてしまっていました）。「明日また来ます。わたしが玄関から入るまでにこの家の中を変えていなければ承知しませんよ。そして、これからいろいろなことを変えてもらいます。必ずそうしてもらいます。」⁴

この3つの出来事の共通点は何でしょうか。これらは、まったく異なる、現実のバビロンの姿を垣間見せてくれます。一つは、バスケットボールの試合におけるたちの悪い愚かな行動でした。一つは文化に関わる問題で、自分と違う道を



歩む人にどう対応するかという問題、そしてもう一つは、大きく深刻な問題です。

教訓その1 — どんなときも決して宗教を忘れない

まずは、バスケットボールの一件です。あの試合の翌日、一般市民が苦情を言い、謝罪を迫りました。すると、一人の若者が次のように言いました。「いいですか。今は日曜学校ではなくバスケットの話をしているんです。やじを飛ばされるのが嫌ならスポーツをやめればいいんじゃないですか。ぼくたちは大金を払って試合を見ているんですから、何をしようと勝手です。試合中は宗教なんか忘れちゃダメよ。」

「宗教を忘れる」のですか。21世紀にシオンを築くための第1の教訓は、どんなときも決して宗教を忘れないことです。

宗教を忘れることは弟子のすることではありません。そのような人は弟子ではありません。預言者アルマが教えたように、わたしたちは「いつでも、どのようなことについても、どのような所にも、……神の証人になる」のです（モーサヤ18:9）。証人になるべき時は、ときどきでも、特定の場所にいるときだけでなく、応援するチームが優勝しているときだけでもないのです。

どのような状況に置かれても、どのような誘因や問題が

あっても、キリストの真の弟子は宗教を忘れることはできません。

教訓その2 — 思いやりを示しつつも戒めは忠実に守る

次は、デイポーショナルに来ていた女性についてです。この若い女性にどう対応したとしても、わたしたちの言動にはいつも信仰と、福音に対する献身が表れていなければなりません。したがって、どんな状況であっても物事を悪化させるのではなく、好転させるような対処をしなければなりません。この事例では、この女性の背きよりもっと大きな背きとなるような言動もしくは対応をしてはならないのです。

それは意見を持っていないとか、標準がないということではありませんし、神が命じられた、「すべきこと」と「すべきでないこと」を完全に無視してもよいということでもありません。救い主が守り擁護された方法で、わたしたちも標準を守り、すべきことやすべきでないことを、最善を尽くして守るということなのです。救い主は、真理を教えるときも、罪人を赦すときも、神殿を清めるときも、状況を良くするためにすべきことをなさいました。

ですから、何よりも大切なこととして、あの初対面の相手が神の娘であり、永遠の価値を持っているということを思い出すことから始めます。彼女もこの地上で誰かの娘である

ことをまず思い起こします。教会の活動を避けずに出席していることに感謝することから始めるのです。つまり、女性が最良の自分となる助けができるようお願いつつ、わたしたちもこの状況で最良の自分であるように努めるのです。

心の中で祈り続けましょう。この場面で何をすればいいのか、何を言えばいいのか。この状況や彼女を最終的に良くするものは何か。そのような問いについて考え、救い主がなさるであろうことを実行することこそ、救い主の御心だとわたしは思うのです。救い主はこう言われました。「うわべで人をさばかないで、正しいさばきをするがよい。」(ヨハネ 7:24)

社会や政策に合わせるため、あるいはどんな理由であれ、この教会が教義に「手を加える」ことは決してありません。悩んでいる人、孤独な人を助けるために必要な足場を与えてくれるのは、明らかにされた真理という高台だけです。思いやりも愛も、キリスト教徒が持つべき基本的な特性であり条件ですが、これらを戒めに対する妥協と決して混同してはなりません。

このような問題に直面するときに、対処するのは非常に難しく、判断に苦しむ人も出てくるでしょう。若い人はこのような疑問を抱くかもしれません。「福音と相いれない生き方や振る舞いをするべきだとは思いません。でも、どうして他人に同じ振る舞いを強要しなければならぬのですか。彼らに選択の自由はないのですか。わたしたちは自分だけが正しいと思って一方的に自分たちの判断を押しつけていませんか。自分の信仰を人に強制して、人の行いを型にはめようとしているのではないですか。」

そのような場面で、皆さんは説明しなければなりません。どこにいても守るべき原則、どんなことがあっても犯してはならない罪が幾つかあるのは、それに関わる問題や律法が社会や政治の都合で決められたからだけではなく、相手の永遠の行く末に関わるからです。わたしたちは、異なる信条を持つ人の気持ちを害したくない反面、それ以上に神の御心に背きたくないのです。

10代の若者がこう言うのに似ています。「ぼくはもう運転できるから、赤信号で止まることは知っている。でも、自分の判断を押しつけて、他の人にも赤信号で止まってもらわなければならないのだろうか。自分と同じことを全ての人もすべきだろうか。他人には選択の自由はないのだろうか。皆が

ぼくたちと同じように振る舞う必要があるのだろうか。」では、皆さんは理由を説明しなければなりません。わたしたちは皆が赤信号で止まることを望んでいます。しかも、法律を守るよう勧めるときには、守らない人や別の考えを持つ人を非難してはいけません。そうです、彼らには彼らの道徳的な選択の自由があるのです。

この世の中には様々な信条があり、全ての人には道徳的な選択の自由がありますが、このような件について神は何もおっしゃらないかのように行動する自由や、公に認められている戒めだけ守ればよいという自由は誰にもないのです。21世紀には、もはや逃れることはできないのです。信教の

わたしたちの行動には信仰と、

福音に対する献身が

表れていなければなりません。

したがって、どんな状況であっても

物事を悪化させるのではなく、

好転させるような対処をしなければ

なりません。

自由と信教に基づいて活動をすることを認める法律と状況と環境を擁護するために闘わなければなりません。これは、バビロンの中にながらバビロンの者とならないための方法です。

逃げることのできない世界の中で、慎重に物事を進めることほど、わたしたち

にとって大切な能力や優れた品格はないと思っています。つまり、神が宣言された道徳的な基準と、神から与えられた律法をただ守るだけでなく、思いやりを持ち、人の気持ちをよく理解し、愛をもってそれを守るといことです。

教訓その3 — 福音がもたらす価値観によって地域や国家を良くする

わたしたちの中で、警察官や社会福祉職員、裁判官になる人はそれほど多くはないと思いますが、他の人の福利や地域社会の道徳的な環境を守ることに誰もが関心を持つべきです。十二使徒定員会のクエンティン・L・クック長老は、自らの家庭という領域を超え、社会に影響を与える必要性について、次のように話しています。

「家族を守るだけでなく、社会を守るためにも、わたしたちは光の源になるべきです。救い主はこう言われました。『あなたがたの光を人々の前に輝かし、そして、人々があなたがたのよいおこないを見て、天にいますあなたがたの父をあがめるようにしなさい。』……



不義が増す世の中であって、宗教上の信念に基づく価値観について公に表現することは非常に重要です。……

宗教を信じる信仰は、光と知識と知恵の源です。そして……非常にすばらしい方法で社会に利益をもたらします。」⁵

もしわたしたちが地域社会や国に福音の祝福をもたらすようにしなければ、市民に道徳的な行動を取らせるアイザック・フリーストーンのような警察官をいくら増やしても足りないでしょう。そもそも道徳的な行動は強要できません。あの家にいた、食べ物も着る物もなかった子供たちは神の息子や娘です。責任を持つべき年長者であるがゆえに、よりとがめられるべきあの母親も神の娘です。このような状況を解決するには、厳しい態度で正式に、法にのっとってまでも対処しなければなりません。なぜなら、たとえ情けない、無責任な人がいるにしても、わたしたちは宗教を忘れてたり

しないからです。

全部をすることはできなくても、何かはできます。そして、神の召しに応じてそれを行うのはイスラエルの子らです。今回はバビロンから逃れるのではなく、バビロンを攻撃するのです。そのことをよく心に留めるなら、わたしたちはたゆまず様々な面で信仰を実践することができます。そうすることでたくさんの機会を見つけて家族を助け、隣人に祝福を与え、若者をはじめ全ての人を守るのです。

イエス・キリストを愛する心を映し出す

末日聖徒はパン種となり、味を決して失わない塩となり、丘の上に置かれ升の下に決して隠れることのない光となるべきなのです。ですから、模範を示しましょう。

わたしたちが義になかった言動をし、言葉と行いで惜しみなく手を差し伸べるなら、救い主が義にみわざなかって御業を短く



末日聖徒はパン種となり、
味を決して失わない塩となり、
丘の上に置かれ舟の下に決して隠れることのない
光となるべきなのです。

罪や他の人の状況のせいで、いつもうまくいったわけではないことをわたしは知っています。しかし、あなたが正直に努力したと、わたしは確信しています。心の中でわたしを本当に愛していたと、確信しています。」

わたしが人生で何よりも望むのは、いつかこのようにして救い主にお会いすることです。皆さんにも、すべての人にも同じ経験をしてほしいと思っています。「イスラエルよ、イスラエルよ、神が呼んでおられます。」⁶ 小事についても大事についても、イエス・キリストの福音に従うよう呼んでおられます。わたしたちと外見や服装、行動が異なる人に手を差し伸べるよう、そしてその壁を超えて(可能な場所において)世の人々のために奉仕するよう、主は呼んでおられるのです。

わたしは主イエス・キリストを愛し、主の弟子になろうと努めています。御子を与えるほどにわたしたちを愛してくださる天の御父を愛しています。御子という賜物^{たまもの}について言えば、神がこの末日にイスラエルを呼んでおられ、わたしたちがさらにキリストに似た者となり、聖くなるように望んでおられることをわたしは知っています。すなわち、神はわたしたちが福音に従って生き、シオンを築く決意を今よりもさらに強めるように望んでおられるのです。また、わたしたちが求めるならば、主は真の弟子となるための力と聖さを与えてくださることを知っています。■

2012年9月9日にユタ州セントジョージのデイクシーカレッジで行われたCESディボーションナルの説教「悩めるイスラエル」から。全文〔英語〕はlds.org/broadcastsからご覧いただけます。

注

1. ベリー・ミラー、*Errand into the Wilderness* (1956年)、2-3 参照
2. 「恐れず来たれ、聖徒」『賛美歌』17 番
3. プリガム・ヤングの言葉。ジェームズ・S・ブラウン、*Life of a Pioneer: Being the Autobiography of James S. Brown* (1900年)、121で引用
4. アイザック・フリーストーンが筆者に語った話、2012年5月5日
5. クエンティン・L・クック「光あれ」『リアホナ』2010年11月号、28、29 参照
6. 「悩めるイスラエル」『賛美歌』6 番参照

し、この最後の神権時代の終わりを告げて栄光のうちに来られるとき、わたしたちが全力を尽くしている姿を御覧になるでしょう。すなわちわたしたちが福音に従った生活を、自分の生活と教会と社会をできるかぎり良くしようと努めているのを御覧になるでしょう。

主が来られるとき、わたしは福音に従った生活をしていたいと切に願います。主が来られるその驚くべきときに、わたしは信仰を広め、善を行ってほしいと思います。救い主にこう言っていたきたいのです。「ジェフリー、わたしはあなたを肩書きではなく、あなたの生き方と、擁護しようと努めている標準で評価します。あなたの誠実な心を知っています。あなたは世の中を良くするために、まず自分がより善い人になろうと努力してからわたしの言葉を^の宣べ伝え、最も思いやりのある方法で人々の前で福音を擁護してきました。」

主はきっとこう付け加えられるでしょう。「あなた自身の

墓石に残したメモ

2003年の夏、わたしはアメリカ合衆国ミシガン州で、祖父母のおじ、ロバート・ハルについて調べていました。そして旅の最後に、20年前に行った墓地を再び訪れました。

前に来たときには、「ハル」という姓の入った墓石の一つに花が添えてありました。今回わたしは、メモを書いて日付を入れ、風雨に耐えられるようにラミネート加工しました。そして、ロバート・ハルについて何かもっと分かる人が、これを目に留めてわたしに知らせてくれますように、と祈るような気持ちでそのメモを墓石のところに置いてきたのです。カリフォルニア州の自宅に帰ったわたしには希望もありましたが、こんなメモから何かが起こるはずもない

と疑う気持ちもありました。

1週間後、デーキー・ベントレーという、遠いところから手紙が届きました。

こう書かれていました。「昨日、不思議な経験をしました。午後の3時にイチゴを買いに出かけたときに、ふとブレインズロード霊園に行って先祖たちの墓の様子を見てみたくなったのです。そこに行くのは数年ぶりでした。すると、墓の横にあなたのメモがあったのです。」

デーキーが霊園に行ったのは、わたしがこのメモを残した日でした。わたしは、すぐ彼に電話しました。電話で話して分かったのは、彼が霊園から50マイル（約80キロ）以上離れたヒルズデールに住んでいるということでした。

2、3か月後、わたしはデーキーを訪

ねるためにミシガン州に戻りたくてたまらなくなりました。デーキーから、自分の家の真向かいの霊園に親戚が埋葬されているので来てくれないかと言われたのです。彼の話によると、霊園にはハル家の墓が4基あり、そのうちの2基については何も分からないとのことでした。

デーキーは、霊園でわたしに墓石を見せてくれました。分からないという2基の墓は、マーティン・ハルとアンナ・ハルの墓でした。わたしは自分の記録を持って来ていなかったのですが、マーティン・ハルについて調べたことは、はっきりと覚えていました。

故人の記録を調べればマーティンの両親の名前が分かるのではないかと期待して、わたしたちは急いで郡庁舎に向かい、閉館の1時間前に駆け込みました。すると、ありました。マーティンの父親がロバート・ハルだったのです。長い歳月をかけた探究が終わったことを、聖霊が教えてくださいました。

デーキーは教会員ではありませんが、ロバート・ハルが見つかったのは「ほとんど霊的な導きによる」としか思えないと言いました。わたしは御霊が導いてくれたことを知っていたので、にっこりとほほえみました。

デーキーは言いました。「あなたは、20年前にメモを残さなかったことを後悔しているかもしれませんね。でも、わたしがヒルズデールに引っ越して来たのは、たった3年前なんですよ。」

この経験から、家族歴史が確かに神の業であり、神はわたしたちの義にかなった働きを導いてくださるということが分かりました。■

マリアンヌ・チャップリン・ストーバル
(アメリカ合衆国、カリフォルニア州)



□ パート・ハルについて
何かもっと分かる人が、
これを目に留めて
わたしに知らせてくれますように、
と祈るような気持ちで
そのメモを墓石のところに
置いてきたのです。

主は息子を癒してくださるのでしょうか

息子は4歳のころ、「主よ、^{あらし}嵐すさび」(『賛美歌』59番)を歌ってほしいと、わたしによくせがみました。主が風も波もお鎮めになるという繰り返し部分に来ると、息子は小さな目をきらきらと輝かせました。息子はイエスの力について、わたしによく聞いてきました。「イエス様はあらゆる力を持っておられるから、正しいことは何でもおできになるのよ」とわたしは答えたものです。救い主は息子のヒーローでした。

しかし、息子は13歳のときに重いうつ病にかかりました。話す気力がなくなり、食欲すらなくなってしまったのです。それまでしていたことに興味を失い、特に家族の祈りや家庭の夕べに加わりたがらなくなりました。教会にも福音にも興味なくなっていました。

家族で息子のために祈り、よく断食しました。ワードやステーキの多くの兄弟姉妹も、友人や親戚の人たちもそうしてくれました。父アルマが息子のために祈ったような気持ちで、わたしたちは祈ったのです(モーサヤ27:14, 22-23参照)。

わたしたちは息子に福音を強制しようとはせず、家族の祈りにも家庭の夕べにも参加なくていいから、わたしたちと一緒にいてほしいと言いました。「あなたがたの……子が祝福を受けるように、あなたがたの家族の中で……父に祈りなさい」という救い主の言葉に従ったのです(3ニーファイ18:21)。それ以来、家族の祈りも家庭の夕べも力強いものとなりました。わたしたちは家庭に^{みたま}御霊を感じました。息子は何も言いませんでしたが、その場にはいました。

それから2年、わたしたちの祈りと

家庭の夕べの息子への効果が少しずつ表れてくるのが分かりました。あるとき、息子は家庭の夕べで救い主のことを証し、家庭の夕べの準備をしてもよいかと尋ねてきたのです。息子は家族の祈りに加わるようになり、教会にも^{あがな}楽しそうに行くようになりました。息子は贖いをもたらす救い主の愛を感じたときに、心の中に大きな変化を経験したのです(アルマ5:26参照)。主はその癒しの力で、息子を本当に救ってくださったのでした。

息子は幸せになり、再び生き生きとしてきました。進んで人を助け、愛を

示すようになっていったのです。主が癒してくださったと、息子はわたしに言いました。息子はこの試練を通して強い証を培い、救い主への愛と信頼を深めました。そして、アルゼンチンのブエノスアイレス南伝道部で宣教師として主に仕え、帰還してからは神殿で結婚して、奥さんと一緒にかわいい娘を育てています。

救い主は、癒す力と奇跡を行う力、この世と来るべき世で人を幸せにする力を確かに持っておられるのです。■

アナ・クレマチ・サニャルツ(チリ、サンチアゴ)

息子は13歳のときに重いうつ病にかかり、家族の祈りや家庭の夕べに加わりたがらなくなりました。



「君はモルモンかい」

わたしは故郷から遠く離れた所で仕事関係の国際大会に出席していました。何百人もの人が出席していましたが、わたしと同じ州や同じ地域の出身者はいませんでした。

ある晩、出席者全員のために夕食が用意されました。食堂に入るとき、お酒コーナーでアルコール飲料を注文できる無料券が、一人に4枚ずつ渡されました。故郷から遠く離れた所でこんな機会が与えられたら、人はいともたやすく誘惑に落ちてしまうだろう、とふと思いました。何しろ、だれにも知られることはないのですから。でもそう考えたのは一瞬で、わたしはその券をドアのところにいる人に返しました。

夕食では、知らない人7人と食卓を囲みました。わたしは水を飲みながら食べ、話し、笑い、仕事に役立つ情報を交換しました。

翌朝、前の晩に同じ食卓を囲んだ紳士の一人に、朝食の場で挨拶しま

した。名札を見ると、わたしの生まれ育った町の出身だったのでうれしくなりました。その町を離れて35年になります。高校卒業後、家を出て大学に行き、結婚し、そして引っ越したからです。

お互いに知っている場所や地元の行事について話していると、家族はまだそこに住んでいるのかと聞かれました。家族は住んでいないけれどもいい友人がたくさんいて、今でも連絡を取り合っている、と答えました。すると、友達の名前を言ってほしいと言います。そこで、わたしは何人かの名前を挙げました。

2、3人の名前を挙げると彼は話を遮って、「待って、君はモルモンかい。君が名前を挙げた人は皆モルモンだよ」と言うのです。

わたしが末日聖徒であることを認めると、彼は、名前の挙げた人たちは皆善良な市民で地域社会のために奉仕しており、良い模範だと言いました。

彼は数分間にわたって教会とわたしの友達のことを褒め、彼らは地域社会で善いことを率先して行っていると言ったのです。

彼と別れるとき、わたしはあのアルコール飲料の無料券を使っていたらどうなっていたらどうかと考えざるを得ませんでした。正しいことを選ぶよう教えてくれたのは、他にもない、彼との間で話題にした人たちだったので。もしあの券を使っていたとしたら、ばつが悪くて、胸を張って教会員だと言うことはできなかったことでしょう。

このように子供時代から35年もたち、故郷から2,000マイル(約3,220キロ)も離れていながらも、良い模範となってくれたふさわしく、活発で、喜んで奉仕している友人たちに、わたしは心から感謝しています。■

キャロル・A・パウズ
(アメリカ合衆国、ノースカロライナ州)



食堂に入るとき、お酒コーナーでアルコール飲料を注文できる無料券が、一人に4枚ずつ渡されました。

預言者がわたしの祈りに応えてくれました

わたしは大学2年生の終わりに、大学のグラフィックデザインプログラムに申し込みました。そのときには受け付けてもらえませんでした。翌年再度申し込む権利は与えられませんでした。でも、もう1年待ってから卒業することには気が進みませんでした。

その専攻にいちばん近いのは写真学科でした。そこでわたしは専攻を変更することについて祈り、良い気持ちを感じました。とにかく卒業したかったのです。

秋学期の最初に、映画のクラスと写真の社会史のクラスを取りました。両方ともわくわくするほど興味深いクラスでした。しかし、映画のクラスの概要を見ると、生徒はR指定の映画(訳注——視聴に際して、年齢制限のある映画)をたくさん見なければならぬことに気づきました。さらに、写真学科で学ぶ画像は暴力、タブー、性を扱ったものになると講師は言っていたのです。現代の写真では大抵こういったことが題材になっているからというのが講師の言い分でした。

どうしたらよいか考えていると、心が沈んできました。福音で禁じられている事柄でしたが、そのクラスは必須だったのです。世にあって世のものとならないという聖句について考えました(ヨハネ15:19参照)。このクラスを受けながら、このクラスのものとならないことができるでしょうか。

どうしたらよいか分かるよう、そして、正しいことを行う信仰が得られるよう、わたしは祈りました。また、妻や両親、兄にも相談しました。兄に話すと、こんな聖句があると教えてくれました。「たとい人が全世界をもうけても、自分の命を損したら、なんの得になろうか。

また、人はどんな代価を払って、その命を買いもどすことができようか。」(マタイ16:26)

教育が大切だということは分かっていたのですが、間違った分野を選んでしまったのでしょうか。トンネルの出口の光はすぐそこで、卒業まであと少しなのに、学校を一時的にやめることなどできるのでしょうか。

ある晩、病気の赤ん坊と一緒に遅くまで起きていたときに、ふと、トーマス・S・モンソン大管長の説教をインターネットで調べてみようと思いました。わたしはすぐに、2011年10月に話されたモンソン大管長の大会の話を視聴しました。社会の道徳的な基準が低下してきていることについて語る大管長の言葉にじっと耳を傾けました。大管長は、不適切で不道徳な行為が多くの人から受け入れられるようになってきていると言っていました。

ある晩、
病気の赤ん坊と
一緒に遅くまで
起きていたときに、
ふと、トーマス・S・
モンソン大管長の説教を
インターネットで
調べてみようと思
いました。

そして、まさにわたしに必要な言葉を語ったのです。「霊的なものから遠く隔たったこの世にあって、わたしたちは注意しなければなりません。教会の標準に合わないものは、いかなるものも拒むことがきわめて大切です。そうすることによって、神の王国で永遠の命を授かるという最大の望みを捨てることを拒否するのです。」¹

この言葉は、大きな力でわたしの心を貫きました。涙が頬を伝いました。生ける預言者がわたしの祈りに応えてくれたことを知りました。

わたしは卒業の時期を遅らせましたが、預言者に従って世の見方を拒み、戒めを守って福音の標準を守るならば、主は家族とわたしを祝福してください。■

デリック・フィールズ
(アメリカ合衆国、ミズーリ州)

注

1. トーマス・S・モンソン「聖なる地に立つ」『リアホナ』2011年11月号、83





管理ビショップリック
第一顧問
ジェラルド・
コセービショップ

幸福の道を歩みましょう

一般的に、若い時期は個人の
——計画を立てるのに最適な
ときです。ヤングアダルトと
して、皆さんは将来の夢を持つべき
です。それはスポーツで達成したい
こと、偉大な芸術作品の創作、または
卒業証書を得ることや職業上の役職
を得ることかもしれません。あるいは、
将来の夫または妻を心に思い描いて
いるかもしれません。

皆さんの願いは幾つかなのでしょう
か。人生は不確定なものです。人生
の進路を一瞬にして変えてしまう重要
な瞬間があるでしょう。そのような
瞬間とは、ただ一目見ること、1度の
会話や、予定外の一つの出来事かも
しれません。新しい機会が訪れるで
しょう。伝道に出る年齢に関するモン
ソン大管長の最近の宣言などがそう
です。¹ ときどき、人生の進路変更は
予期しない試練や失望から来ること
があります。

ほとんどの人は未知の事柄を嫌い
ます。人生の不確かさが、自信の欠如
や未来への恐れにつながるものが
あります。ある人は、良い機会が訪れ
ているときでさえ失敗を恐れて、決意
することをためらいます。例えば、結

婚、教育、家族を持つこと、または安
定した職に就くことを遅らせ、ただぼ
んやり過ごしたり、居心地の良い
実家にとどまったりすることを好み
ます。

わたしたちを制限するもう一つの考
え方がこの処世訓に示されています。
「明日は死ぬ身なのだから、飲み食いし、
楽しみなさい。」(2ニーファイ 28:7)
この考え方は、将来の結果にかかわ
らず、今の快樂にふけることを好むと
いうものです。

幸福の道

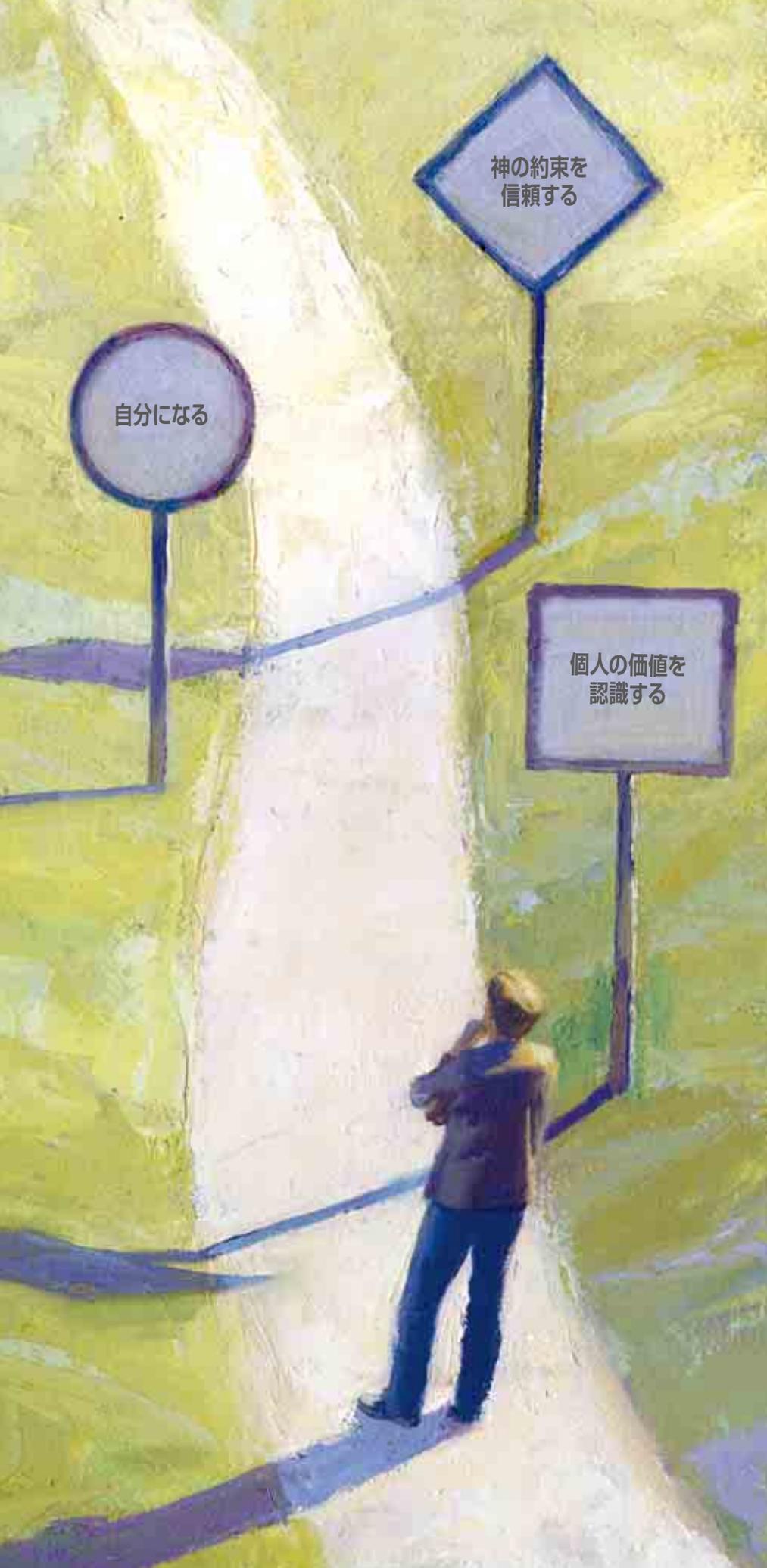
恐れや疑い、または放縦とは異なっ
た道、つまり人生に平安と自信と安ら
ぎをもたらす道があります。人生の
全ての状況をコントロールすることは
できませんが、自分の幸福をコント
ロールするのは皆さんです。幸福は
自分で設計するのです。

幸福とは、他の何よりも皆さんの
霊的なビジョンの結果であり、人生を
築き上げる原則の結果なのです。
予期しない苦難や思いがけない出来
事があるとう、これらの原則は皆さん
に幸福をもたらします。これらの本質
的な原則を復習したいと思います。

幸福は、
人生を取り巻く状況ではなく、
従うことを選んだ原則によって
決まります。

1. 個人の価値を認識する

最近、わたしは家族と南フランスで
リラックスした数日を過ごしました。
ある夜、ちょうど日が沈み、暗闇が
周りの山野を包み込んだ頃、わたしは
家の外の長椅子に横たわって、静か
なひとときを過ごそうと決めました。
わたしは天を見詰めました。最初は
見通すことができないほど真っ暗で
した。しかし、突如、空に火花のような
光が現れ、そして二つ、三つと現れま
した。徐々に目が暗闇に慣れ、気づく
とわたしは無数の星を眺めていました。



真っ暗に思われた空が、天の川に変わったのです。

宇宙の広大さと、自分の存在の小ささに思いを巡らせながら、わたしは自問しました。「このような壮大さとすばらしさを前にして、わたしは一体何者なのだろうか。」一つの聖句が頭に浮かびました。

「わたしは、あなたの指のわざなる天を見、あなたが設けられた月と星とを見て思います。

人は何者なので、これをみ心にとめられるのですか、人の子は何者なので、これを顧みられるのですか。」(詩篇 8:3-4)

すぐ後に次の慰めの言葉が続きます。

「ただ少しく人を神よりも低く造って、栄えと誉とをこ^{ほまれ}うむらせ〔られました。〕」(詩篇 8:5)

これが創造の逆説であり奇跡です。宇宙は広大で無限であると同時に、創造主から見て、わたしたち一人一人は栄光あふれる無限の存在で、独自の価値を持っているのです。わたしの物理的な存在はとても小さいですが、天の御父にとって、わたし個人の価値は計り知れないのです。

神がわたしたちを御存じで個人的に愛しておられることを知ることは、人生を照らし、意味あるものにする光のようなものです。わたしが誰であろうと、友人がいようがいまいが、人気者であろうがなかろうが、そして他人に拒絶され虐げられたとしても、わたしには、天の御父が愛して下さるという絶対的な確信があります。神はわたしが必要としていることを御存じで、わたしの悩みを理解しておられます。神はわたしを祝福することを望んでおられます。

もし神が見ておられるように皆さんが自分を見ることができたら、皆さんにとってどんな意味があるのでしょうか。神が持っておられるのと同じ慈善、愛、信頼をもって自分を見ることができたとしたらどうでしょうか。神が理解されるように、皆さんの永遠の可能性を理解することは、皆さんの人生にどのような影響を与えるのでしょうか。

神がおられることを証します。神を求めてください。探し求め、研究してください。祈り、尋ねてください。神が御自身の存在と皆さんへの愛を表すしるしを、目に見える形で送って下さることを約束します。

2. 自分になる²

「自分になる」という言葉は、矛盾しているように思えます。わたしはすでに自分なのに、どうやって自分になることができるのでしょうか。物語を通してこの原則を説明しましょう。

『分別のつく年頃』(The Age of Reason)という映画は、出張や会議がびっしり詰まった多忙な生活を送る



前世から
手紙が届くとしたら、
こんな言葉が書かれている
かもしれません。
「愛するわたしへ、
わたしの一番の望みは
救い主イエス・キリストの
弟子となることだ
ということ
を
思い出してください。」

裕福な銀行員マーガレットの物語です。熱烈な求婚者がいますが、結婚や子育てをする時間はないと言います。

40歳になった日、彼女は次のような不思議な手紙を受け取ります。「愛するわたしへ、今日わたしは7歳で、あなたにこの手紙を書いています。それは、7歳のときに心に決めたことをあなたが思い起こすためであり、どんな人になりたいかを思い出すためです。」手紙の送り主は、他の誰でもない、7歳のマーガレットでした。その後受け取った何通もの手紙に、少女時代のマーガレットは人生の目標を詳細に記していました。

マーガレットは、幼い頃夢見た人物とはまるで違う大人になってしまったことに気づきます。子供の頃心に描いた人になろうと決心すると、彼女の人生は完全にひっくり返ります。家族と和解し、残りの人生を、助けが必要な人々に奉仕することにささげる

と決心するのです。³

皆さんが地上に来る前に書いた手紙を受け取ることができるとしたら、何と書いてあるのでしょうか。忘れてしまったけれど実在する前世から、今日手紙が届くとしたら、皆さんにどのような影響を与えるのでしょうか。

手紙は次のような内容かもしれません。「愛するわたしへ、わたしが将来どんな人になりたいかを思い出してもらえるように、この手紙を書いています。わたしの一番の望みは救い主イエス・キリストの弟子となることだということをお出ししてください。わたしは主の計画を支持し、地上にいたとき主の救いの業に携わりたいと思っています。それから、永遠に一緒にいられる家族の一員になりたいということも思い出してください。」

人生の大きな冒険の一つは、わたしたちが何者で、どこから来たかを見だし、神の子供という真のアイデンティティーや存在目的にふさわしい

生き方をする事です。

3. 神の約束を信頼する

預言者マラキの教えは福音の回復の中心となっています。「彼は先祖に与えられた約束を子孫の心に植え、子孫の心はその先祖に向かうであろう。」(ジョセフ・スミス—歴史 1:39) 回復のおかげで、皆さんは約束の子孫です。皆さんは受け継ぎとして先祖に与えられた約束を受けましょう。

祝福師の祝福を読み返してください。この祝福で、皆さんはイスラエルの十二部族の一つにつながっていることを主が確認しておられます。その部族の一員となった皆さんは忠実であるなら、アブラハムとイサクとヤコブに約束された限りない祝福の相続人となるのです。神はアブラハムに次のように約束されました。「この福音を受け入れるすべての者はあなたの名によって呼ばれ、あなたの子孫と見

なされ、立ち上がってあなたを父としてたたえるであろう。」(アブラハム 2:10)

これらの約束は明白です。わたしたちがなすべきことをすれば、神は約束を守ってくださいます。とはいえ、これらの約束は、人生で起こる全てのことわたしたちの期待と望みどおりになることを保証しているわけではありません。むしろ、神の約束は、わたしたちに起こることが神の御心^{みこころ}にかなうことを保証します。人生でわたしたちが望むことのできる最も大いなることは、自分の意志を主の御心に添わせること、すなわちわたしたちの人生に対する主の予定表を受け入れることです。主は初めから全てを御存じで、わたしたちにはない永遠の見地から物事を見ておられ、無限の愛でわたしたちを愛しておられます。

個人的な経験を通してこの原則を説明しましょう。若い頃、わたしはフラ

ンスで一番のビジネススクールの入学試験に備えることにしました。1年かけた準備はとても大変でした。その年の初めに、やる事がどんなに多くても、勉強のために日曜日の集会や週1回のインスティテュートのクラスを欠席することはしないと決心しました。ヤングアダルトワードの書記として奉仕することも受け入れました。主がわたしの忠実さを見て、目標を達成するのを助けてくださるとわたしは確信していました。

1年たって入学試験が近づいたとき、最善を尽くしたと感じていました。最も評判の良い学校の試験会場に着いたときには、主がわたしの望みに応えてくださるという完全な自信を持っていました。しかし、残念なことに、最も得意としていた口述試験が予想外にうまくいかず、待ち望んだ学校に入るのを阻まれるような成績を取ってしまいました。わたしは打ちひしがれました。忠実に忍耐してきたのに、主はどうしてわたしを見捨てられたのでしょうか。

第2志望の学校の口述試験会場に行ったとき、心は疑いに満ちていました。この学校で最も比重を占めていた試験は、学校の指導教官の監督の下で審査官が行う面接でした。面接の始まりはありきたりでしたが、やがて、あまり重要でなさそうなことを聞かれました。「あなたが試験のためにたくさん勉強してきたことは分かっています。しかし、勉強以外にどのような活動をしてきたか知りたいと思います。」

わたしは
最高点に近い
成績をもらい、
成績優秀者として
この学校に入ることが
できました。

一瞬、心臓が止まりそうでした。この1年間、わたしは勉強と教会の二つのことしかしていません。教会の会員であることを審査官が否定的に受け止めるのではと心配しました。しかしすぐに、信じている原則に忠実であり続けようと決心しました。

およそ15分間、日曜日の集会やインスティテュートのクラス、そしてワード書記としての責任など、教会でやってきたことを説明しました。話し終えると、学校の指導教官が口を開きました。

「わたしは若い頃、アメリカで勉強したことがあります。当時の親友の一人がモルモンでした。注目すべき若者で、人として素晴らしい特質を持っていました。モルモンは非常に善良な人たちだと、わたしは思っています。」

その日、わたしは最高点に近い成績をもらい、成績優秀者としてこの学校に入ることができました。

わたしは主に感謝しました。しかし、本命校に入れなかったことが奇跡的な祝福であったことを理解するのに数年かかりました。第2志望のこの学校で、わたしにとって重要な人々と出会いました。彼らとのつながりは、社会人として働いていた間ずっと、そして今でも、わたしと家族の人生に価値あるものとなっています。

力の限りを尽くしたのに望みや期待のとおりには物事が進まないときは、天の御父の御心を受け入れる準備をしてください。神は、最終的にわたしたちの益となるものしかお与えになりません。耳元でささやくあの穏やか

な御声^{みこゑ}を聞いてください。「すべての肉なるものはわたしの手の内にある……。安らかにして、わたしが神であることを知りなさい。」(教義と聖約 101:16)

未来は皆さんの信仰のように輝いている

妻バレリーとわたしのたどってきた人生について考えれば考えるほど、若い頃、永遠の命という共通のビジョンを持っていたことが違いをもたらした、と確信します。わたしたちは永遠の家族を始めたいと思いました。地上にいる理由と、永遠の目的を知っていました。神がわたしたちを愛しておられ、神の目にわたしたちは偉大な価値があることも知っていました。神の方法で、神が良いと思われるときに祈りに応えてくださることを、心から信頼していました。

全ての事柄に対して神の御心を受け入れる準備ができていたかどうかは分かりません。なぜなら、それは学ばなければいけなかったこと、今後もしも学び続けることだからです。しかし、神に従うために最善を尽くそう、神に自分たちをささげようと思っていました。

モンソン大管長とともに、皆さんの「未来は皆さんの信仰と同じく希望に満ちています」と証します。⁴皆さんの幸福は、人生を取り巻く状況ではなく、従うことを選んだ原則によって決まります。これらの原則に忠実であってください。神は皆さんを御存じで、愛しておられます。神の永遠の計画

に調和して生活し、神の約束に信仰を持つなら、皆さんの将来は明るく輝きます。

皆さんには夢や目標がありますか。それは素晴らしいことです。心を尽くして達成してください。そして、足りない分は主に委ねてください。主は、皆さんの力だけではなり得ない人物になれるよう、皆さんを導いてくださいます。

いついかなるときも、主の御心を受け入れてください。主が求められる場所に行き、主が求められることをするために備えていてください。主が導かれるとおりの男性または女性になってください。

この世の人生は、永遠の中の素晴らしい一瞬であることを証します。わたしたちは神にまみえる準備をするという栄光あふれる目標を胸に、この世に生きているのです。■

2012年11月12日にソルトレークタバナクルで行われたCESディバーショナルの説教から。全文〔英語〕は lds.org/broadcasts からご覧いただけます。

注

1. トーマス・S・モンソン「大会へようこそ」『リアホナ』2012年11月号、4-5参照
2. 最も名高いギリシャ詩人の一人、ピンドロスによる。ピンドロス、Pythian 2.72参照、*Olympian Odes, Pythian Odes*、ウィリアム・H・レース編・訳(1997年)、239で引用
3. 「マーガレットと素敵な何か」(*L'âge de raison [With Love . . . from the Age of Reason]*) ヤン・サミュエル監督(2010年)参照
4. トーマス・S・モンソン「元氣を出しなさい」『リアホナ』2009年5月号、92

インターネット

で福音を分かち合う

マリア・マホンリー・イグラジル・
アルデュオ・アングラ

わたしは、常に友達に勇気をもって福音を伝えてきたというわけではありません。友達の多くは、わたしが教会に行っていることを知っていましたが、一歩踏み込んで自分の証を伝えたことなど一度もありませんでした。でも、教会について間違った考えを持っている人がいれば、できる限りそれを訂正するようにしてきました。

大学に行くようになると、わたしは討論の同好会に入りました。「モルモン」について出た話の内容を討論の後で訂正したことから、わたしが末日聖徒だということが同好会の会員に知れ渡りました。自分の信仰についてはそれまで話したことがなかったので、その日は次から次へと質問が飛んで来ました。わたしは怖くなって答えるのをやめようかと思いました。自分の信仰していることが正しいことは分かっていたのですが、それをどう伝えればよいのか分からなかったのです。祈りましたが、答えが頂けるとは思いませんでした。

数日後、フェイスブックを見ていると、教会のわたしの指導者がLDS.orgから取って載せた記事がありました。それを見て、自分も教会の記事を載せればよいのだということに気づきました。大学の討論チームの人たちが質問してきたようなテーマを探して自分のウォール(訳注——フェイスブック上で、自分の



自分の信仰していることが正しいことは分かっていたのですが、討論チームの仲間が教会について投げかけてくる質問に全部答えようとしているうちに、わたしは心細くなってきました。

近況や写真、リンク、動画などを投稿し、発信する場所)にリンクを貼り付け、質問してきた人の名前を全部タグ付けしました。こうした方が、質問した人たちは答えを見て満足するだろうと思ったのです。

わたしはそれまで、自分の信仰についてインターネット上に載せたことはなかったので、なおさらわたしの信仰に興味を持ってくれる人が増えました。質問されると、基本的なことを答えながら、教会の資料へのリンクも紹介しました。こうすると、わたしの答えだけでなく、その質問に対して中央幹部がどう言っているかについてもその人たちに知ってもらうことができます。

慎重に扱うべき内容になってきたら、個人的にメールで答えるようにしています。

教会がインターネットで資料を提供していることに本当に感謝しています。教会について人から聞かれると、わたしは今でも気持ちが落ち着かなくなります。でも今では、質問されるのを待っているだけではありませんでした。わたしは自分から積極的に教会関係の資料をインターネット上に載せています。このような資料は、会員の友達と会員でない友達の双方にとってためになることが分かっているからです。

■
筆者はフィリピン、メトロマニラ市在住です。

選択の自由と答え—— 啓示を認識する

一見、主との交わりをじゃまする壁も、信頼を育む大きな一歩となります。



十二使徒定員会
リチャード・G・
スコット長老

わたしのところへ相談にやって来た姉妹が、涙を流しながらこのように言いました。「わたしはもう何を信じていいのかわかりません。」人生の岐路に立ち重要な決断を迫られた彼女は、何日も悩み続け、祈ってきたのです。「どうしていいかわからないのです。どうか教えてください。そのとおりにしますから。」聖典に手を乗せ、彼女は続けて言いました。「神はわたしたちを助けるとおっしゃいました。他の人の祈りには応えておられるのに、どうしてわたしの祈りには応えてくださらないのでしょうか。」

人は、感情の渦に巻き込まれてしまうと、そこから抜け出す方法を自力で見つけることがなかなかできなくなるのです。この女性と似たような思いを抱いている人に、わたしの話が役立つことを願っています。

すぐに答えを欲しいと望んで祈っても答えがないように思えるのは、わたしたちが祈りに関する真理を理解していないか、あるいは答えを受けてもそれに気づかないためです。

祈りの原則

天の御父との交わりは、ささいなことではありません。神聖な特権であり、不変の原則に基

づいています。わたしたちは、信仰と従順に応じて、また選択の自由を適切に使うことに応じて、天の御父から助けを受けます。

全ての祈りがすぐに応えられると考えるのは間違いです。祈りの中には、わたしたちの方でかなりの努力をしなければならないものもあります。また、特に具体的に求めなくとも、御霊の印象を受けることがときどきあります。それはたいてい、わたしたちが知る必要のある事柄に関わっていて、他の方法では見つけれない場合です。

彼女は言いました。

「神はわたしたちを助けるとおっしゃいました。

他の人の祈りには応えておられるのに、どうしてわたしの祈りには応えてくださらないのでしょうか。」

わたしたちがこの地上に来たのは、それ以外では得ることができない経験を得るためです。進歩成長し、霊的に成熟するための機会が与えられているのです。この機会を生かすには、真理を実践する方法を学ばなくてはなりません。いかに困難な課題に取り組み、難しい問題を解決するかが、幸福を得るための決め手となるのです。

わたしは祈りについて理解を深めるために、人の助言に耳を傾け、聖文を読んで熟考し、預言者たちの生涯について研究してきました。しかし、最も役立つと思われるのは、心の中に次のような子供の姿を思い浮かべることです。すなわち、愛と親切、知恵と理解に満ち、わたしたちの成功を望んでおられる御父を信頼しながら、みもとへ歩み寄ろうとしている子供の姿です。

自分の気持ちをうまく表現できないからといって心配する必要はありません。ただ、御父に話しかければよいのです。御父はどのような祈りにも耳を傾け、御自身の方法で応えてくださるのです。

わたしたちが問題を説明し、その解決法を提案すると、御父は「はい」とお答えになることもあれば、「いいえ」とお答えになることもあります。また、しばらくの間、答えを控えられることもよくあります。それはわたしたちに対する無関心ではなく、むしろ深い愛の表れなのです。わたしたちが与えられた真理を実践するように御父は望んでおられます。わたしたちが成長するためには、正しい決断をする力が自分にあることを信頼し、正しいと感じることを行う必要があります。

御父はふさわしいときに、必ず応えてくださいます。わたしたちを見放されることはありません。

御父とわたしたちとの間には、これまでに述べてきたようなつながりが実際に存在します。わたしたちについて御父が御存じでないことは何ともありません。御父はわたしたちに必要なものを全て御存じであり、あらゆる答えをお与えにすることができます。しかし、御父の目的はわたしたちの永遠の幸福なので、御父は正しい選択をするようにわたしたちを励まされるのです。

答えを見いだす3つの方法

1. 主が既に下さった答えを探す

多くの人と同様、オリバー・カウドリも主から既に受けていた祈りの答えに気づきませんでした。オリバーやわたしたちの目を開くため、ジョセフ・スミスを通して次の啓示が与えられました。

「あなたが行ってきたことのために、あなたは幸いである。あなたはわたしに尋ね、そして見よ、尋ねる度に、わたしの御霊からの教えを受けてきたからである。そうでなかったな



らば、現在あなたがいる所に来ることはなかったであろう。

見よ、あなたがわたしに尋ねたので、わたしがあなたの思いを照らしたことを、あなたは知っている。そして今、あなたが真理の御霊に照らされたことを知るように、わたしはこれらのことをあなたに告げるのである。」(教義と聖約6:14-15, 強調付加)

自分の祈りに神が応えてくださらないと感じる場合には、これらの聖句について深く考え、注意深く自分の生活を振り返って、神が既に応えてくださったことを示す事実はないか、探してみるとよいでしょう。

2. 心に感じることに注意する

わたしたち一人一人が与えられた答えに気づくために、主は次のように述べておられます。

「あなたはこれ以上の証を望むならば、これらのことが真実であるのを知ろうとして心の中でわたしに叫び求めた夜のことを思い出しなさい。

わたしはこの件についてあなたの心に平安を告げなかったであろうか。」(教義と聖約6:22-23, 強調付加)

主は次のように、わたしたちが心の中で問題をよく思い計るようにと勧告し、さらに深い洞察を与えておられます。

「もしそれが正しければ、わたしはあなたの胸を内から燃やそう。それゆえ、あなたはそれが正しいと感じるであろう。

しかし、もしそれが正しくなければ、あなたはこのような感じを少しも受けず、思いが鈍くな……る。」(教義と聖約9:8-9, 強調付加)

3. 御父が答えを控えられるときに行動する

主は祈りに対し、答えを控えるという第3の方法で応えられることがあります。これを知っておくことは非常に重要です。主はなぜそのようにされるのでしょうか。

天の御父は完全な御方です。わたしたちには理解も及ばないほど深くわたしたちを愛しておられます。また、わたしたちにとって何が一番良いかを御存じであり、初めから終わりまで全てを見通しておられます。そしてわたしたちに、必要な経験を積むため行動することを望んでおられます。

主がはいと答えられるのは、わたしたちに自信を与えるためです。

主がいいえと答えられるのは、わたしたちが間違いを犯すのを防ぐためです。

主が答えを差し控えられるのは、わたしたちが主を信じる信仰を持ち、主の戒めを守り、自ら進んで真理に基づいた行動を取ることにより成長するためです。前もって確信がなくとも、主の教えと一致した決断に基づいて行動することにより、自ら

の責任を引き受けなければならないのです。主が何も語られないからといって、ただ何もせず待っていたり、不平を言ったりしてはなりません。行動しなくてはならないのです。

たいていの場合、わたしたちは正しい選択をします。すると、主はわたしたちの選択が正しいことを、主の方法で確認してくださいます。普通、正しい選択をすると、それを実行する過程で少しずつ助けが与えられるのです。わたしたちが霊的に敏感であればそれに気づきます。それは、主が承認して下さっていることを示すしるしとして、愛に満ちた天の御父から送られる短い手紙のようなものと言ってよいでしょう。時には、自分では正しいと思って始めたことでも、実際には間違っていることがあります。そのような場合には、手遅れになる前に、御父はそれを知らせてくださるのです。何となく落ち着かない不安な気持ちになることがそのしるしです。

原則がどのようにして実際に働くかについては、真鍮しんちゆうの版を手に入れようとしたニーファイの努力からよく分かります(1ニーファイ3:6-7参照)。試みが2度失敗した後も、ニーファイは自信を失いませんでした。すべての答えを得ていなくても、都に忍び込み、ラバンの家へと向かったのです。ニーファイはこのように述べています。「わたしは、前もって



自分のなすべきことを知らないまま、御霊に導かれて行った。」そして、重要なことに、次のように言い添えています。「**にもかかわらず、そのようにして進ん〔だ〕。**」(1ニーファイ4:6-7, 強調付加)

ニーファイは最善を尽くして何度も努力しました。必ず助けが与えられるに違いないという信仰を表し、決して失望することはありませんでした。主を信頼し、従順を示し、選択の自由を正しく使ったので、導きを受けました。靈感によって一歩一歩成功へと導かれ、ニーファイの母の言葉どおり、「主が命じられたことを成し遂げるための力を……与えられました(1ニーファイ5:8, 強調付加)。

ニーファイは、神を信頼し、信仰を働かせ、一歩一歩その時々に必要な助けを受けられるように、行動すべきであることを知っていました。不平を漏らしたり、完全な説明を求めたりしませんでした。しかし、特に注目すべきことは、何もせずにただ助けを待つのではなく、積極的に行動した点です。そして、霊に関わる律法に従うことにより、御霊の導きを受け、行動する力を与えられたのです。

神の御心と方法を信頼する

わたしたちはときどき、自分の望みを認めてほしいと願うあまり、祈りの答えが与えられていても気づかないことがあります。主がわたしたちに他のことをするように望んでおられることが分からないのです。主の御心を求めるように注意してください。

義と、天の御父に対する信頼のないところで、正しい決定をすることはできないと思います。神の御心に故意に反するように選択の自由を使う場合には、原則が作用することはないのです。もし罪を悔い改めないと、わたしたちは一人でもがき苦しむことになります。悔い改めて初めて、わたしたちは救い出され**得る**のです。

決断を下す際に御霊の導きを求めると、主は優しくわたしたちを促してくださいます。そこでわたしたちは考え、信仰を働かせ、努力し、時には悩み、そして行動する必要があるのです。非常に重要な事柄や複雑な問題に対しては、答えが全部一度に与えられることはめったにありません。むしろ、少しずつ道が開かれ、結末は見えません。

最後に、祈りについて最も大切なことをお話しましょう。それは感謝です。愛する天の御父に対して真心から感謝を示す努力をするならば、わたしたちの心には平安、自信、愛というすばらしい気持ちがあふれてきます。置かれた状況がどんなに困難なものであっても、誠実な心には感謝が満ち

あふれます。

最も貧しい人が主に感謝する術を最もよく知っているというのはなぜでしょうか。グアテマラ高原では、教会員は食べる物にも不自由しています。神殿を訪問するためには、多大な犠牲を払わなくてはなりません。1度の訪問のために1年間の準備が必要です。必要なお金や食糧をため、新しい衣服を作るために糸を紡ぎ、染め、布を織るなど、人々は苦勞して働き犠牲をささげるのです。山の中から裸足で長い道のりを歩き、イザベル湖を渡り、バスに乗ります。ほとんど食べ物もなく、神殿に着くころにはすっかり疲れ切っています。それでも人々は体中をきれいに洗い、新しい服を着て主の宮に参入するのです。

~~~~~

**わたしたちはときどき、自分の望みを認めてほしいと願うあまり、祈りの答えが与えられていても気づかないことがあります。**

~~~~~

白い神殿衣に着替えた人々は、御霊によって教えを授けられ、儀式を受け、聖約を交わします。グアテマラ高原から来たある女性は、御霊の力とエンダウメントの意味に強く感動しました。日の栄えの部屋に入ると、他の人たちが頭をうやうやしく下げて座っていました。彼女は無心に他の人の目も気にせずに、入り口の所にひざまずきました。そして、頭を垂れ、すすり泣き、20分間天の御父に心を注ぎ出したのです。衣服が涙でぬれてしまったのによりやく気づいて頭をあげた女性に、思いやり深い神殿会長夫人が声を掛けました。「何かお手伝いしましょうか。」彼女は答えました。「ええ、お願いします。わたしは今、天の御父から頂いた全ての祝福に対して、感謝の言葉を述べようとしたのですが、わたしの気持ちを十分に伝えられませんでした。わたしがどんなに深く感謝しているかを天の御父に伝えていただけないでしょうか。」

祈りについてこれまで話してきたことは真実です。わたし自身の人生で十分に試してきました。一見、主との交わりをじゃまする壁も、信頼を育む大きな一歩となります。

主の助けを求めるときは、清い生活をし、価値ある動機を持ち、そして主が求められることは何でもする覚悟を持ってください。主は祈りに**必ず**応えてくださいます。神は愛に満ちた御父であられ、皆さんは御父の愛する子供です。御父は皆さんを心から愛し、助けたいと望んでおられるのです。■



胸の内に
燃えるものを
感じないとき、
どうすれば
よいのでしょうか？

あなたは何を求めるべきか知っていれば、もっと容易に聖霊に気づくことができます。

レイチェル・ニールセン

「ウッド先生*をセミナーに招待しよう。」発表を聞いた途端に、この思いがふっとわたしの心に入って来ました。わたしはすぐに、自分はどうかしていると思いました。朝の5時半にセミナーに来るように、どうして音楽の先生を招くことができるのでしょうか。

セミナーのクラス会長がわたしたちのクラスで、教師に感謝する日を持ちたいと言ったときのことです。わたしたちは、早朝セミナーと一緒に出席してくれるように学校の教師を何人か

招待して、彼らの働きに感謝するよう勧められました。この発表を聞いてからの1週間、わたしはウッド先生を招待することについて考え続けました。セミナーに行く度に、あるいは音楽室で会う度に、「ウッド先生をセミナーに招待しよう」という思いがよみがえりました。こうして数日たった後、わたしはもはやその思いを無視することができなくなりました。

ある朝、音楽の授業で生徒たちが皆それぞれの楽器を取り出して準備しているとき、わたしは自分のトロン

ボーンを脇に置いて、ウッド先生のところへ行きました。胸がどきどきして、手が震えていました。それでも、招待したいと思い切って告げると、穏やかな気持ちになりました。

驚いたことに、ウッド先生は「行ってみます」と言ってくれました。先生は、どうしてわたしが毎朝学校へ来る前にセミナーに行っているのか興味があり、もっと知りたいと思ったのです。わたしは先生に全てを詳しく話した後、喜びいっぱい席に戻りました。

この経験では胸の内に燃えるもの

*名前は変えています。

を感じませんでした(教義と聖約9:8参照)。しかし、聖霊を確かに感じました。ウッド先生を招待しようと繰り返し思ったこと(教義と聖約128:1参照)、先生を招待したときに感じた穏やかな気持ち(ヨハネ14:26参照)、招待した後に感じた喜び(ガラテヤ5:22参照)、これらはすべて御霊から来たものでした。しかし、わたしが胸の内に燃えるものだけを求めていたとしたら、聖霊の促しを受けていながらそれに気づかなかったかも知れません。

聖霊は様々な方法で語りかけられます。聖霊が御心を伝えてくださる方法をあなたがよく学んでいけば、聖霊がともにいてくださるときや、聖霊が教え、あるいは導いてくださるとき、それに気づくように努めると、何を求めるべきかが分かるでしょう。

小さな、簡単なことを求める

聖霊がわたしたちに語りかけられる様々な方法について考える前に、わたしたちは、ほとんどの場合、啓示は静かな、小さなものであることを心に留めておく必要があります。天使に会い、大地が揺れるのを感じた息子アルマのような経験をわたしたちが求めているのだとしたら、聖霊から受けているもっと頻繁で静かな促しを見逃してしまうかもしれません。十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老は、わたしたちは「奇跡的で劇的な現れを強調するあまり」、もっと普通にある「小さな霊的印象が徐々に大きくな[る]」の見過ごす可能性がある」と警告しています。¹ 聖霊を認識しようとするなら、小さな、簡単な促しを求めてください。

聖霊が御心を伝えてくださる方法を求める

胸の内に燃えるものを感じなくても、心配しないでください。この方法で聖霊の影響に気づく人は大勢いますが、聖霊は他にも多くの方法で語りかけられるのです。聖霊の臨在を感じるのに、胸の内に燃えるものを感じる必要はありません。事実、あなたは聖霊が靈感を与えてくださる方法について学び、人生でその方法を求めるとき、あなたが気づく以上に聖霊があなたに語りかけてくださっているのを知ることができます。

以下に挙げるのは、聖霊が御心を伝えてくださる様々な方法のほんの数例にすぎません。聖典と現代の預言者たちの言葉、ならびに『わたしの福音を宣べ伝えなさい——伝道活動のガイド』96-97ページを研究して、聖霊が語り掛けてくださるさらに多くの方法を見つけてください。

「啓示の霊は概して聖霊の力によって人の頭と心に与えられる考えや感情として〔働きます〕(教義と聖約8:1

-2;100:5-8参照)。² 聖霊は次の方法であなたに語りかけられます。

- 愛、喜び、平安、忍耐、善意、信仰、柔和の感情(ガラテヤ5:22-23参照)。
- 心を占め、あなたの気持ちに重くのしかかっている考え(教義と聖約128:1参照)。
- 善を行い、戒めに従いたいという望み(モーサヤ5:2参照)。
- ある事柄が正しいという気持ち(教義と聖約9:8参照)。
- 慰めの感情(ヨハネ14:26参照)。
- 「心を広げ[る]」感情(アルマ32:28)。
- 「理解力に光を注[ぐ]」考え(アルマ32:28)。
- さらに多くの真理を求める飢え(アルマ32:28参照)。
- ある行動を取るよう促される感情、あるいはある事柄を行わないように引き止められる感情(1ニーファイ7:15;2ニーファイ32:7参照)。



胸の内に燃えるとは何でしょうか？

「『胸の内に燃える』とはどういう意味でしょうか。栄養物の燃焼によって生じる熱のように、カロリーの熱のようなものを感じるということでしょうか。もしそういう意味だとしたら、わたしは胸の内に燃えるものを感じたことはありません。この聖句の『燃やす』という言葉が平安や平静といった気持ちを表していることは明らかです。その証を多くの方が得ています。それが啓示を受ける方法なのです。」

十二使徒定員会 ダリン・H・オークス長老
「御霊によって教え、学ぶ」『リアホナ』1999年5月号、22参照

ある考えが自分から出たものか、 それとも聖霊から与えられたものか、 どうすれば分かるでしょうか？

「わたしたちは行動しなければなりません。そのときに、それが自分から出ているものか、それとも神の力であるかが分かります。……善を行うように、また善であるようにわたしたちに勧め、促すものは全て、神から出ています。」

十二使徒定員会 デビッド・A・ベドナー長老
"Patterns of Light: Discerning Light" (ビデオ), LDS.org。
ビデオ (英語) の全体については、lds.org/go/patternL6 を視聴してください。



これらの考えと感情が与えられる方法

聖霊からの考えと感情は次のように与えられます。

- 「即座に強く」
- 「わずかに少しずつ」
- 「意識的に認識できないほど繊細に」³

これについてさらに詳しく知るためには、lds.org/go/revelationL6 でビデオ (英語) を視聴してください。

聖霊からの考えと感情は次のことのために与えられます。

- 物事を思い起こさせる (ヨハネ 14 : 26 参照)。
- 欺きからわたしたちを守る (教義と聖約 45 : 57 参照)。

- 天の御父とイエス・キリストについて証^{あかし}する (2 ニーファイ 31 : 18 参照)。
- わたしたちが教えるのを助ける (教義と聖約 84 : 85 参照)。
- 御霊の賜物^{たまもの}を与える (教義と聖約 46 : 11 参照)。
- 罪の赦^{ゆる}しをもたらす (2 ニーファイ 31 : 17 参照)。

善を求める

御霊を認識しようと努めているとき、「その考えや感情は善を行うように導くだろうか」という、その印象のもたらす本来の結果について考えてみてください。モロナイ 7 : 16 では、次のように述べられています。「さて、その判断の方法をあなたがたに教えよう。善を行う

ように誘い、またキリストを信じるように勧めるものはすべて、キリストの力と賜物によって送り出されているのである。したがってあなたがたは、それが神から出ていることを完全に理解してわきまえることができる。」

ゴードン・B・ヒンクレー大管長 (1910 - 2008 年) はこう言っています。「どのようにして御霊の促しを認識できるでしょうか。わたしは実際、それは大して難しいとは思いません。……それは善を行い、立ち上がり、背筋を伸ばし、正しいことを行い、親切であり、寛容であるよう人に勧めているでしょうか。そうであれば、それは神の御霊から与えられたものです。もしもそれが暗く、邪悪で、不快で、善いものでなければ、それは悪魔から出ている

と分かるでしょう。」⁴

自分が御霊を感じているのか知りたければ、その考えあるいは感情は善を行うようにあなたに勧めているかどうか自分自身に問いかけてみてください。勧めているようであれば、それは神から出ているということが確かに分かります。

選択の自由を使う機会を求める

あなたがふさわしい生活をしており、それでもなお聖霊を認識するのが難しくければ、とにかく行動を起こしてください。天の御父はあなたに選択の自由を授けてくださっており、時には、御父の導きなしに行動することを求められます。信仰を働かせて闇の中に一歩踏み出すことを求められます。十二使徒定員会のボイド・K・パッカー会長は次のように述べています。「霊にかか

わる知識を求めていると、いつか、……『信仰の飛躍的成長』を経験するときが来ます。そのとき人は、光と闇の境目にやって来て、闇の中に足を踏み入れてみると、一、二歩先が照らされるといふ経験をするのです。」⁵ あなたが聖霊の促しを認識しなくても、既に得ている知識に基づいて誠実に行動するならば、天の御父は必ずあなたが道を外れないようにしてくださるでしょう。■

筆者はアメリカ合衆国ユタ州在住です。

注

1. デビッド・A・ベドナー「啓示の霊」『リアホナ』2011年5月号, 88
2. デビッド・A・ベドナー「啓示の霊」87-88 参照
3. デビッド・A・ベドナー「啓示の霊」90
4. *Teachings of Gordon B. Hinckley* (1997年), 260-261
5. ボイド・K・パッカー「霊的な知識の探求」『リアホナ』2007年1月号, 18



聖霊に気づくのが難しいのはどうしてでしょうか？

「御父は、皆さんが御父とその聖なる御子イエス・キリストを信じる信仰を行使することによって神聖な助けを得る方法を学ぶよう望んでおられます。単に願うだけで靈感を受けられるとしたら、皆さんは弱くなり、御二方にますます依存してしまうでしょう。御霊に導かれる方法を学ぼうと努力することにより、必要な個人の成長を遂げられることを、御二方は御存じなのです。」

十二使徒定員会 リチャード・G・スコット長老
「霊的な導きを得るために」
『リアホナ』2009年11月号, 6-7 参照

御霊はどのように感じるものなのでしょうか？

「御霊を完全に説明する言葉は、わたしたちには与えられていません。」(ボイド・K・パッカー「主のともしび」『聖徒の道』1988年12月号, 35) 御霊はどのように感じるものか説明するのが難しいため、人は皆、少しずつ違った方法で説明します。しかし、そのように違いがあるにもかかわらず、聖霊が語りかけられる方法について他の人々が説明するときに、わたしたちは多くのことを学べます。聖霊をどのように感じるかについて述べている人々の話を [lds.org/go/powerL6](https://www.lds.org/go/powerL6) (英語) で視聴してください。

小さな促しに従う

聖霊のささやきはどれも、
耳を傾ける価値があります。

夜間に竜巻によって巨大な木の幹があなたのベッドの上に倒れかかってくるとしたら、あなたは恐らく事前にそのことを知りたいと思うでしょう。

後に教会の第4代大管長になったウィルフォード・ウッドラフ(1807-1898年)が戸外で妻や子供と一緒に馬車の中で寝ていたとき、御霊が彼に「起きて馬車を移動させなさい」とささやきました。¹彼は奇妙な考えとしてそれを無視することもできましたが、無視することなくそのささやきに従いました。30分後、旋風によって折れた巨大な木が空中に投げ出され、馬車のあったまさにその場所に落ちたのです。

実際に促しに従った結果としてそのような奇跡が数多く起こっています。

しかし、友達に電話をかけて「元気ですか」とだけ言うように勧める促しについては、どうでしょうか。あるいは、次のハイキングのためにリュックサックの中に靴下を余分に1足入れておくようにという促しについては、どうでしょうか。このような促しに従っても、劇的な結果を体験することはないかもしれません。それでも従うことが大切なのです。

あなたから電話を受ける友達は、つらい日を過ごしているかも知れません。1本の電話がその人を元気づけるということもあります。ハイキングで予期せず足がぬれたとき、余分の1足の靴下が、快適なハイキングと、靴擦れの痛みに悩まされるハイキングの分かれ目になる可能性があります。

トーマス・S・モンソン大管長は次のように教えています。「わたしたちは心を澄ませて待ちます。あの静かな細い声に耳を傾けます。その声が語りかけるとき、賢い人は従います。わたしたちは御霊の促しに従うのを先送りしません。」²

時には御霊の促しが緊急の促しであることもあります。しかし、多くの場合は穏やかな促しです。天の御父はわたしたちに、「ここにも少し、そこにも少しと、教えに教え、訓戒に訓戒を」与えると約束してくださっています(2ニーファイ28:30)。

十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老は、次のように教えています。「ほとんどの場合、啓示は時間をかけて少しずつもたらされ、わたしたちの望み、ふさわしさ、準備の度合いに応じて与えられます。」³

恐らくわたしたちは誰も、竜巻によって倒れかかってくる木の幹を避ける必要のある状況には出遭わないでしょう。しかし、御霊に注意を払うときに行える小さな、簡単な善い行いが常にあることは確かです。■

注

- 1.『歴代大管長の教え——ウィルフォード・ウッドラフ』(2011年)、47
- 2.トーマス・S・モンソン「霊は人を生かす」『聖徒の道』1985年7月号、69参照
- 3.デビッド・A・ベドナー「啓示の霊」『リアホナ』2011年5月号、88

わたしの弟に授けられた祝福

ジェシー・ジョーンズ

ある不運な出来事に遭遇したとき、わたしは神権の力と祝福について学びました。数年前に、当時14歳だった弟がバイク事故を起こし、片脚の骨を真っ二つに折ってしまったのです。父はわたしに電話をかけてきて、弟が病院に運ばれたことを告げました。わたしは病院に急いでいたとき、吐き気を感じました。病院に着くと、わたしはおじの一人に会いました。そしておじから、その事故がどれほどひどいものであったかを告げられました。

どんな状態を目にすることになるのか心配しながら、わたしは、弟がいる部屋のドアを開けて中に入りました。一歩進んで、目を閉じると、すぐに心が平安になりました。わたしはあるとき感じた吐き気を決して忘れないでしょう。同様に、自分に与えられたあの平安と慰めの気持ちも決して忘れないでしょう。わたしはその気持ちが御霊であることに気づきました。

そのとき、父が語る言葉が聞こえてきました。父とおじが弟に神権の祝福を授けていたのです。父はへりくだって、息子が元気になり、癒され、その脚が再び良く機能するようにと、イエス・キリストの御名によって祝福しました。

その祝福の後、しばらく沈黙が続きました。そのときに、わたしは、メルキゼデク神権を受けて、自分の将来の子供たちに祝福を授けることが

できるように、ふさわしい生活をしなければならないことを実感しました。

わたしたちが弟の部屋の外の廊下に集まったとき、両親はこれからどうすべきかについて話し合いを始めました。メキシコから合衆国の医者のところへ彼を連れて行くか、それとも地元で手術をしてもらうか、それぞれ自分の意見を言いました。どの選択肢が弟にとって最善であると両親が感じようと、彼は受けることのできた最善の配慮をすでに受けていることを、わたしは知っていました。彼は、神権を持つ二人の人から既に祝福を受けているので、両親がどう決めようと、弟は快方に向かうはずでした。

両親はメキシコにとどまって手術の手配をすることに決めました。医師たちは弟の脚に10本のねじでプレートを取り付けました。その結果、彼の脚は良くなり、数か月後に、弟はフットボールチームに加入しました。こうして、父が述べたように、祝福が成就したのです。

神権とは人に与えられた神の力と権能であることを、わたしは知っています。神は何とすばらしい賜物を与えてくださったことでしょう。■

筆者はメキシコ、チワワ在住です。



「わたしたちは神権を受けるとき、神の御名によって行動し、真理と義の道に導く権能を受けます。この権能は、地上にいる神の子供たちにとって義の力と影響力の極めて重要な源であり、幕のかなたまで続くのです。」

十二使徒定員会 L・トム・ペリー長老
「信仰箇条に含まれている教義と原則」
『リアホナ』2013年11月号、47



「^{せいさん}聖餐の間、どのようなことを考えるべきですか。」

わ たしたちは、いつでも、どのようなことについても、どのような所においても、イエス・キリストの証人になりますが（モーサヤ 18：9 参照）、時には、わたしたちの注意を引こうと周りからこの世の影響が働くことがあります。聖餐は、注意をそらされることなく救い主に思いをはせる機会をわたしたちに与えてくれます。

聖餐の間は、聖餐の儀式の意味とすばらしさについて考えることができます。救い主の体と血のしるしを頂くことで、主の永遠の^{あがな}贖いの犠牲について思い巡らすことができます。聖餐を受けるとき、あなたはバプテスマの聖約を新たにします。そうすることによって、いつも主を覚え、主の戒めを守ると決意を新たにします。

霊的に備えることによって、聖餐式の間により良い体験をすることができます。週の間に、救い主の犠牲と、自分が主の弟子であることに集中することができるよう、役に立つ総大会の説教や聖句を研究するようにしてください。聖餐の賛美歌や祈りの間は、歌詞と祈りの言葉に集中し、その意味について深く考えてください。

聖餐が配られている間は、自分の生活の中でもっとイエス・キリストのようになるために改善しようと努力している事柄について考えます。ふさわしい状態で聖餐を受ければ、バプテスマを受けた日に感じたように、汚れなく清くなったと感ずることができます。

^{しよがい}贖罪に思いを向ける

聖餐の間、わたしの思いはイエス・キリストと主の贖罪に向けられます。聖餐の間にイエス・キリストの贖罪について考えるとき感じる気持ちを言葉にするのは難しいです。わたしはイエス・キリストがわたしたちの贖い主として選ばれたことを知っています。主が生きておられることを知っています。

ニーファイ・B, 20 歳 (コンゴ共和国, ブラザビル)

イエス・キリストのことを考える



わたしは聖餐の間、わたしたちが過ちを悔い改めることができるようにするために救い主が体験されたことを、考える

ようにしています。また、わたしに下さった多くの祝福と、これまでに行われ、またこれからも行われるすばらしい奇跡について考えます。聖餐にあずかれることは、すばらしい祝福です。それにより、罪を悔い改め、より良く生きる決意をすることができるからです。

アンディー・B, 13 歳
(アメリカ合衆国, ユタ州)

聖餐の賛美歌の歌詞について

深く考える



聖餐の間に考えるべきことは、聖餐の賛美歌が教えてくれます。例えば、わたしの大好きな聖餐の賛美歌「われら祈りまつる」にはこうあります（『賛美歌』97 番）。「カルバリの十字架に血流して死にし救い主思わせたまえ」この神聖な儀式の間に聖餐の賛美歌の歌詞を思い起こすことによって、わたしは平安を感じ、イエス・キリストの贖罪に対する感謝が増します。

オースティン・B, 15 歳 (カナダ, アルバータ州)

思い起こし、認める

聖餐の目的は、天の御父との聖約を新たにし、悔い改めた罪から清められることにあります。聖餐の間、キリストがわたしたちのために払われた犠牲を思い起こし、生活の中でそれをどのように生かしているかについて

深く考えます。わたしは、それまでの1週間にしたことを考え、天の御父との聖約をどれくらい守ることができたかを考えるようにしています。自分の犯した罪を認め、贖罪によってどのようにそれを克服できるかに集中します。そうするとき、聖餐は自分を高め、霊的に強める経験になります。

アバゲイル・P, 14歳
(アメリカ合衆国, アリゾナ州)

祝福に感謝する



聖餐の間、救い主がわたしたちのために払ってくださった犠牲がどれほど偉大なものであったかについて考え、心を感謝で満たすべきです。聖餐を受けるとき、わたしは自分が受けた祝福に対して天の御父と愛子イエス・キリストに感謝するのが好きです。

エレン・S, 16歳 (ブラジル, パライバ)

思いを集中させる



わたしは聖典の中に小さなカードを挟んでいて、毎週日曜日の聖餐の間にそれを取り出します。アルマがバプテスマの聖約を明記したモーサヤ書第18章のところが開けるように、しおり代わりにしています。カードには、聖餐の目的と神聖さを思い起こせるように、「贖罪に感謝する」などのメモが書かれています。そのようなメモを読むと、聖餐の目的と聖きよさに集中する助けになります。

アリジャ・M, 19歳
(アメリカ合衆国, テキサス州)

最後の晚餐を思い起こす



わたしたちは、イエス・キリストの贖いの犠牲と、主の体と血のしるしをふさわしく頂くことの大切さについて考えるべきです。また、主が十二使徒とともにパンとぶどう酒を祝福されたときのことについて考えることもできます。

ホナス・A, 18歳 (メキシコ, モレロス)

自分の聖約を思い起こす

小さい頃、聖餐の間はどうしたら静かにしていただけるかということしか考えていませんでした。今はもう神権者ですから、聖餐を意義深く、霊的に成長できるよう役立つものにするためには、聖餐の間に深く思い起こす必要があると理解しています。わたしは救い主の贖罪と、わたしたちのために示してくださった愛について考えます。また、聖餐にあずかることによって自分の信仰と、バプテスマの聖約を守りたいという気持ちが強まることについても考えます。

リーバイ・F, 19歳 (ナイジェリア, アビア)



この世のことをわきに置く

「子供の頃、聖餐が配られている間、美しい音楽が演奏されていたのを覚えています。間もなく幹部の兄弟たちから、演奏をやめるようにとの指示がありました。主と救い主の贖いの犠牲よりも音楽の方に気が向いてしまうからです。聖餐が執行されている間は、この世のことは脇に置きます。それは霊的再生の時間であり、一人一人が自ら受けるその儀式の霊的な深い意味を考えながら過ごす時間です。形式的に聖餐を取るだけだと、霊を成長させる機会を失ってしまうことでしょう。」

十二使徒定員会 L・トム・ベリー長老
「聖餐にあずかるとき」
「リアホナ」2006年5月号, 41

次回の質問

「友人の一人が、何か悪いことが話題に上ったときにそれが理解できるよう、一度だけそのことを体験してみたいと言います。そうしない方がよいと分かってもらうにはどうしたらよいでしょうか。」

あなたの意見と、希望する場合は高画質の写真を、2014年7月15日必着で liahona.lds.org まで、電子メールで liahona@ldschurch.org、または郵送で(3ページの住所を参照) お送りください。

電子メールまたは手紙には、次の情報と同意文を必ず明記/同封してください。(1) 氏名、(2) 生年月日、(3) ワードまたは支部、(4) ステークまたは地方部、(5) 意見と写真の掲載を許可する、あなたの署名(18歳未満の場合は保護者の署名も必要です〔電子メール可〕)。

掲載される際、誌面の都合上、あるいは明瞭な表現にするために編集されることがあります。



七十人
アンソニー・D・
パーキンズ長老

じゅうぶん 什分の一は 内なる強さを与える

什分の一を正直に納めるよう、今決心をしてください。
そうすれば、主が約束を守ってくださることが分かります。

トーマス・S・モンソン大管長はこう教えています。「什分の一を正直に納めることにより、人の心の中に、その他の戒めも守ろうという強さと決意が生まれます。」¹ 幸いにも、わたしはまだ青少年だったときにこの原則について証^{あかし}を得ることができました。

14歳のとき、わたしは最初のアルバイトを始めました。建築現場の作業員として時給2ドルで雇われたのです。最初の週の給料は80ドルでした。わたしは8トラックのカセットテーププレーヤーを買いたいと思っていました。当時最先端の技術が詰まった音楽プレーヤーです。わたしが欲しかったのは、320ドルする、全機能搭載型の機種でした。わたしは胸を躍らせながら、4週間仕事をしたらそのステレオを買うつもりだと両親に打ち明けました。

4週以上

両親は賢明にもこう教えてくれました。「その音楽プレーヤーを買うだけのお金を稼ぐには、4週間以上

かかるよ。収入の10パーセントを什分の一として納めることで、たくさんの祝福を与えてくださった神様への感謝の気持ちを示すべきだよ。税金も10パーセント納める必要がある。それに、伝道など、将来のために経済的に備えるという預言者の勧告に若いときから従うべきだ。わたしたちは、収入の30パーセントを貯金するように勧められるよ。」



主は道を備えてくださる

「わたしたちは誰であっても、什分の一を納めることが可能です。実際、わたしたちの中には、什分の一を納めるだけの余裕がないという人は一人としていないのです。主がわたしたちの決意を強めてくださいます。また、この戒めを守るための道を備えてくださるのです。」

トーマス・S・モンソン大管長
「模範にならなさい」「リアホナ」1997年1月号、52

10代だったわたしは、すばやく暗算しました。両親の教えどおりにすれば、使えるお金は週に40ドルだけです。つまり、欲しかったステレオを買うには、少なくとも2か月間は働かなければならない計算になります。わたしは重要な決断を迫られました。物質的なものを手に入れることを優先するか、それとも什分の一を納めるために犠牲を払い、貯金をするか、です。

什分の一を優先する

『若人の強さのために』はこう教えています。「ほかの出費に充てる余分なお金がなくなってしまうと思ったときでも、什分の一を優先してください。それはあなたがより深い信仰を育み、利己心を克服し、御霊^{みたま}を受けやすくする助けになるでしょう。」²

わたしは14歳のときに、生涯正直に什分の一を納めようと決意しました。預言者の言葉に従い、伝道と将来の教育に備えるために貯金をしようと決心しました。この経験から、わたしは欲求と必要を区別することも



学びました。わたしは最新の技術を手に入れたかったのですが、それは必要ではありませんでした。そこで、それよりも機能の少ない、ずっと安い機種を買うことにしました。それは、わたしが伝道に出るときも、まだしっかりと役目を果たしていました。

約束は守られる

什分の一を納めることによって主が約束を守ってくださると知るにつれ、わたしの信仰は深まり、主が与えられたほかの戒めも守りたいという思いが強くなりました。断食献金を惜しみなくささげれば、主はわたしの祈りを聞き、常に導いてくださることを知りました（イザヤ 58：6－11 参照）。また、モルモン書を読めば、主はそれが真実であることを、聖霊の力によって明らかにしてくださることを知りました（モロナイ 10：4－5 参照）。知恵の言葉に従って生活すれば、健康、知恵、知識を授けられ、「走っても疲れることがな[い]」ことを知りました（教義と聖約 89：18－21）。そして、純潔の律法を守って

いれば、聖霊が常に伴侶となり、いつか主の前に恥じることなく立つことができるという自信を救い主が与えてくださることを知りました（教義と聖約 121：45－46 参照）。

什分の一を納め、献金をささげることによって、もう一つ、わたしの内なる強さを増してくれたことがあります。それは、神殿の聖約です。『若人の強さのために』はこう教えています。「神殿に入るためには、完全に什分の一を納めていなければなりません。」³ 聖なる神殿に参入するとき、わたしは神の存在と愛を感じます。神殿の儀式によって、わたしたちは「高い所から力」を授けられ、この世の試練に明るく対処し克服することができることを証します（教義と聖約 95：8）。

祝福は待つ

什分の一を納め、献金をささげることで、主が御自身の約束を守ってくださるというわたしの信仰は深まりました。主は預言者マラキを通して宣言されました。「十分の一全部を……携えてきなさい。これをもって

わたしを試み、わたしが天の窓を開いて、あふるる恵みを、あなたがたに注ぐか否かを見なさい。」（マラキ 3：10）

わたしの生涯を通じて、結婚したばかりで経済的に苦しいときにも、神はいつも天の窓を開いてくださり、家族はこの世の生活に必要なものを手にすることができました。什分の一の律法に従うことを通して皆さんの信仰が生まれ、人生におけるすばらしい力の源となることを証します。

一人一人の青少年、そして一人一人の会員にお勧めします。どうぞイエスキリストと主の預言者たちの声に耳を傾けて、生涯を通じて什分の一を完全に納め、惜しみなく断食献金をささげてください。主は皆さんを強め、皆さんの、神聖な目的に添った、義にかなった望みがかなうよう導いてくださることを約束します。■

注

1. トーマス・S・モンソン大管長「模範になりなさい」『リアホナ』1997年1月号、52
2. 『若人の強さのために』38
3. 『若人の強さのために』38

教会へ戻る道



福音の外に答えを
見つけようとしたが、
見つかったのはむなしさだけでした。

ダグ・ボヤック

わたしは末日聖徒イエス・キリスト教会の家庭で育ちましたが、大学生のときに自分にはもう教会は必要ないと思い決めました。それから、他の場所に「真理」を見つかけようと、浅はかで、利己的な探求を始めました。平安や喜びをもたらす答えが見つからず、わたしは深い霊の闇に陥りました。もう二度と幸福にはなれないと感じていたのです。

それでもまだ、教会に活発に集っていたころはもっと幸せだったということは分かっていました。そこで、形だけは再び活発になったかのように、教会の集会に集い始めました。自分の生活を支配していた憂うつから少しでも解放されたかったのです。しかし、いいかげんな努力では、大した結果は出ませんでした。学業に励んでもみましました。それでむなしさを紛らわせたかったからです。一時的な効果はありましたが、真の解決にはなりませんでした。

手探り状態が続き、行き詰まったと

気がついたわたしは、大学を休学して旅に出ることにしました。貯金は少しありましたが、そう長くはもたない額でした。出発前、わたしは偽りのない信仰を行使しようと決意しました。そのわずかな貯金から什分の一を納めることにしたのです。決して簡単な決断ではありませんでした。家から遠く離れた場所で、やがてお金は底をつくだろうと思っていたからです。それでも、わたしは神の存在を望んでいましたし、神の助けが必要なことを知っていました。

わたしは什分の一を納めるために小切手を切り、ビショップに送りました。それからモルモン書を荷物に入れて旅に出たのです。するとすぐに、御霊のぬくもりを感じました。理解と楽観が疑いと悲しみを取って代わったのを感じ、目を見張りました。アイダホからワシントン D.C. まで旅する間、多くの教会員がわたしに手を差し伸べてくれ、もっと大切なことに、信仰と義にかなった願望を築くこと

ができるよう、わたしを助けてくれました。どこへ行っても、ふるさといかに感じました。

間もなく、わたしは旅の予定を切り上げることにしました。お金がなくなったからではありません。もっとずっと良い旅がわたしを待っていたからです。家に戻るとわたしは、ビショップとステーク会長の面接を受けました。彼らの助けを受け、わたしは程なく宣教師として主に奉仕する機会を得ました。

今でも、什分の一を納めたり、教会指導者と面接したりする度に、わたしの真の改心の「始まり」を思い出します。それ以来、良いことも悪いこともいろいろ経験しましたが、霊的に強くあり続けるよう努力してきました。天の御父がわたしのささげた小さな信仰を受け入れ、その愛の御腕を差し伸べてくださったことに対して、いつまでも感謝の気持ちを忘れることはありません。■

筆者はアメリカ合衆国カリフォルニア州在住です。

打ち砕けないもの

「わたしたちには
じっかい
十戒を打ち砕くことはできません。
自分自身を打ち砕くことになるだけです。」

(セシル・B・デミル
アメリカ合衆国の映画監督およびプロデューサー、
"Commencement Address"
[プリガム・ヤング大学, 1957年5月31日], 5)



か あ

お母さんが

う しゅく ふ く

受けた祝福

スーザン・バレット

ほんとうにあったお話をもとに書かれました。

「神の神権、神の真理、
ふたたびこの世に、回復さる」
（『子どもの歌集』60）

初等協会が終わって、10才のルーベンは宣教師をさがしていました。ルーベンの家に一緒に歩いて帰ることになっていたのです。サンチェス長老とロジャス長老は、ルーベンとお兄さんのディエゴに福音を教えてくれ、バプテスマとかくにんの儀式をほどこしてくれました。ルーベンは、二人の長老たちのことを親友だと思っていました。

しまっている教室のまどからルーベンがのぞいてみると、長老たちが見えました。でも、何をしているのでしょうか。長老たちは、ワードの会員である男の人の頭に、手をのせています。ルーベンにかくにんの儀式をほどこしてくれたときのように、いのっているように見えました。

長老たちが部屋から出て来たとき、ルーベンは「何をしていたの?」と聞いてみました。

「メンドーサ兄弟に神権の祝福をほどこしていたんだよ」とサンチェス長老が言いました。「それは特別ないりりで、なぐさめをあたえたり、問題を解決する方法が分かるように助けたりできるし、病気の人をいやすことだってできるんだよ。」



つぎ にちようび
次の日曜日、ルーベンはまた教会の
あと せんきょうし
後で宣教師をさがしました。そして、
「うちに来て、お母さんに祝福して
もらえる？ 背中がすごくいたいん
だって」と言いました。

3人は急いでルーベンの家に行き
ました。サンチェス長老とロジャス
長老がルーベンのお母さんと話しま
した。お母さんは教会員でしたが、長
あいだきょうかい
い間 教会には行っていませんでした。

「具合が良くないそうですね、ガル
シアしまい」とロジャス長老が言いま
した。

「この何週間か、背中がひどくいた
いんです。いろんなお医者さんにも
行ったのだけれど、どうにもならなく
て」とお母さんは言いました。

「ルーベンから、家に来てお母さんに
神権の祝福をしてほしいとたのまれた
のですが、そうしてほしいですか」
とサンチェス長老が聞きました。

「ええ、ぜひお願いします」とお母
さんが言いました。

宣教師がお母さんの頭の上に手を
置いて祝福をさずけると、お母さんの
ほおになみだが流れました。祝福を
お 終えたとき、ルーベンはお母さんをだき
しめて「祝福を受けたから、きっと良
くなるよ」と言いました。

それから3日後、宣教師がルーベン
のお母さんの様子を見るために家を
訪問すると、お母さんは「長老たちに
会えてほんとうにうれしいわ。祝福
してもらってから、背中
のいたみがなくなり始めて、今はすっかりいたく
なくなっただよ」と言いました。

「天のお父様がいやしてくださった
のですよ」とサンチェス長老が言いま
した。「そして、天のお父様はわたし
たちに、しまいを祝福するために神権
を使って、天のお父様のわざを助け
させてくださったのです。」

次の日曜日、そしてその後も毎週、
お母さんはルーベンとディエゴと一緒
に教会に行きました。神権の力がほん
とうだと分かったからです。ルーベン
にもそれが分かりました。■

筆者はアメリカ合衆国ユタ州に住んでいます。

イラスト：アキラ



神権とは何でしょうか

神権は天のお父様の名前によって行動するけんのうです。

教会の少年は、12才になり、ふさわしければ、アロン神権を持つことができます。18才になり、ふさわしければ、メルキゼデク神権を持つことができます。

アロン神権には、執事、教師、祭司のしよくがあります。メルキゼデク神権には、長老、大祭司、祝福師、七十人、使徒のしよくがあります。



アロン神権者ができること

- せいさんのじゅんぴをし (教師と祭司)、祝福し (祭司)、配る (全員)
- ホームティーチャーになる (教師と祭司)
- パプテスマをほどこす (祭司)
- だんじき献金を集める (執事、教師、祭司)
- ほかの人をアロン神権にせいにする (祭司)

メルキゼデク神権者ができること

- アロン神権者が行うことをすべて行う。そのほかに――
- パプテスマを受けた人を、教会の会員にかくにんする
- 神権の祝福をあたえる
- 教会の集会をみちびき、めしをあたえる

とく べつ な しょう じん
特 別 な 証 人



じゅうに し とていじんかい
十二使徒定員会

ニール・L・
アンダーセン長老

じゅうに し とていじんかい かいはいは、
イエス・キリストの
とくべつ しょうじん
特別な証人です。

わたしは、どうしたら
いま
今から

せんきょう し
宣教師のように
なれるでしょうか？

ふくいん わ かち あ ほうほう
福音を分かち合う方法が
わかるようにいのりましょう。

だれを きょうかい しょうたい
だれを教会に招待できるか
わかるようにいのりましょう。

たとえ、うわぎ
たとえ、上着に
せんきょうし なふだ つ
宣教師の名札を付けた
せんじん せんきょうし
せんじん宣教師でなくても、
こころ なか せんきょうし
心の中では宣教師になれます。

せんじん せんきょうし
せんじん宣教師のために
いのりましょう。

ひかり
光をかがやかせて、
イエスのものはんをしめすひと
なりましょう。

「これは奇跡です」
「リアホナ」2013年5月号、77-80から。





七十人
スコット・D・
ホワイトニング長老

けいけんな 子羊



「わたしは平安を
あなたがたに残して行く。
わたしの平安を
あなたがたにあたえる。」
(ヨハネ 14:27)

わたしが7才のころ、初等
協会の子どもたちももっと
けいけんになれるように助けたいと
おもった初等協会の会長が、子羊の形
をした大きなけいじ板を作ってくれま
した。そして、けいけんにできた子ど

絵／ミレイ・下ノノ



もがいます、けいじ板に書かれた
その子の名前のすぐ横に、子羊の形
のシールをはってくれるのです。その
子羊のシールがほしくてたまらなかつ
たわたしは、ある日、初等協会で、う
でを組んで静かにすわり、けいけん
でいることに気づいてもらえるように、
初等協会の会長をじっと見ていま
した。わたしの前にはせの高いい男の
子がすわっていたので、会長からよく
見えるように、いすの前の方に体を
ずらしてすわっていました。

けいけんな態度ですわっていると、
ばんそう者が、美しく静かな初等協会
の歌をひき始めました。それを聞き

ていると、心が平安な気持ちで満た
されて、なみだがほおを流れました。
なぜそれほど幸せで、平安な気持ち
を感じるのか、わかりませんでした。
初等協会の後、わたしは自分が感
じた気持ちをお母さんに話しました。
するとお母さんが、それはみたまだと
教えてくれました。その日、みたまが
どのようなものが分かりました。大
切な選りばいをしなければならぬとき
や、みたまのみちびきが必要なときは
いつでも、あの日感じた平安な気持ち
を思い出します。そして、みたまが
どのようにわたしに話しかけてくれる
かに気づくことができるのです。■



チャオ、アミーチ！*

エイミー・ジェーン・レビットによる
インタビューから

みなさんが すんでいる 町に
は あだ名が ありますか？
ロレダナが すんでいる 町は、
「えいえんの 町」と よばれること
が あります。ロレダナは、イタ
リアの ローマに すんでいます。
この うつくしい、れきしてきな
町には、コロッセウムや トレビ
の いずみなど、おもしろい め
いしょが たくさん あります。

学校の ある日は 毎朝、ロ
レダナは かぞくと いっしょに
せいぶんを よんでから、朝ごはん
を 食べます(だいたい、シリアル
と ぎゅうにゅうです)。それから、
学校に 行きます。ロレダナは、
とくに 図工と コンピューターの
じゅぎょうが すきです。家に
帰ると、弟の フランチェスコと
あそぶのが すきです。■

この お話を 書いた 人は
アメリカの ユタシゅうに すんでいます。

*イタリア語で
「こんにちは、友だちの みなさん！」
という いみです。

わたしは イタリアの ロレダナです



お母さんは、教会に入る前も、
まいばん ねる 前に、
わたしに モルモン書を 読んでくれました。
お母さんが、わたしたちに せんきょうしの
レッスンを うけさせようと きめて、
せんきょうしが モルモン書を
読んでくれたとき、前に 聞いたことがあると
分かりました。



クリスマスや、イースターのとき、
わたしは、友だちや、かぞくに、
手作りの、おくりものを
プレゼントするのが、すきです。
自分で、カードを、作ったり、
とくべつな、しゃしんを、入れる、
しゃしん立てを、作ったりします。



お母さんは、
アンジェリーナという
名前の、おばあさんの
せわを、しています。
わたしは、ときどき
土曜日に、アンジェリーナに
お話を、聞かせて、あげたり、
初等協会の、歌を
歌ってあげたりします。
わたしは、友だちの
アンジェリーナを、
手つだうのが、楽しいです。



わたしの、かぞくは、かいがんに、行ったり、
ローマの、れきしてきな、めいしよを、おとすれたり、
ただ、あそび場で、あそんだりすることも、すきです。

わたしは、よく、お父さんが、ゆうはんに
バスタ・アマトリチャーナという
りょうりを、作るのを、手つだいます。

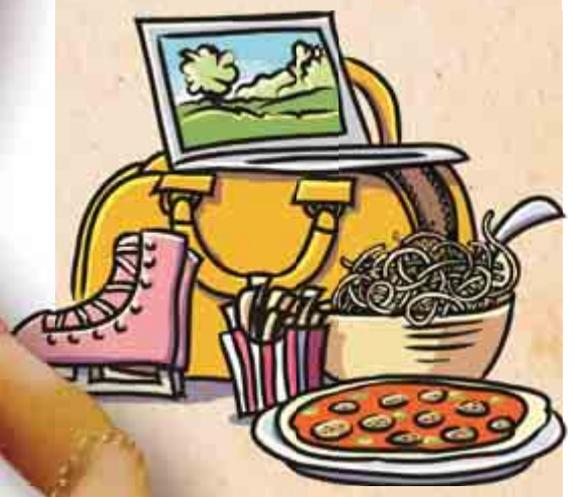


しんでんを、見るのが、大すきです

お母さんと、お父さんは、イタリア・ローマしんでんが、ほうけんされたら、そこで、むすびかためを、うけることに、しています。わたしも、その、日が、楽しみです。かぞく、みんなにとって、とても、とくべつな、日に、なるでしょう。

じゅんぴ、オーケー!

ロレダナの、バッグには、ロレダナの、大すきな、ものが、入っています。この、中で、あなたが、自分の、バッグに、入れたいものは、どれですか?



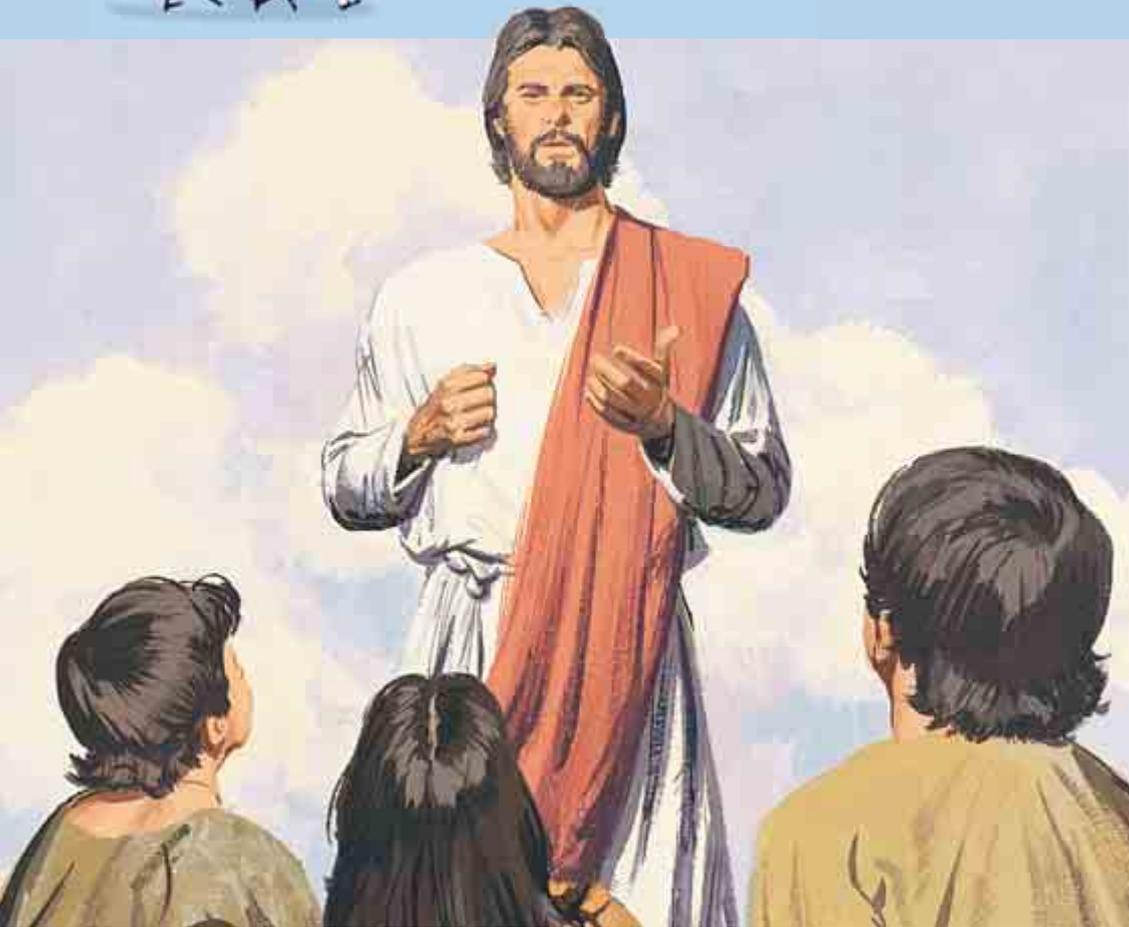
イタリアの マッシモ

マッシモは サッカーの ユニフォームを きています。でも、^{きょうかい}教会に ^いきて ^{行く} ふくや、イタリアの ^{みんな}みんな ^{ぞく}ぞく ^{いしょう}いしょうを ^{きせる}きせることも ^{できます}できます。この ページを ^{あつ}あつ紙に ^ははって、^{いろ}色を ^ぬぬって、それぞれの ^{かたち}かたち ^ああわせて ^きき切って ^{ください}ください。■





ひと 人を たすける



イエスが 教えられたこと

ある日 イエスは、だれかに たすけてほしいと 言われたとき、どうしたらよいかを 教えておられました。イエスは、たのまれたことより さらに もっと たすけたり あたえたり するべきだと 言われました。このことが「2マイルの せいしん」とよばれるのは なぜでしょうか。マタイ5:40-42に 書かれている イエスの ことばを 読んで 考えましょう。



きょう 今日 イエスに したがう



「ある 夜の こと、おにいちゃんとおねえちゃんと わたしは、家中の そうじを はじめました。そうしたら、お父さんが 入って 来て、ねる 時間だよと 言いました。朝に なって、おきたとき、お母さんが『家を そうじしてくれて、ありがとう』と 言ってくれました。」

エリザベス・C, 8才 (カナダ, アルバータしゅう)

わたしは 人を たすけるのが すきです。お母さんが ほうしかつどうに さんかするとき、わたしもお母さんと いっしょに 行って、手つだうのが すきです。

「助けの手」ルイス・N, 6才 (メキシコ, チワワ)



こんげつ 今月の チャレンジ

レッスンの 間、初等協会の 先生を たすける ほうほうを さがす。

弟や 妹の しゅくだいや 家の 手つだいを たすけてあげる。

言われなくても、へやを そうじして、お父さんや お母さんを びっくりさせる。

わたしの もくひょうは、

ウガンダで 音楽を作る

教会機関誌

デビッド・ディクソン

初等協会の卒業する前から、教会のめしを受けて奉仕する子どもは、あまりいません。でも、ウガンダのジョージ・Nは、支部の指揮者にめされたとき、まだ5才でした。

指揮者は、せいさん会の間みんなの

前に立って、歌をリードする人です。大切な仕事です。

「もっと小さいときは、とてもきんちょうしていました」とジョージは言います。でも、そのときでさえ、ジョージは全力をつくしました。毎週、上手になっていきました。やがて、自信をもって、指揮ができるようになりました。

ジョージはめしを受けて奉仕することを楽しんでます。

「良い気持ちがあります。部屋の中にみたまがあると感じます」とジョージは言います。

音楽は、ジョージの生活の中で大きな意味があります。ジョージはピアノや

みんなの前で、音楽の指揮をするですって？
ジョージならできます。

ギターもひきます。もちろん、ジョージの家族が音楽一家だということも、えいきょうしています。ジョージ、お父さん、お母さん、4人の姉、2人の妹、そして1人の弟の10人家族で、みんなが歌うのが好きです。ジョージのきょうだいは上から、ロジーラ、ミリアム、ナンシー、アシュレー、ジョージ、シェイン、オナイダ、ギデオンという名前です。家族で歌う、みんなが大好きな歌は、「子どものいのり」(『子供の歌集』6)です。

今、ジョージは12才になり、せいさんを配るときは、いそがしいです。そのため、5才の弟、ギデオンが時々、指揮をしてくれます。ジョージはギデオンに指揮のやり方を教えてあげました。

ジョージと弟のギデオンは、二人ともここにこしながら指揮をします。自分たちは、集会にみたまをまねく手伝いをしてしていると知っているのです。■



ジョージについて

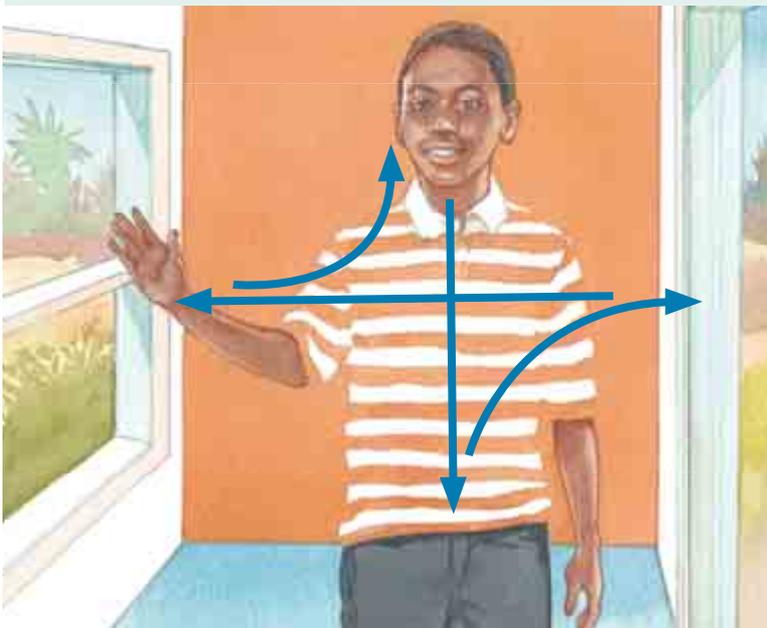
- 音楽のほかに、ジョージの趣味はサッカーをすることです。
- 好きな食べ物は、米、さつまいも、豆、ピーナッツです。
- 学校で好きな科目は、英語と算数です。
- ジョージは家族とボードゲームをするのが好きです。ジョージの好きなボードゲームは、スカッターゴリーというゲームです。



音楽の指揮の仕方

みなさんも、音楽の指揮ができるようになります。「『モルモン書』の物語」(『子供の歌集』62)の指揮は、次のようにします。

- 歌の最初に書かれている二つの数字を見ます。上の数字は、一つの小節(たての線で区切られたスペース)に、何ばく入るかをしめています。この曲では、一つの小節に4はく入ります。
- 手を上げて、ゆったりとかまえ、親指以外の4本の指を付けます。手を下におろします。手を左に動かします。今度は手を右に動かします。手を上に動かします。
- その動きを一小節ごとにくり返します。
- 練習を続けければ、家庭の夕べで歌を指揮できるようになるでしょう。



しんけんの ぎしきと しんでんの わざは、わたしの かぞくを しゅくふくします

ジェニファー・マディー

カールは お父さんに 会うのが うれしくて、船つき場を走って 行きました。カールの お父さんは りょうしで、カールは よく一日の おわりに、お父さんを むかえに 船に むかって 走って 行きました。

「お父さん、早く!」カールは お父さんを よびました。「お父さんのために 今日 かいだ 絵を、見せたいんだ!」

「すごいね!」と、お父さんが言いました。「でも、まずは 船を つながないと いけないんだ。」

カールは、お父さんが 太い つなで 船を 船つき場に ちゅういぶかく つなぐのを見ていました。「どうして、

そんなに きつく むすばないと いけないの?」お父さんが、つなを 引いて、大きな むすび目を 作るのを見ながら、聞きました。

お父さんは、かいがんに うちあげられて、船ぞこに あなの 開いている船を ゆびさしました。「あの 船は、ちゃんと つながれていなかったんだ。この間の あらして、つなが ゆるんで、あちこちの 岩に ぶつかってしまったんだよ。」

カールは 目を 丸くしました。

「わたしたちが あんぜんに 天のお父さまに しっかり つながってられるように 天のお父さまが どうやって たすけてくださるか、分かる

かい?」

「せいぶんかな?」カールは、考えて 答えました。

「そのとおりだね」と、お父さんが 言いました。「そして、バプテスマや せいさんのような しんけんの ぎしきも あたえて くださっているね。お母さんと わたしは、かぞくが えいえんにつながつて いられるように しんでんで けっこうしたんだよ。」

カールは、つなを つかむと、お父さんが さいごの むすび目を 作るのを 手伝いました。「いちばん 強い むすび目を 作るんだね。」■

このお話を 書いた人は アメリカの ユタシゅうに すんでいます。

うた 歌と せいく

- マタイ 18:18
- 「神殿に行きたいな」
(『子供の 歌集』86-87)

かぞくで 話し合うための アイデア

かぞくで、マタイ 18:18 を 読んで、何かを 「天で つなぐ」とは どういう いみかを、話し合います。長い ひもを つかって、ひとりずつ ひもに むすび目を つくりながら、しんけんの ぎしきによって どのように 自分の 生活が しゅくふくされてきたかを 話し合うと よいでしょう。





子どもの しゅくふく



子どもの しゅくふく



しんでんけっこん



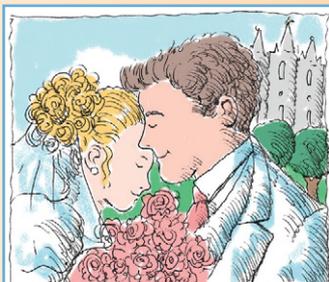
みず 水に しずめる バプテスマ

てん 天のお父さまに つながれる

この ページを 切りとって、色画用紙に のりで はります。カードを 切りとって、テーブルや ゆかに うらがえて おきます。じゅんばんに 2まいずつ カードを めくって、おなじ 絵を みつけます。おなじ 絵を みつけたら、カードに かかっている ぎしきによって、どのように てん 天のお父さまに つながって いられるかを 話してもらいます。



みず 水に しずめる バプテスマ



しんでんけっこん



びょうきの ひと 人を しゅくふくする



せいさん



かくにん



びょうきの ひと 人を しゅくふくする



せいさん



かくにん

わたしたちの ページ



メラリ・C, 11才 (エルサルバドル)



「せんきょうし」 マリア・クララ・A, 9才 (ブラジル)

パウロとカルロ・Dは、10才のふたごの兄弟で、フィリピンに住んでいます。二人は、大きくなって神権を受けて、せいさんを配るのが楽しみでなりません。二人は、福音について人に教えるのが大好きで、今から伝道に行くじゅんぴをしています。カルロは自分が知っている人全員に、生ける預言者について話します。パウロは、モルモン書を学校に持って行って、クラスメートと一緒に読むのが好きです。二人は、毎日聖文を読むこと、日曜日に教会に行くことが大切だと知っています。カルロとパウロは、タガログ語とイロカノ語の両方をすらすらと話します。そして、学校では英語を勉強しています。二人は、友達とバスケットボールをするのが大好きです。



ある日、学校のだれもない部屋で、友達から悪い言葉をさげぶように言われました。わたしがいやだと言うと、友達はわたしをからかって、ばかにしました。そこで、わたしが「分かった」と言って、急いでその悪い言葉を小さな声で言いました。その後、わたしは自分がしたことをとても後悔しました。その夜、わたしは心からいって、悪い言葉言ったことをくい改めました。いつも天のお父様にたよって、何が正しいかを理解できると知っています。もし、友達からするように言われても、それが正しくないことなら、これからはいやだと言おうと思います。くい改めに感謝します。

パオラ・L, 10才 (メキシコ)

イエスのように

ぼくたちの学校では、年のはじめから、フェスティダンザという大きなぎょうじのために、ずっとじゅんぴしてきました。毎年そうですが、今年も土曜日にひらかれることになっていました。すると、ある日、せきにんしゃの人が、日曜日にかわつたとはびょうしました。ぼくは、お母さんに、日曜日は教会に行くこと、そしてぼくはあんそく日をよるこんでまもることをつたえました。



イサイアス・R, 6才 (ペルー)



わたしは、『リアホナ』の 子どもの ページが すきです。
 お話を 読むと、天の お父さまについて 学べるからです。
 わたしは いつも、お母さんに お話を 読んでくれるように
 おねがいします。わたしは、パズルや めいろや
 むり絵や お話を することが すきです。
 わたしは、初等協会で 新しいことを 学ぶのが すきです。
 天の お父さまが わたしを あいしてくださっていることを
 知っています。そして、お父さまは、あなたのことも、
 あいしておられます。わたしは いつも お父さまを
 おぼえて、正しいことを えらぶように しています。



ジョセリン・C, 4才 (ニカラグア)

これまでで いちばん すてきな けいけんは、
 バプテスマを うけたことです。バプテスマを うけ
 たら、自分が することに せきにんを とらなければ
 ならないと、お母さんから 教えてもらいました。
 バプテスマの 日が 来て、お父さんと ぼくは 白い
 ぶくを きました。ぼくは きんちょうしていましたが、
 お父さんの 手をとって、フォントに入ると、
 何も しんぱいすることは ないと 分かりました。
 お父さんが、バプテスマの いのりの ことばを 言い、
 ぼくを 水に しずめてくれたとき、心の中、
 ことばでは あらわせない、すばらしい 気持ちか
 しました。その後、ぼくは かくにんを うけて、
 せいいいの たまものを うけました。ぼくは、
 バプテスマを うけて、とても うれしいです。イエス・
 キリストが、ぼくに もはんを しめしてくださった
 ように、ぼくも、弟に もはんを しめています。
 ぼくは、イエス・キリストが 生きておられて、ぼく
 たちを あいしておられることを 知っています。

リチャード・H, 8才 (グアテマラ)



アグスティナ・B, 10才 (アルゼンチン)



マリアネラ・B, 7才 (アルゼンチン)



サンチアゴと弟のハイロ

ぼくは小さいときからずっと、アロン神権を受け
 たいと思っていました。神権を持っていれば、せい
 さんを配ることもできるし、神殿にも行けます。
 この回復された教会の会員であることは、すばら
 しい特権です。ぼくは、福音が真実であることを
 知っています。もうすぐぼくは、たくさんのことを
 学んできた初等協会を卒業して、若い男性の軍勢に
 入ります。

サンチアゴ・P, 11才 (エクアドル)

「わたしの 前に 一人の おかたが
 あられた。その おかたは、
 これまで わたしが 見た 中で
 もっとも 白い ころもを きておられた。
 その おかたの 名前は モロナイといった。」
 (ジョセフ・スミスー歴史
 1:30-33を見ましょう)

エリック・H, 9才 (メキシコ)



『リアホナ』で分かち合いましょう

「わたしたちのページ」にみなさんの絵や写真、経験談を送ってください。
 送り方は、3通りあります。1つ目は、liahona.lds.orgを通して送る方法、
 2つ目は、電子メールで送る方法(送り先はliahona@ldschurch.org、件名
 は「わたしたちのページ」)、3つ目は、3ページに書かれている住所に郵送
 する方法です。

応募の際には、必ず子供の氏名、性別、年齢(3才から11才まで)、それに
 加えて親の名前、所属ワード/支部名、ステーク/地方部名を明記し、子供
 の写真や提出物の使用に対する許可書(電子メールでも可)を添えてくだ
 さい。救い主の絵は送らないでください。掲載される際、誌面の都合上、
 あるいは明瞭な表現にするために編集されることがあります。

ウィルのすてきなアイデア

リン・グリーンウェイ

ほんとうにあったお話をもとに書かれました。

ウィルは神殿の写^{しゃ}真^{しん}がほ^ほしい
と思^{おも}いました。自^じ分^{ぶん}の部^へ屋^や

にかざりたかつたのです。ウィル
は前^{まえ}に、だれにとつても神^{しん}殿^{でん}
の写^{しゃ}真^{しん}を部^へ屋^やにかざ^よるのは良^よ
いことだと預^よ言^{げん}者^{しゃ}が話^{はな}すの
を聞^きいたことがあ^ありました。

「お母^{かあ}さん、神^{しん}殿^{でん}の写^{しゃ}真^{しん}、買^かっ
て来^きてくれ^た？」 ウィルは
聞^ききました。

「まだよ」とお母^{かあ}さん
は言^いいました。生^うま
れたばかりの赤^{あか}
ちゃん^の世^せ話^わ
でいそがしかつたの
です。

「分^わかつたよ」とウィルは言^い
ました。

ウィルは神^{しん}殿^{でん}が好^{だい}き^すでした。
そこは、家^か族^{ぞく}が結^{むす}び固^{かた}
めを
受^うける、特^{とく}別^{べつ}
な場^ば所^{じょ}である
こと^しを知^しつていま^いました。

ウィルはちよつと悲^{かな}しく
なり^なりました。お母^{かあ}さんはいそがし



すぎるからです。どうしたら神^{しん}殿^{でん}の
写^{しゃ}真^{しん}を手^てに入^いれられ^るでし^よう。

そのとき、ウィルはすてきなアイ
デアを思^{おも}いつき^ました。お母^{かあ}さん
が買^かっ^て来^きてくれ^るのを待^{まち}つ必^{ひつ}
要^{よう}はな^いいのです。

ウィルは急^{いそ}いでクレ^くヨンと紙^{かみ}を
さがしに行^いきました。それから、
つくえの前^{まえ}にすわ^わつて、
絵^えをかき始^{はじ}めました。

しばらくして、ウィ
ルはクレ^くヨンをお^おきま
した。台^{だい}所^{じょ}に走^{はし}つて
行^いくと、か^かいた絵^えを
お母^{かあ}さんに見^みせ^ました。
「何^{なん}てきれいな神^{しん}殿^{でん}の
絵^えな^のかしら」とお母^{かあ}さんが言^い
ました。

「ぼく^の部^へ屋^やにかざりに行^いこうよ」
とウィルが言^いました。

「それはすてきなアイデアね！」
とお母^{かあ}さんが言^いつてくれ^れました。

筆者^{ひん}者^{しや}はアメリ^あカ合^{がっ}衆^{しゆう}国^{こく}ペン^{べん}シルベ^{しる}ニア^す州^{しゅう}に住^すんでいま^いす。



「……とき」の力

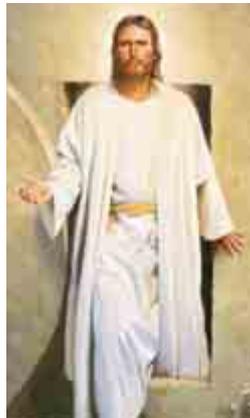
ケリー・ルイス・ウラリー

夫は、突然病気になりました。ある朝、彼が芝生を刈っているとき、気がついたら倒れていたのです。翌日には生命維持装置が付けられました。救急救命室から手術室に移されたとき、医師の一人が、「もしご主人を助けることができたら」という言い方をしました。

夫の病気は非常にまれなものだったため、助かる可能性はほとんどありませんでした。わたしはそのような劇的な出来事が起きたことが信じられず、絶望に打ちのめされそうになりました。

幸い、ピエールは最初の手術は持ちこたえ、集中治療室に入りました。長い道のりが待っていることが予想されましたが、毎時間、彼が生き延びる可能性は高くなっていきました。最初の手術が終わった翌朝、たくさんいる看護師の中の一人が、わたしに話しかけてきました。彼女は夫が次の治療段階に入ったときにどうするかについて話してくれました。わたしはその言葉に心を打たれ、考えさせられました。「もし……なら」という表現よりも、「……とき」という表現の方が、ずっと希望に満ちていて、確信や期待が伝わってきました。そのような言葉を使ってくれたことにお礼を言うと、彼女は「分かりますよ」と言っているかのような表情でほほえんでくれました。

ピエールは何度も神権の祝福を受け、わたしたちは大いに励まされました。わたしたちは、生活の中で主の御手を見いだそうとすることが必要だと知っていました。なぜなら、「もし……なら」ではなく、「……とき」と考えると、主の影響を受けられるからです。ピエールの状態が危うくなる度に、彼が祝福について思い起こせるように助け、



わたしたちは、
生活の中で
主の御手を見いだそう
とすることが必要だ
と知っていました。
なぜなら、
「もし……なら」
ではなく、
「……とき」と考えると、
主の影響を受けられる
からです。

主への信仰を表す必要があることを伝えました。この経験はわたしたちにとって神聖な旅路であり、毎日が贈り物のようでした。

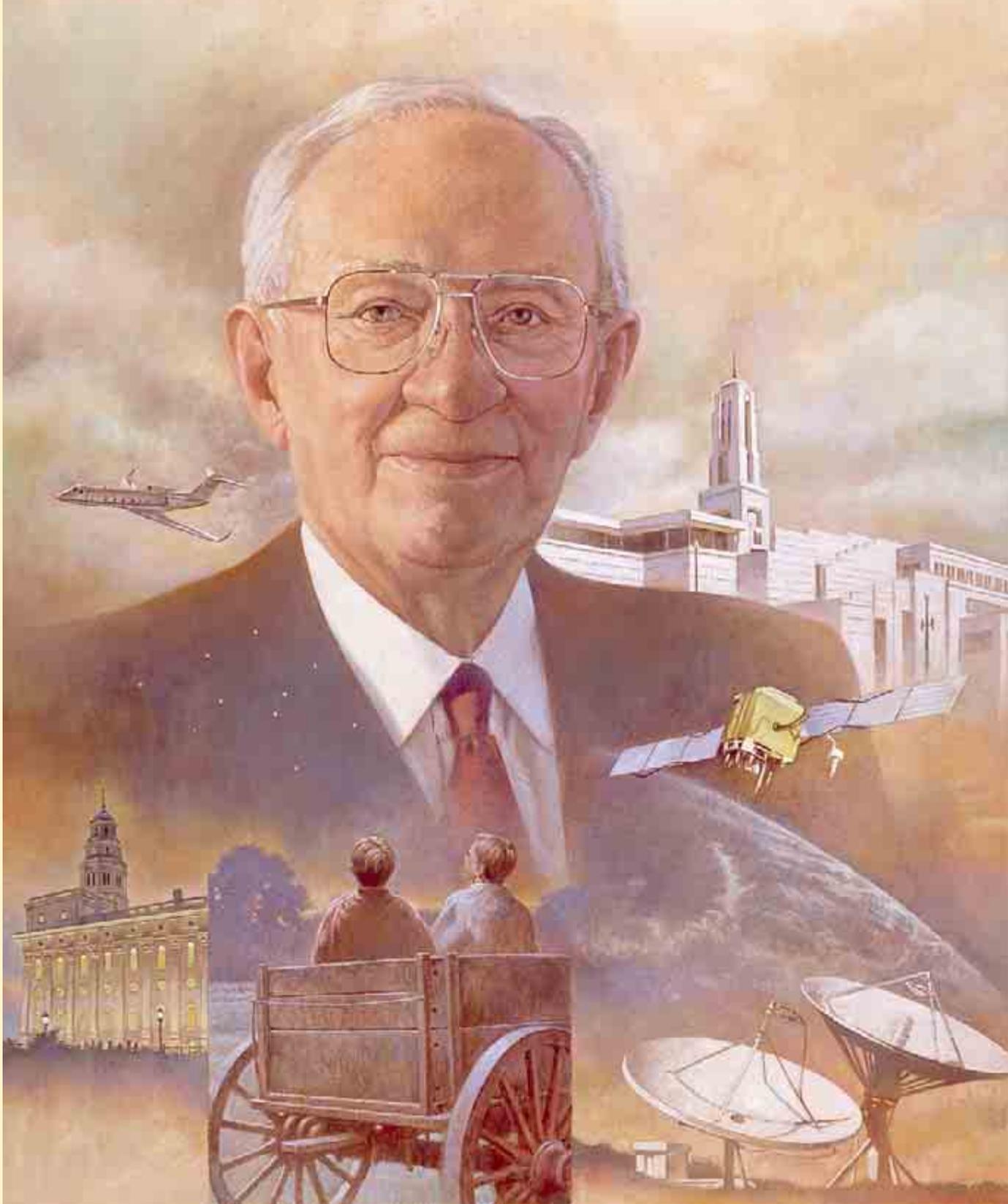
希望を抱いて「……とき」と考えると、前向きでいられました。しかし、倒れて18日目に、事態は非常に悪化しました。7回目の手術の間、医師は病気があまりに広がってしまったと判断しました。医療チームは涙ながらに、残念ながら一晩は持たないだろうとわたしに伝えてくれました。

わたしは、永遠の伴侶が幕のかなたに旅立つとき、その傍らにすることができました。恵まれて、前の奥さんとの間に生まれた息子が、今生きているたった一人の子から電話があり、夫への愛を伝えてくれました。ピエールは平安のうちに世を去りました。

数週間後、夫の墓の前で、モーサヤ書第2章41節から慰めの言葉を受けました。「あなたがたは、神の戒めを守る者の祝福された幸福な状態についても考えてほしい。見よ、……もし最後まで忠実であり続けるならば、彼らは天に迎えられ、決して終わりのない幸福な状態で神とともに住めるのである。」(強調付加)

ピエールとわたしはいつも、その聖句の「もし……ならば」という言葉を「……とき」に置き換えようと決めていました。わたしたちが聖約に忠実であり続けることで、再び一つに結ばれると知っています。それは忠実であり続けるとき、確かに起こる事柄です。わたしたちは永遠の家族と永遠の命のための主の計画に頼っています。わたしたちを前進させてくれるのは、「……とき」と考えることによって得られる力なのです。■

筆者は、カナダ、ブリティッシュ・コロンビア在住です。



イラスト／ロバート・T・バレット

ゴードン・B・ ヒンクレー

ゴードン・B・ヒンクレーは、おさないころから自然が大好きでした。少年のときに植えたクルミの木は、カンファレンスセンターの説教台を作るために使われました。おさないころに北極星のを見つけ方が分かるようになったゴードンは、よく、救い主の愛を、人をみちびく北極星に例えました。教会の奉仕で、200万マイル（320万キロ）以上を旅しました。衛星放送によって、そのあかしは世界中にとどけられました。大管長をつとめていた間、70以上の神殿がほうけんされました。その中には再建されたイリノイ州ノーブー神殿もあります。

今月号のその他の記事

ヤングアダルト

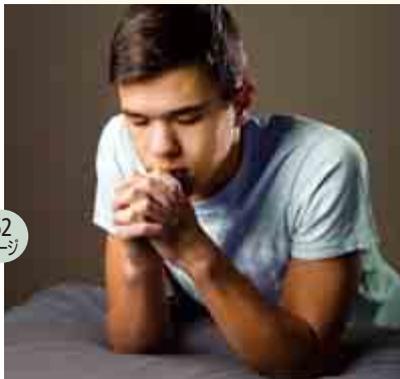


幸福の道を歩みましょう

コセービショップは状況にかかわらず自分の幸福をコントロールするのに役立つ3つの原則を教えています。

42
ページ

青少年



52
ページ

胸の内に燃えるものを感じないとき、どうすればよいのでしょうか？

心配しないでください。
聖霊を感じる方法は幾つもあります。

子ども

ウィルのすてきなアイデア

家に^{いへ}かける^{しんでん}神殿^{しんじん}の^{びつやう}写真が必要ですか？



78
ページ

